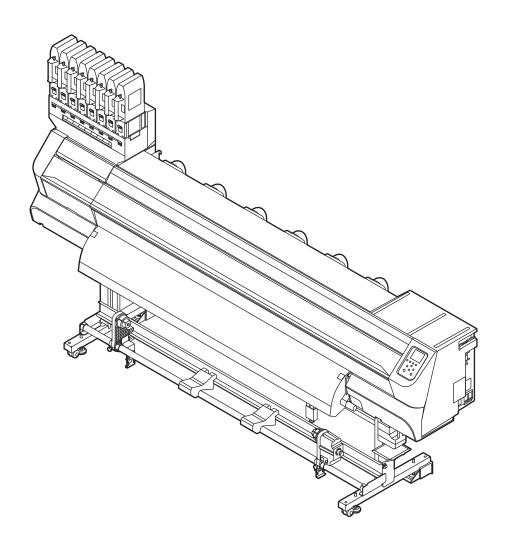
カラーインクジェットプリンタ

T555-1800

取扱説明書



取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社ミマキエンジニアリング

https://japan.mimaki.com/

目次

ご注意	V
- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	
おねがい	
電波障害自主規制	
電及降音音工統[ii] テレビ / ラジオの受信障害について	V
はじめに	
本書について	
安全にお使いいただくために	vi
マーク表示について	vi
安全インターロックについて	ix
警告ラベルについて	
第1章	
ご使用の前に	
本機の移動	1_2
設置場所について	1-2
使用環境温度について	
本機の移動	
各部の名称とはたらきについて	1-4
装置前面	1-4
装置背面 / 側面	
操作パネル	
メディアセンサー	
キャリッジ	
カッター刃とカット溝	
キャッピングステーション	
ピンチローラーとフィードローラー	
ケーブルを接続する	1-9
LAN ケーブルを接続する	
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する	1-10
電源ケーブルを接続する	
インクをセットする	1-11
インクパック取り扱い上のご注意	
メディアについて	1-10
使用可能メディアサイズ	
メディア取り扱い上の注意	
メニューモードについて	1-17
第2章	
基本的な使い方	
空中 (1) (4) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	
11 NIC 3 L	
作業の流れ	2-2
電源を入れる/切る	2-3
電源を入れる	
電源を切る	
メディアをセットする	
ヘッド高さを調整する	2-4

ロールメディアをセットする 巻取装置について 原点を変更する場合は ヒーターの準備をする	2-8 2-9
ヒーターの準備をする ヒーターの温度設定を変更する テストプリントをする	2-9
テストプリントを行う ヘッドクリーニング ヘッドクリーニングについて	2-11
テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う フィード補正の設定	2-11 2-11
フィード補正の設定	2-12
ドットの位置がずれたら データをプリントする	2-12
プリントを開始する プリントを中止する 受信したデータを消去する(データクリア)	2-13
メディアをカットする	
第3章 セットアップ	2.0
ローカル設定メニューについて	
シウィー n ―― 監集	
設定メニューー覧表	3-2
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-4
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する フィード補正の設定ドットの位置がずれたら	3-2 3-4 3-4
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する フィード補正の設定ドットの位置がずれたら	3-2 3-4 3-4 3-5 3-6
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-4 3-5 3-6
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7 3-7 3-8
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7 3-7 3-8
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7 3-7 3-8 3-8
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7 3-7 3-8 3-8 3-8
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-5 3-6 3-7 3-7 3-7 3-8 3-8 3-8 3-9 3-9
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7 3-7 3-8 3-8 3-8 3-9 3-9 3-10
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-5 3-6 3-7 3-7 3-7 3-8 3-8 3-8 3-9 3-9 3-10 3-10
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7 3-7 3-8 3-8 3-9 3-9 3-10 3-10
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7 3-7 3-8 3-8 3-8 3-9 3-9 3-10 3-10 3-11 3-12
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7 3-7 3-8 3-8 3-8 3-9 3-9 3-10 3-10 3-11 3-12
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7 3-7 3-8 3-8 3-8 3-9 3-9 3-10 3-10 3-11 3-12 3-15
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7 3-7 3-7 3-8 3-8 3-9 3-9 3-10 3-10 3-11 3-12 3-15 3-15
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する フィード補正の設定 ドットの位置がずれたら ヒーターの設定 ロジカルシークの設定 重ね塗りの設定 乾燥時間の設定 マージン(左/右)の設定 フリント中リフレッシュ 吸着ファンの設定 フィード速度の設定 オートクリーニングの設定 外部ヒーターの設定 MAPS4 の設定 パス間濃度補正 プリフィードの設定 設定タイプ名称の変更 マシン設定メニューについて マシン設定メニューについて マシン設定メニューー覧表 オートパワーオフの設定 トップブロワの設定 トップブロワの設定 メディア残量表示の設定	3-2 3-4 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7 3-7 3-7 3-8 3-8 3-8 3-9 3-9 3-10 3-10 3-11 3-12 3-15 3-15 3-15
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-2 3-4 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7 3-7 3-8 3-8 3-8 3-9 3-9 3-10 3-10 3-11 3-12 3-15 3-15 3-15 3-15
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する フィード補正の設定 ドットの位置がずれたら ヒーターの設定 ロジカルシークの設定 重ね塗りの設定 乾燥時間の設定 マージン(左/右)の設定 フリント中リフレッシュ 吸着ファンの設定 フィード速度の設定 オートクリーニングの設定 外部ヒーターの設定 MAPS4 の設定 パス間濃度補正 プリフィードの設定 設定タイプ名称の変更 マシン設定メニューについて マシン設定メニューについて マシン設定メニューー覧表 オートパワーオフの設定 トップブロワの設定 トップブロワの設定 メディア残量表示の設定	3-2 3-4 3-4 3-5 3-6 3-6 3-7 3-7 3-7 3-8 3-8 3-8 3-9 3-9 3-10 3-10 3-11 3-12 3-15 3-15 3-15 3-15 3-16

	単位(温度 / 長さ)の設定 3- キーブザーの設定 3- 確認フィードの設定 3- プリント間の余白の設定 3- 余白フィード方式の設定 3- ネットワークの設定 3- イベントメール機能の設定 3-	17 17 17 17 17
ノラ	自動リモート	22 22 22 23 24
.	印刷中チェックの流れ3- 「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作3- 印刷中チェックの設定3- 自動ノズルリカバリの設定3- 判定条件の設定3-	25 25 26 26 26
情幹	3-2 情報メニューー覧表3- 情報を表示させる3- メンテナンス状態を表示する(ローカルガイダンス)3-	27 28
第 4 お手	章 入れ	
	お手入れ	1-2 1-2 1-2 1-3 1-3 1-4 1-4
×: +-	お手入れ上のご注意	1-2 1-2 1-2 1-3 1-3 1-4 1-5 1-6 1-7 1-8 1-8 1-9 10

	4-16
ワイパーを交換する	4-16
ワイパークリーナーを交換する	
キャップを交換する	
キャップ吸収材を交換する	
メディア押さえを交換するピンチローラーを交換する	
スパウトゴムを交換する	
キャリッジフィルターを交換する	4-22
MBIS オスコネクタ吸収材を交換する	
吹付ファンフィルターを交換する	
カッター刃を交換する	
端面ガイドフィルムを交換する	
廃インクタンクの管理	
廃インク量の補正	
タンク容量の変更 廃インクタンク確認メッセージが表示されたら	4-25
廃インクタンク確認メッセーンが表示されたら 廃インクタンクを交換する	
用100900で交換90	4-23
₩ = ₩	
第5章	
困ったときは	
故障かな?と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	
メディア詰まり / メディアが汚れる	5.2
ヒーターの温度が設定値まで上昇しない	5-3
画質不良が発生したときは	5-3 5-3
画質不良が発生したときは	5-3 5-3 5-3
画質不良が発生したときは	5-3 5-3 5-3
画質不良が発生したときは	5-3 5-3 5-3 5-3
画質不良が発生したときは	5-3 5-3 5-3 5-4 5-5
画質不良が発生したときは	
画質不良が発生したときは	
画質不良が発生したときは	5-3 5-3 5-4 5-5 5-5 5-11
画質不良が発生したときは	5-3 5-3 5-4 5-5 5-5 5-11
画質不良が発生したときは、フズル詰まりを解消したいとき、インクの状態に異常が発生したら、インク漏れが発生したら、メッセージを表示するトラブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-3 5-3 5-4 5-5 5-5 5-11
画質不良が発生したときは	5-3 5-3 5-3 5-4 5-5 5-5 5-11
画質不良が発生したときは、フズル詰まりを解消したいとき、インクの状態に異常が発生したら、インク漏れが発生したら、メッセージを表示するトラブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-3 5-3 5-3 5-4 5-5 5-5 5-11
画質不良が発生したときは	5-3 5-3 5-4 5-5 5-5 5-11 6-2 6-2 6-3 6-4 6-5

ご注意

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本機の使用または使用不能から生ずるいかなる損害(逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない)に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本機を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本機を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、 または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切 その責任を負いかねますので、あらかじめご了承くださ い。

おねがい

- ・本書は、内容について十分注意しておりますが、万一 ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営 業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

本機は、クラス A 情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ / ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。

本機がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われましたら、 本機の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害 が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせてお試しください。

- ・テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の 発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、カラー インクジェットプリンタ TS55-1800 をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。 TS55-1800」は、1.8m 幅のメディアに昇華転写インク (4 色 /6 色 /7 色 /8 色) でプリントする、高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。

本書について

- ・本書は、「カラーインクジェットプリンタ TS55-1800」 (以後本機と称します)の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- ・本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- ・本書は、本機をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- ・本書は、内容について十分注意して作成していますが、 万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業 所までご連絡ください。
- ・本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。 ご了承ください。
- ・本書が焼失/破損などの理由により読めなくなった場合は、弊社営業所にてお買い求めください。
- 本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。 © 株式会社ミマキエンジニアリング All Rights Reserved.Copyright

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味を理解し、本機を安全に正しくお使いください。

記号	名称	説明	
⚠警告	<u> </u>	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷のおそれがある内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。	
⚠ 注 意	□ 注意 この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程 傷のおそれがある内容を示しています。		
注記 この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生 おそれがある内容を示しています。		この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生する おそれがある内容を示しています。	
\wedge	一般警告図記号 注意しなければならない事項を示しています。具体的な注意 の中に描かれます。		
0	ー般強制指示図記号 実行しなければならない事項を示しています。具体的な指示の中に描かれます。		
\Diamond	一般禁止図記号 してはいけない事項を示しています。具体的な禁止 かれます。		
	ヒント	参考情報を示しています。	
	参照情報	参照情報 関連する内容の参照ページを示しています。 文字をクリックすると該当ページが表示されます。	

使用上の警告と注意



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以 外の電気機器には使用できません。また、同梱されている 電源コードセット以外の電源コードセットは、本機には使 用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでく ださい。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張っ たりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因にな ります。
- 湿気の多い場所での使用は避けてください。また、本機に 水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になり
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のま る。 ま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずブラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、 販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様 による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
- 本機やインクパックの分解・改造は、絶対にしないでくだ さい。感電や故障の原因になります。
- メディア搬送面のヒーターにホコリやゴミ等が付着しな いようにしてください。発火、火災の原因になります。
- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因に なります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因 になります。
- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になり
- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られる ときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのま ま使用すると火災や感電の原因になります。
- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電 の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。 火災や感電の原因になります。
- 表示された電源周波数以外では使用しないでください。火 災や感電の原因になります。
- 危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでくださ い。
- 万一、金属、水、液体などの異物が本機内部に入ったとき は、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源ブラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してくだ さい。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
- インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所、 コールセンターにお問い合わせください。
- 本機を移動する場合は、最寄のサービス店にご相談くださ い。



- 本機の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤 などを使用しないでください。引火による火災や感電の原 因になります。
- ・本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでく ださい。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の 原因になります。



本機に子供を近づけないでください。

使用上のご注意

注 意

電源供給について



- ブレーカーは常時 ON にしておいてください。
- ・側面にある主電源スイッチは OFF にしないでくださ

電源ケーブルについて



- 極性付きのコンセントに接続してください。
- 必ず本機の近くにある電源コンセントに接続し、容易に 取り外しができるようにしてください。
- ・電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラ グの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがた まると、火災の原因になります。
- ・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでくださ
- 電源を接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブ レーカーの容量を確認し、それぞれのケーブルはブレー カーが独立している別の電源に接続してください。 同じブレーカーにつながっているコンセントに接続す ると、ブレーカーが遮断することがあります。

ヒーターについて



- メディア搬送面上に液体をかけないでください。ヒー ターの故障や発火の原因になります。
- メディア搬送面のヒーターが熱いうちに素手で触らな いください。火傷の原因になります。

メンテナンス上の注意



- インクステーションやヘッドを清掃する際は、必ず付属 の保護メガネと手袋を着用してください。
- インク、メンテナンス用洗浄液を取り扱う場合は、換気
 - に十分注意して、必ず付属の保護メガネと手袋を着用し てください。
 - 手袋は消耗品です。付属の手袋が無くなりましたら市販 品をご使用ください。



カッターを交換する際は、刃先は鋭利ですのでケガをし ないように注意してください。

本体の取り扱い上の注意



- ・換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用しないで ください。
- 使用の際には十分な換気を行ってください。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や 感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置か ないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因 になります。
- 本機内部にはメディアのカッターがあります。メディア の交換、補給およびメディアづまりを取り除くときは、 本書で指定している場所以外には触れないでください。 けがの原因になります。
- メディアを交換するときは、指を挟んだり、けがをしな いように注意してください。
- 本機内部の掃除をサービス実施店に相談してください。 本機内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしない と、火災や故障の原因になります。なお、本機内部の掃 除費用については販売店またはサービス実施店に相談 してください。

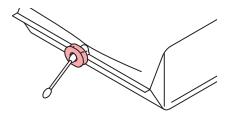
注 意

インクパックの取り扱いについて



- インクは火気のないところで換気しながらお使いくだ さい。
- ・万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な 水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流 してください。また、できるだけ早く医師の診察を受け てください。
- インク、メンテナンス用洗浄液の取り扱い前に必ず安全
- インク、メンテナンス用洗浄液の取り扱い前に必ず安全 データシート (SDS) をお読みください。 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医 師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませない でください。その後、(財)日本中毒情報センター 中 毒 110 番に連絡してください。 大阪: 072-727-2499 つくば: 029-852-9999

- 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。
- インクが皮膚に付着した場合は、大量の水および石鹸または皮膚用洗剤を使用して充分に洗い落としてくださ
- インクパックは子供の手の届かないところに保管して ください。
- インクスロットを長時間空いたままにしないでください。スロット部分が乾燥し、装置内でインクが固まるなど、インク供給ができなくなることがあります。
- インクスロットにインクパックがセットされていないと、プリンターのディスプレイにインクパックのセットを促すエラーメッセージが表示されます。前に使用していたインクと同色のインクパックをセットしてくださ
- 使いかけのインクパックを台座から取り外したときは、 線棒などを使用してインクパックのコネクタ部内側に 付着しているインクを拭き取ってください。 コネクタ部内側のインクが乾燥すると、再使用するとき にインク漏れの原因となります。



インクパックにインクに関する注意書きが記載されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。



エコケースを台座から取り外すときは、保護メガネ等を 着用してください。インクが飛んで目に入る可能性があ ります。

ご注意とお願い

警 告

インクパックの取り扱い

- ・ 当社推奨インクにより安全性を評価しています。 安全にご使用いた だくため、当社推奨インクをご使用ください。
- インクパック内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたイ ンクを使用して生じた不具合について、弊社はいっさいの責任を負 いかねます。
- ・インクパックを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室 温環境下に放置してから使用してください。
- インクパックは、取付直前に開封してください。開封した状態で長 時間放置しておくと、正常にプリントできない場合があります。
- インクパックは、冷暗所で保存してください。
- インクパックや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管 してください。
- インクパックを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。 インクパックからインクが漏れる場合があります。
- ・インクパックは、開封してから 1 カ月以内に使い切ってください。 開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。
- 不要になったインクパック・廃インクは、販売店またはサービス実 施店へお渡しください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合は、 産業廃棄物処理業者または各国の地域の条例に従って処理してく ださい。

メディアの取り扱い

- 推奨メディアをご使用ください。 安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用 ください
- メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。(ヒー ター搭載機) メディアの種類や特性に合わせて、ポストヒーターの温度を設定し てください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度 設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使 いの RIP の取扱説明書を参照してください。
- ・メディアの伸縮にご注意ください。 包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の 温度や温度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を 開けて、使用する場所で30分以上さらしてから装置に取り付けて ください。
- カールしたメディアは使用しないでください。 メディアづまりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼしま

また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用し てください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場 合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

メディアをセットしたまま、ヒーターオン状態で長時間放置しない でください。

メディアとホコリについて

- メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコ リを拭き取ると、静電気により逆効果になります。
- 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしな いでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。

⚠ 警告

定期交換部品について

・本機は、定期的にいくつかの部品を交換する必要があります。弊社 サービスまたはお買い上げの販売店とアフターサービスの契約を 行い、未永く安全に本機をご使用になることをお勧めします。

本機の廃棄について

・本機を廃棄するときは、お買い上げの販売店か弊社サービスにご相談ください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合は、産業廃棄物処理業者または各国の地域の条例に従って処理してください。

メンテナンス上の注意

- 本機は、ほこりの少ない部屋で使用することをお勧めします。
- プリントをしていないときは、フロントカバーを閉じておいてください。 開けたままにしておくと、ヘッドやノズルにほこりが付着し、プリント中にインク滴が突然メディアに落ちる場合があります。 このような場合は、ヘッドの清掃をしてください。
- インクステーションやヘッドを清掃するときは、必ず付属の手袋と 保護メガネを着用してください。
- ・本機の状態を良好に保つため、ワイパーとキャップの清掃をこまめに行い、ほこりや紙粉を取り除いてください。

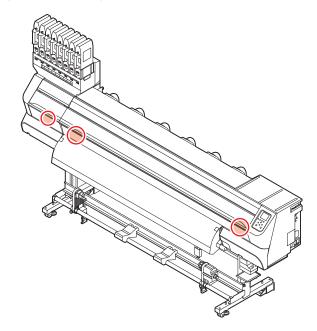
設置上のご注意

注意 直射日光が当たる場所 振動が発生する場所 温度や湿度の変化が 激しい場所 火を使う場所 ・次の環境下でお使いください。 ・使用環境: 20 ~ 30 ℃ (68 ~ 86 °F) 35 ~ 65 % (Rh)

安全インターロックについて

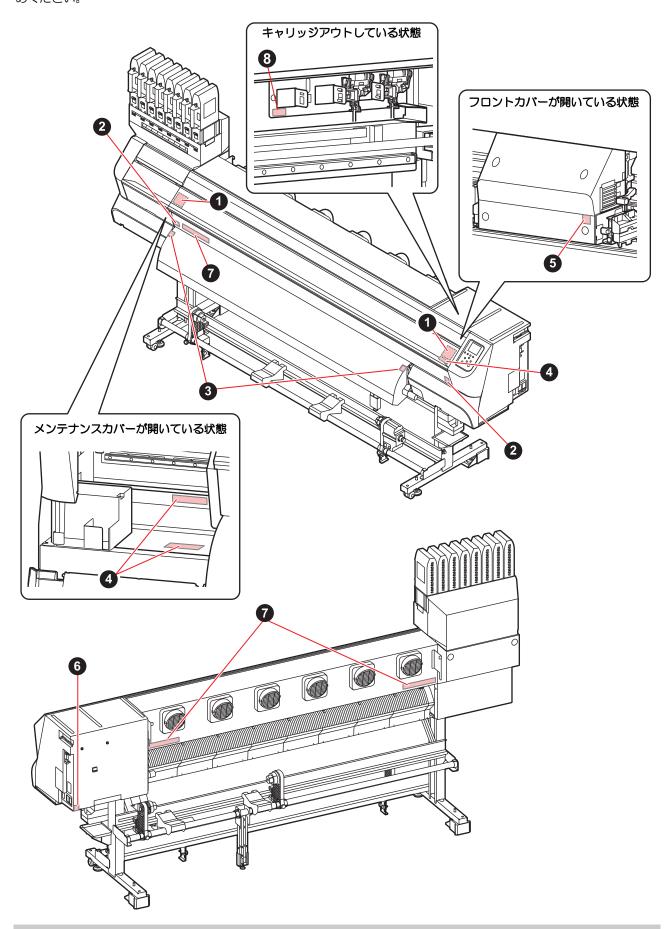
本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合に動作を中断させるためのインターロックがついています。

(下図の赤丸部分)



警告ラベルについて

本機には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。 なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。



No.	注文番号	ラベル	説明
1	M910931	COVER HAZARD May result in severe thury. May result in severe thury. COVER HAZARD May result in severe thury. COVER H	カバーが急落下する可能性があります。 カバー開閉時はカバーの両端から身体部分を離してください。
2	M907833		キャリッジ可動部です。 指や体を近づけないでください。
3	M903239		高温面です。 ヒーター部に触れないでくだ さい。
4	M903330		インクに触れる作業の際は、必ず付属の保護メガネと手袋を 着用してください。
5	M903405		メディアカット可動部です。 指や体を近づけないでくださ い。
6	M907935	4	内部に危険電圧があります。
7	M905811	本警告 本等 は 本等 は 本が AVERTISSEMENT を AVERTISSEMENT	可動部分です。 指や体を近づけないでくださ い。
8	M906144		高温部分です。 部品に触れないでください。

第1章 ご使用の前に



この章では ...

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明します。

ケーブルを接続する1-9
LAN ケーブルを接続する1-9
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する
1-10
電源ケーブルを接続する1-11
インクをセットする1-11
インクパック取り扱い上のご注意1-15
メディアについて 1-16
使用可能メディアサイズ1-16
メディア取り扱い上の注意1-16
メニューモードについて1-17

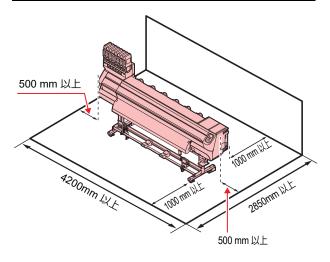
本機の移動

設置場所について

本機を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。

本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

機種	横幅	奥行き	高さ	全体重量
TS55-1800	3240mm	713mm	1857mm	202kg



使用環境温度について

本機は安定したプリントを行うために、20 \sim 30 $^{\circ}$ Cの環境でご使用ください。

本機の移動

本機をやむを得ず、段差のない同一フロアー内で移動する場合は、下記のように行ってください。



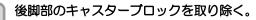
・本機の移設の際は、弊社営業所または販売店まで ご連絡ください。

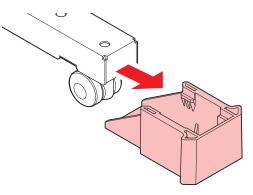
お客様が本機の移設を行うと、故障や破損の原因になります。

本機の移設は、必ず専門の担当者におまかせくだ さい。

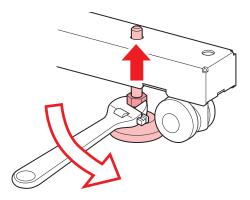


- 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
- 移動後は、必ずアジャスターフットを下げてください。

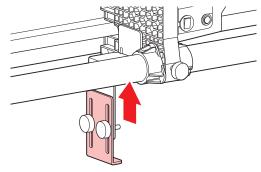




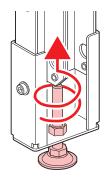
2 前脚部のアジャスターフットを付属のモンキーレンチで上げる。



多取脚を上げる。



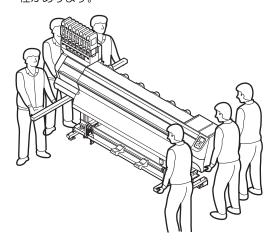
4 ロールガイドステーのアジャスターフットを上げる。



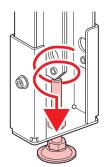
5

図のようにして、移動する。

- 本機を移動するときは、必ず6人以上で行ってく ださい。
- カバーを押して移動すると、カバーが割れる可能性があります。

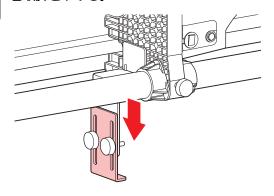


6 ロールガイドステーのアジャスターフットを下げる。

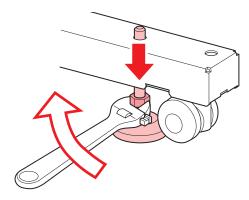


7

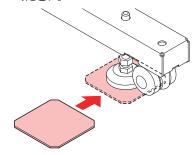
巻取脚を下げる。



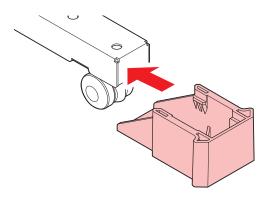
8 前脚部のアジャスターフットを付属のモンキーレンチで下げる。



設置場所の床がカーペットなど軟らかい 素材の場合は、付属の台座板を使用して ください。



🎧 後脚部にキャスターブロックを取り付ける。



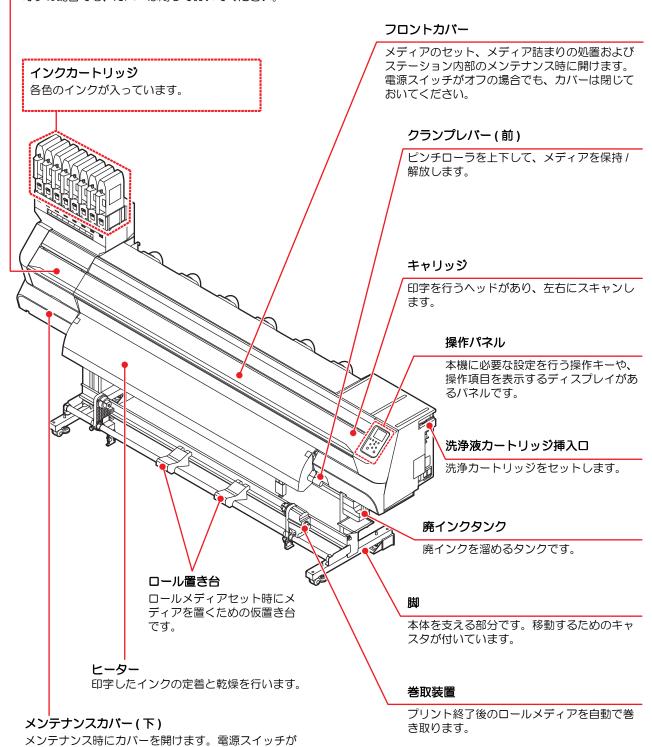
各部の名称とはたらきについて

装置前面

メンテナンスカバー(上)

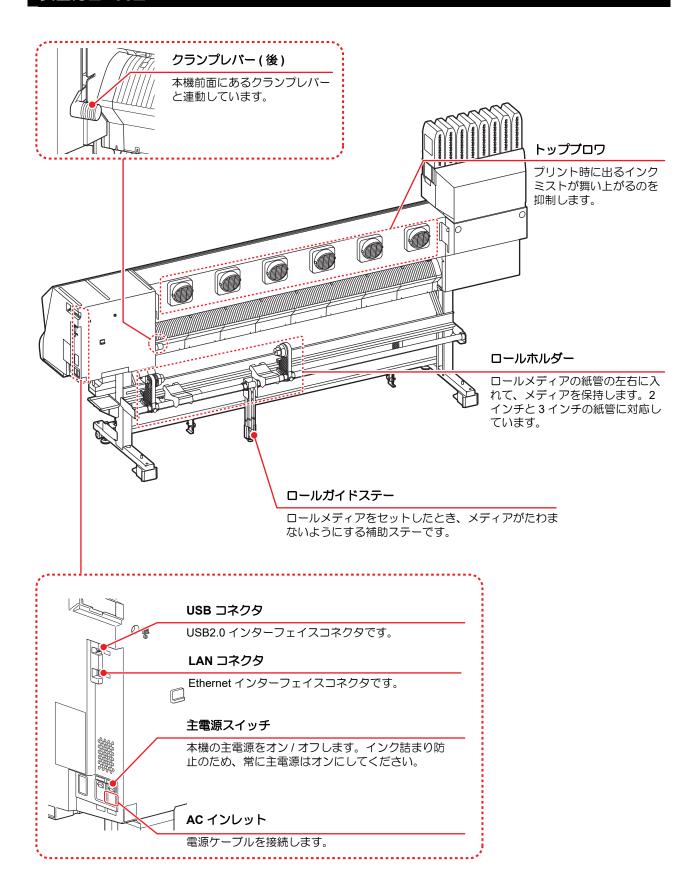
メンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチが オフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

オフの場合でも、カバーは閉じておいてください。



1-4

装置背面/側面



操作パネル

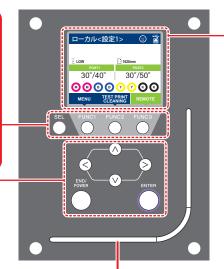
操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。

SEL +-

ファンクションボタン ([FUNC1] ~ [FUNC3]) の機能を切り替えます。

FUNC1 / FUNC2 / FUNC3 ‡-

各種機能の設定やテストプリントを するときなどに押します。ファンク ションボタンの機能は、[SEL] を押 すたびに切り替わります。



ディスプレイ

次の各項目が表示されます。

- 本機の状態
- セットしているメディアの幅
- ヒーター温度 (現在温度 / 設定温度)
 インクの比能 *1
- インクの状態
- [FUNC1] \sim [FUNC3] に割り当てられている機能 *2

ローカルでのヘッドやメディアの移動、 各種設定の項目選択に使用します。

(END/POWER) ‡-

直前に入力した設定のキャンセルや、 設定メニューを 1 つ前の階層に戻す場 合に使用します。また、電源のオン/ オフをするときに押します。(電源を切 るときは、長押ししてください。)

ENTER +-

1段下の階層メニューに移動する場合 や、設定値の確定に使用します。

状態表示ランプ

本機の状態(プリント中、エラー発生中等)をランプでお知らせします。

ランプの状態	装置の状態				
消灯	ローカルになっていて、プリントデータの受信やエラー等が 発生していない状態です。				
水色点灯	リモートに切り替えた状態です。				
	プリント中の状態です。				
水色点滅 テストプリントなど、本機に内蔵しているパターン各 リントしている状態です。					
青色点灯	本機にプリントデータが残っている状態です。				
赤色点滅	エラーが発生しています。				
赤色点灯	エラー (SYSTEM HALT) が発生しています。				
黄色点灯	ファームウェアの更新を行っている状態です。				



・電源スイッチをオンにすると操作パネル下の電源スイッチが青に点灯し、オフにすると消灯します。主電源スイッチ (公子 P.1-5) をオンにしておくと、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。 (オートメンテナンス機能)

*1:インクの状態について

ディスプレイにインクカートリッジの状態 (インク残量/エラーなど)をアイコンで表示しています。 各々のアイコンについて説明します。

アイコン	内容								
	インク残量を9段階で表示します。右に行くに従って、インク残量が少なくなっています。								
M	M	M	M	M-	(M	(M)	M -	- M -	- M -
	インクフル	約 1/8 消費	約 1/4 消費	約 3/8 消費	約 1/2 消費	約 5/8 消費	約 3/4 消費	約 7/8 消費	ニアエンド
- M -	インクエンド (4 色インクセット使用時のみ) やインクニアエンドになると表示します。								
	インクエンドまたはインクエラー (カートリッジ未装着など) 状態で、カートリッジが使用できないことを表します。								
1	インクの消費有効期限が切れると表示されます。新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。 プリントすることは可能です。								

*2: [FUNC1] ~ [FUNC3] に割り当てられている機能

[FUNC1] \sim [FUNC3] に割り当てられている機能の内容を説明します。

アイコン	内容
MENU	各機能を設定する "MENU" が表示されます。
TEST PRINT CLEANING	テストプリント・クリーニング等のメンテナンス機能が表示されます。
REMOTE	ローカルで、リモートに移行し、プリントを開始します。
ADJUST	フィード補正、ドット位置補正等の調整機能が表示されます。
HEATER	ヒーター温度の設定を行います。
DATA CLEAR	データクリアを実行します。
LOCAL	リモートにてプリントを中断し、ローカルへ移行します。
СИТ	メディアカットを実行します。
>>	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、次のページへ移動します。
<<	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、前のページへ移動します。
ок	警告メッセージが表示された場合など、確認の完了を行う場合に使用します。
OFF	ヒーター設定を OFF にする場合など、機能を OFF や無効にする場合に使用します。
$\frac{1}{2}$	何らかの設定や機能が割り当てられています。各機能の説明に従い、操作してください。
8	クリーニングの対象ヘッド選択など、複数の項目を選択する場合に有効/無効を切替えます。

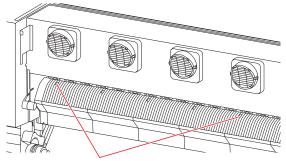


- ・本機の状態によって、アイコンの色は変化します。 アイコンの色が緑色のとき:本機がリモートの状態になっている アイコンの色が紺色のとき:本機がローカルの状態になっているとき
- アイコンの色が黄色のとき:ワーニングが発生しているとき
- アイコンの色が赤色のとき:エラーが発生しているとき

メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出 します。

プラテン上 (背面側)にメディアセンサーが2箇所あります。



メディアセンサー

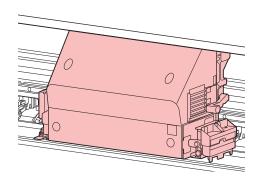


メディアをセットするときは、プラテン後部側に あるメディアセンサーを覆い隠すようにセットし てください。センサー上にメディアがないと、メ ディア検出を実行できません。

キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドやセットするメディアの幅を手動で設定するために使う"LEDポインタ"、メディアカット用のカッターユニットなどが内蔵されています。

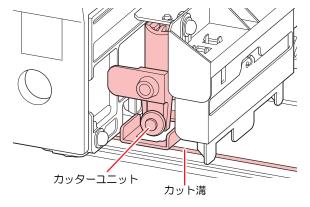
また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを調整するレバーがついています。((ご) P.2-4)



カッター刃とカット溝

キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。

プラテンのカット溝に沿ってメディアをカットします。



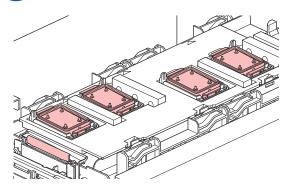
キャッピングステーション

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドの メンテナンスに必要なワイパーなどで構成されています。 インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎま す

ワイパーは、ヘッドのクリーニングに使用します。 ワイパーは、消耗品です。ワイパーが変形したりメディア が汚れる場合は、新しいワイパーに交換 (公子 P.4-16) して ください。



キャッピングステーション内をクリーニングする 場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して ください。目にインクが入る危険があります。

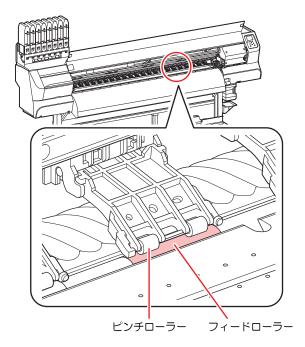


ピンチローラーとフィードローラー

本機は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメ ディアを保持し、プリント時にメディアを前側に送り出し ます。

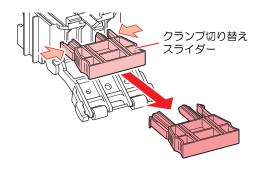


 本機を使用しない時は、ピンチローラーを上げた 状態にしておいてください。ピンチローラーを下 げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラが 変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合 があります。





- クランプ切り替えスライダーは、メディア幅により取り付け位置を変更して使用してください。
- クランプ切り替えスライダーは、取り付けるとクランプが上がり、外すとクランプが下がります。



ケーブルを接続する

LAN ケーブルを接続する

LAN ケーブルを接続するときは、以下の注意事項を厳守してください。

- カチッと音が出るまで確実に差し込んでください。
- データ転送中は、ケーブルの抜き差しをしないでく ださい。

ネットワーク経由で印刷を行う場合

ネットワーク経由で印刷を行う場合、下記の環境でネット ワークを構築する必要があります。

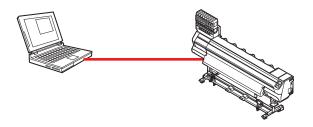
不適切な環境で構築を行うと、印刷が停止する原因となります。

- カチッと音が出るまで確実に差し込んでください。
- データ転送中は、ケーブルの抜き差しをしないで
- ください。
- カテゴリー 6 以上の LAN ケーブルを使用する。
- 1000BASE-T 対応の PC、スイッチングハブを使用 する。

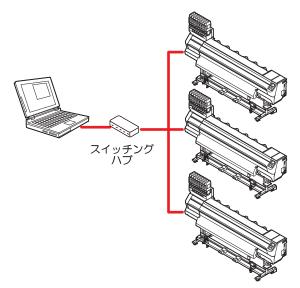


- 印刷データを送信する PC とプリンタは同じネットワークとなるようにしてください。
- ルータを経由した接続はできません。

● プリンタと直接接続する場合



● スイッチングハブを経由して接続する場合



プリンタに接続したPC、機器が1000BASE-T以外の場合、 印刷できません。

接続後、以下を確認してください。

(1) プリンタの画面表示を確認する。

- ローカル画面、メディア検出画面から [ENTER] キーを数回押し、情報画面を表示する。
- LAN ステータスの項目に「1000Mbps」と表示されている ことを確認する。



- [100Mbps], [10Mbps], [接続なし] と表示している場合、LAN を使用して印刷を行うことができません。
- [100Mbps], [10Mbps] の場合、イベントメール (② 3章「イベントメール機能の設定」) は使用 できます。



(2) LAN コネクタの緑ランプを確認する

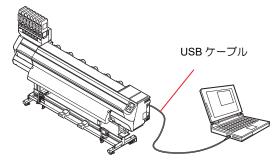
・本体起動後、以下のように LAN コネクタのランプが点灯 します。

色	状態	状態
% ⊒	点灯	1000BASE-T で接続
線 消灯 1000BASE-T 以外		1000BASE-T 以外で接続
	点灯	リンクアップ
黄	点滅	データ受信中
	消灯	リンクダウン



・黄色のみが点灯もしくは点滅している場合、 1000Mbps となっていません。PC、機器、ケーブルの仕様を確認してください。

USB2.0 インターフェイスケーブルを接 続する



コンピュータと本機をUSB2.0インターフェイスケーブルで接続します。



- ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応 している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。

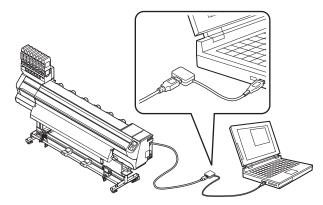
USB 2.0 インターフェイスについての注意 事項



ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

● 1 台のパソコンに複数の TS55-1800 を接続する場合

1 台のパソコンに TS55-1800 を複数台接続する場合、TS55-1800 を正常に認識できない場合があります。 複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、 他の USB ポートに接続して TS55-1800 を認識できるか確認してください。USB ポートを変えても TS55-1800 を認識しない場合は、市販の USB2.0 リピータケーブルを使用してください。



● USB ハイスピードモードの周辺機器について

TS55-1800 と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など)を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに TS55-1800 を接続した場合、TS55-1800 へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、プリント中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

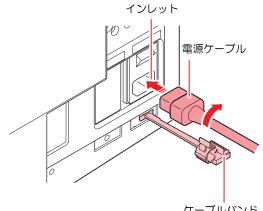
● USB メモリの抜きかた

TS55-1800 を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。 [ERROR 10 コマンドエラー] 発生の原因になります。 スプールデータをハードディスクにコピーした後、プリント出力してください。



電源ケーブルを接続する

電源ケーブルを本機のインレットに差し込



ケーブルバンド

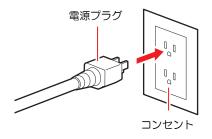
2

ケーブルバンドを固定する。

• 本機に備え付けのケーブルバンドでケーブルを固 定します。

3

電源プラグをコンセントに差し込む。





• 付属品の電源ケーブル以外は使用しない でください。



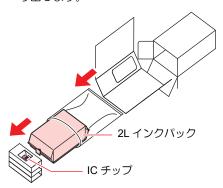
- ・ 必ず本機の近くにある電源コンセントに 接続し、容易に取り外しができるように してください。
- 電源ケーブルのプラグは、アース処理し たコンセントに接続してください。感電 ・火災の原因となります。

インクをセットする

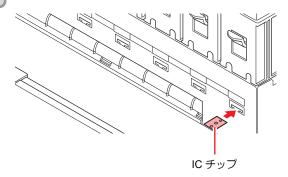


2L インクパックを用意する。

小さい段ボールからインクパックとICチップを取 り出します。



IC チップを取り付ける。 2





• IC チップの向きに注意してセットして ください。

IC チップが正しくセットされていない と、正常にインクの供給が行われませ h_{\circ}

金属がついている方を左側にして差し 込む。

セットするときは、金属部分に触れな いようにてください。(静電気による IC チップ破壊の恐れがあります。)





3

2L インクパックを 20 回以上、ゆっくりと左右 に振る。

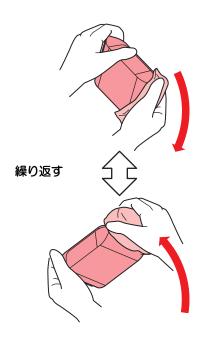
• 使いかけのインクパックをご使用される場合は、 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、 紙タオル等でインクパックのコネクタ部をおさえ た状態で、ゆっくりとインクを流すように左右に 20回以上振ります。



• 必ず手袋を着用して作業を行ってくださ



- ・ 強く振りすぎるとインク漏れの原因とな ることがあるため、慎重に行ってくださ い。
- インク残量が少ないと十分にかくはんで きない場合があるので、インクパックが 縦になるまで傾けてください。

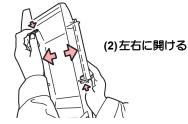


[4]

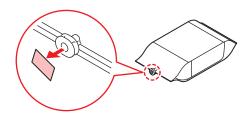
2L インクパックを 2L エコケースに入れる。

(1) 図のようにして、2L エコケースを開ける





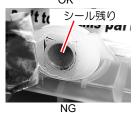
(2) 2L インクパックのコネクタ部に着いている シールを剥がす



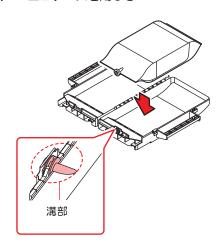


シール残りがあると、2L インクパック を台座から取り外した際、インクが大 量に漏れる可能性があります。かなら ずシール残りがないように注意してく ださい。





(3) コネクタ部を下にして 2L インクパックを入れ、2L エコケースを閉じる



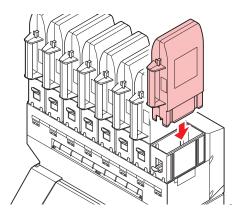


- 2L インクパックを入れるときは、2L エコケース内にあるラベルに従って、形を整えてください。形を整えずにインクパックを入れると、インクを使い切れない場合があります。
- 2L エコケースを閉じる前に、2L エコケースの溝部にインクパックのコネクタが合っていることをご確認ください。コネクタが溝部に合っていない状態になってると、インク供給ができなくなることがあります。



2L エコケースを台座に取り付ける。

- 2L エコケースから接続しているプリンターにインクが供給されます。
- 1 \sim 2 分すると、接続しているプリンターの EMPTY ランプが消灯します。





• 2L エコケースは、奥までしっかりと押 し込んでください。十分に押し込まれ ていないと、インクが供給されない場 合があります。



IC チップについて

- IC チップには、インクカラー やインク残量・使用期限など の情報が書き込まれています。、
- IC チップにはカラー情報を 表すマークが貼られていま す。



IC チップ

インクカラーと表示マーク

インク カラー	表示マーク
マゼンタ	(赤丸が1個)
イエロー	(黄丸が1個)
ライト マゼンタ	(赤丸が2個)
ブルー	(青丸が1個/ 赤丸が1個)
ライト ブルー	(青丸が2個/ 赤丸が1個)
ライト ブラック	●●(黒丸が2個)
蛍光 イエロー	(黄丸が2個)
蛍光 ピンク	(橙丸が2個)

2L インクパックを交換する

ディスプレイに[インクエンド]や[インクニアエンド]などが表示されたときは、次のようにしてください。



2L インクパックを交換するときは、保護メガネ を着用してください。 誤って、インクが目に入る可能性があります。

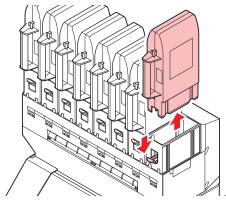


使用後、インクパックに 10cc 程度のインクが残りますが、実使用量が 2L になるよう充填されています。

● [インクエンド]が表示されたとき

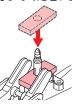


台座についているレバーを押し下げ、2L エコケースを取り外す。



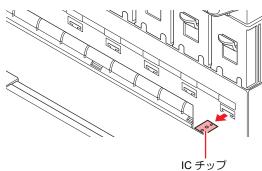


- 2L インクパック交換時、定期的にオスコネクタ吸収材(付属品)を交換することで、台座内の汚れを防止することができます。
- 2L インクパックの交換5~10回に1回の割合で、吸収剤を交換してください。
- ・吸収剤交換時は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



2

IC チップを取り外す。



3

2L エコケースを開け、2L インクパックを交換する。

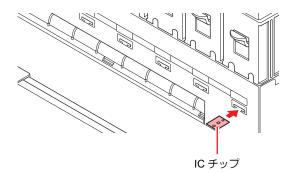
手順2で取り外したICチップは、使い終わった 2Lインクパックと一緒にしておいてください。 (新しい2LインクパックのICチップを混同しないようにするため)



交換する 2L インクパックに付属している IC チップを取り付ける。



・IC チップの金属部分には触れないよう にご注意ください。静電気が発生し、IC チップが破壊する恐れがあります。

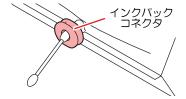




- 空になった 2L インクパックは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 2L インクパックを使いかけの状態で取り外すときは、次のようにしてください。

インクの残量を正確に管理できなくなります。

- (1) 2Lエコケースから使いかけの2Lインクパックを取り外す
- (2) 綿棒などを使い、2L インクパック のコネクタ部の内側に付着したイ ンクを拭き取る



- **(3) IC** チップを取り外し、2L インク パックと一緒に保管する
- (4) 再度使用するときは、2L インク パックをセットし、一緒に保管して おいた IC チップをセットする

● [インクニアエンド]が表示されたとき

インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできますが、プリント中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクパックの交換をすることをお勧めします。

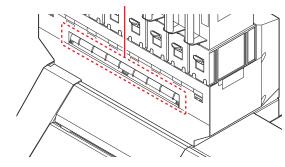


•[インクニアエンド]表示中は、オートクリーニングは動作しません。(② P.3-9)

インクカートリッジランプについて

インクカートリッジの下にあるランプで、セット中のインクカートリッジの状態を確認することができます。

カートリッジランプ



ランプの状態	説 明
青色に点灯	異常なし(インク供給中)
消灯	異常なし
黄色に点灯 または点滅	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクニアエンド ・インク期限切れ (1ヶ月)
赤色に点滅	インク期限切れ (2ヶ月)
赤色に点灯	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクエンド ・インク IC チップが挿入されていない ・その他のインクエラー((ご) P.5-10)

インク使用期限について

インクパックにインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えて使用すると、インクの吐出不良や色の変化が生じるおそれがあります。消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

例)消消費有効期限の記載が、2020年4月の場合

5月:新しいインクに交換する、もしくは早めに使い 切ってください。プリントすることは可能で す。

6月:新しいインクに交換する、もしくは早めに使い 切ってください。プリントすることは可能で す。(LED 黄点灯)

7月: プリントすることができません。(LED 赤点滅)



ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。

名称について

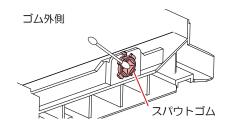
本書では、2L インクパック/2L エコケース/インクIC チップの 3 つを合わせて「インクカートリッジ」と言う名称で説明しています。

インクパック取り扱い上のご注意

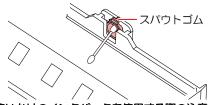


- 本機には専用のインクパックをお使いください。 本機は、専用のインクパックを認識して動作しま す。インクパック等の改造により故障した場合 は、保証期間内であっても保証の対象外になりま す。
- インクパックを寒い所から暖かい所に移した場合 は、3時間以上、室温環境下に放置してから使用 してください。
- インクパックは開封してから3カ月以内に使い 切ってください。開封後、長時間経過したものは プリント品質が低下します。
- インクパックは冷暗所で保存してください。
- インクパックは、子供の手の届かない場所に保管 してください。
- 空になったインクパックは、産業廃棄物の処理業 者に処理を依頼してください。
- 新規設置およびスパウトゴム新品交換時の注意点
 - スパウトゴム表面をメンテナンス液で十分に湿 らせてから差し込んでください。スパウトゴム を湿らさずにエコケースに差し込むと、ゴムが 破損する恐れがあります。

● この時、メンテナンス液はインクにあったものを使用してください。



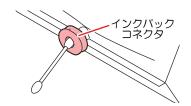
ゴム内側



- 使いかけのインクパックを使用する際の注意点
 - インクパックのコネクタ内側に付着しているイ ンクを、綿棒で拭き取ってください。 コネクタの内側にインクが残ったままインク パックを差し込むと、インクパックを再び使用 するときにインク漏れの原因となります。

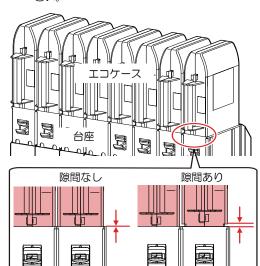


綿棒は深く挿し込みすぎないでください。インクパックからインクが漏れ出し、止まらなくなる可能性があります。





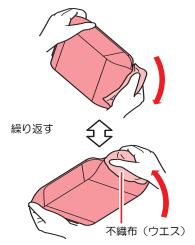
- ・本体にエコケースをセットするときの注意点
 - エコケースを根元まで十分に差し込んでくださ い。台座とエコケースの隙間を確認し、隙間が ある場合は、エコケースを差し込み直してくだ さい。



- エコケース内インクパックの攪拌方法について パックを外して攪拌する場合(推奨方法)
 - <u>・</u>インクパックのコネクタと、スパウトゴム内部 のインクを拭いてから再セットしてください。
 - 攪拌はインクパックのコネクタ部を不織布(ウ エス等)で覆ってから行ってください。

エコケースごと攪拌する場合

• スパウトゴムを不織布(ウエス等)で覆ってか ら攪拌してください。





- インクパックを強く振らないでください。強く 振ったり、振り回したりすると、インクパックか らインクがもれることがあります。
- インクパックのインクを詰め替えないでくださ い。故障の原因になります。また、インクを詰め 替えて使用したことによって生じた不具合につい て、弊社はいっさい責任を負いかねます。



インクパックは分解しないでください。

メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について 説明します。

使用可能メディアサイズ

機種名		TS55-1800	
推奨メディアの種類		転写紙	
最大幅		1950mm	
最小幅		210mm	
最大プリント範囲		1940mm	
	厚さ	1.0mm 以下	
77	ロール外径	Φ250mm 以下 (紙メディア) Φ210mm 以下 (その他)	
-ルメデ	ロール重量	45kg 以下	
1/-0	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ	
	プリント面	ロール外側面	
	巻き終り処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着	

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。



- ・推奨メディアをご使用ください。 安定した高画質でプリントするには、弊社推奨の メディアをご使用ください。
- ・メディアの伸縮にご注意ください。 包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で30分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- メディアのフチのホコリにご注意ください。
 ロールによっては、包装に含まれるホコリがロール端面に溜まっていることがあります。そのままお使いになると、ノズル抜けやインクのボタ落ちなどによるプリント品質劣化の原因となりますので、ロール端面についたホコリを取り除いてからセットしてください。



カールしたメディアは使用しないでください。紙詰まりの原因になります。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

メニューモードについて

本機には4つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。

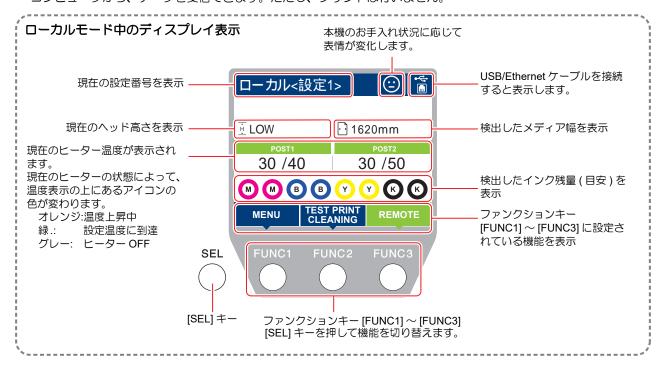
ノットレディモード

メディアを検出する前のモードです。

ローカルモード

ローカルモードは、プリント準備状態のモードです。 全てのキーが有効です。

コンピュータから、データを受信できます。ただし、プリントは行いません。



ローカルでは以下の操作が可能です。

- ジョグキーを押して、プリント原点やプリント範囲を設定します。
- [ENTER] キーを押して、インク残量、カートリッジエラーの内容、機種名およびファームウェアバージョンなどを確認します。

メニューモード

ローカル時に、[FUNC1] キーを押すとメニューモードになり、各機能を設定できます。

リモートモード

受信したデータをプリントします。

第2章 基本的な使い方



この章では ...

プリントするためのインク/メデイアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

作業の流れ	2-2	ヘッドクリーニング	2-11
電源を入れる/切る			
電源を入れる	2-3	テストプリントの結果に合わせて	
電源を切る	2-3	ヘッドクリーニングを行う	2-11
メディアをセットする	2-4	フィード補正の設定	2-11
ヘッド高さを調整する	2-4	フィード補正の設定	2-11
ロールメディアをセットする	2-5	ドットの位置がずれたら	2-12
巻取装置について	2-8	データをプリントする	2-12
原点を変更する場合は	2-9	プリントを開始する	2-12
ヒーターの準備をする	2-9	プリントを中止する	2-13
ヒーターの温度設定を変更する	2-9	受信したデータを消去する	
テストプリントをする	2-10		
テストプリントを行う	2-10	メディアをカットする	2-13

作業の流れ

電源を入れる/切る

「電源を入れる / 切る」((2) P.2-3) を参照してください。

メディアをセットする

「メディアをセットする」((2) P.2-4) を参照してください。

マ テストプリントをする

「テストプリントをする」(②PP.2-10) を参照してください。

ヘッドクリーニング

「ヘッドクリーニング」(②P.2-11) を参照してください。

| ドットの位置がずれたら

「ドットの位置がずれたら」((2) P.2-12) を参照してください。

電源を入れる/切る

電源を入れる

本機には、2つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ:

本機の側面にあります。常時「オン」にしておいてください。

[END/POWER] +-:

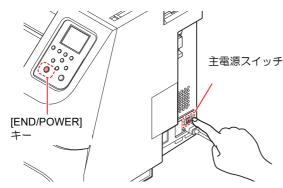
通常、電源のオン / オフをするときはこのキーを使用します。

[END/POWER] キーがオフでも、主電源スイッチがオンになっていれば、定期的に電源が自動的に入り、ノズル詰まり防止機能が動作します。

1

主電源スイッチを入れる。

・装置側面にある主電源スイッチを「I」側に倒します。



電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示し、初期動作を実行します。



(END/POWER) キーを押して、電源を入れる。

• ローカルモードになります。



接続しているコンピュータの電源をオンにする。



- フロントカバー/メンテナンスカバーを 閉じてから電源を入れてください。
- 主電源スイッチは常時「オン」にしてく ださい。
- 主電源スイッチを「オフ」のまま長時間 放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原 因となります。

電源を切る

プリンタの使用が終了したら、装置前面にある電源スイッ チを押して電源をオフにします。

電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未 出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。 (②P.5-11「エラーメッセージ」)

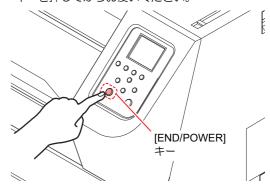
1

接続してあるコンピュータの電源をオフにする。

2

(END/POWER) キーを長押しして、電源を切る。

- ・装置側面にある主電源スイッチは、切らないでください。
- ・次に、本機をご使用になるときは、[END/POWER] キーを押してからお使いください。



電源を切るときのご注意

● 主電源スイッチは切らないでください。

主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入り ノズル詰まり防止機能(フラッシング機能)が働きます。

主電源スイッチを切っていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。

● フロントカバー/メンテナンスカバーは閉めた状態 にしてください。

カバーが開いていると、フラッシング等のオートメン テナンス機能が働かなくなります。

● ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない 状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まり の原因となります。

このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

● プリント中は電源を切らないでください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻らないこと があります。

● [END/POWER] キーで電源を切ってから、主電源スイッチを切ってください。

装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある [END/POWER] キーを長押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

メディアをセットする

本機では、ロールメディアをご使用になれます。 使用できるメディアについては、(20 P.1-16「使用可能メ ディアサイズ」を参照してください。



- ロールメディアをセットするときは、メディアを 足などに落とさないように注意してください。メ ディアの重みで怪我をすることがあります。
- ロールメディアをセットする場合は、2人以上でセットしてください。ロールメディアの重みで腰を傷める可能性があります。

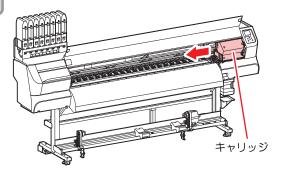


- ヘッド高さの調整は、メディアをセットする前に 行ってください。メディアをセットしたあとに調 整すると、メディア詰まりやプリント品質の低 下、ヘッドの破損の原因となります。
- 本機ではメディアを右寄せまたは中央にセットできます。メディアをセットする際は、本体背面に2カ所あるメディアセンサーのどちらか一方を必ず覆うようにセットしてください。
- メディアを中央にセットする場合、巻き取り延長 ケーブルを使用してください。
- ・使用目的に応じヘッド高さを調整してください。

ヘッド高さを調整する

お使いになるメディアの厚みに合わせて、ヘッド高さを調節してください。

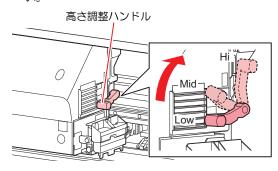
- ヘッドの高さは3段階に調整できます。
- ヘッドの高さを変更した場合、ノズル抜けを防止するために自動的にクリーニングを行う場合があります。
- ヘッドの高さを変更した場合、ワイパーの交換が必要になることがあります。
- 【 □ーカルで、(FUNC1) (MENU) を押す。
- **2** ▼ を押して"メンテナンス"を選び、 ENTER キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 選び、ENTER キーを押す。
- **4** ▼ を押して"キャリッジアウト"を選び、ENTER キーを押す。
- **5** ◆ ▼ を押して"プラテン右端まで移動" を選び、(ENTER) キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- **6** フロントカバーを開ける。



7

高さ調整ハンドルをメディアに応じて調整する。

下表を参照してレバーの位置を調整してください。



レンジ	ヘッド高さ
Low	2.8mm(出荷時設定位置)
Mid	3.3mm
Hi	3.8mm

8 ヘッドの高さに合わせて、ワイパーを取り付ける。

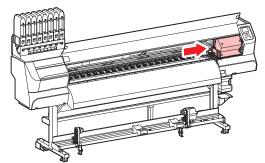
レンジ	ワイパー
Low	ワイパー(品番:SPC-0843)
Mid	
Hi	HiGap 用ワイパー(品番:SPC-0850)



- ・必ずヘッドの高さに合わせたワイパーをご使用ください。ノズル抜けや混色などの吐出不良の原因となります。
- ワイパーを変更した場合、ワイパー使用回数はリセットされます。

9 ENTER キーを押す。

・自動的にキャリッジがステーションに戻ります。



10 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。



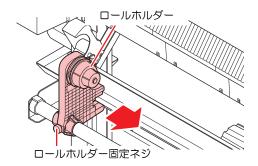
ヘッドの高さを調整したときは、必ずドット位置 補正を行ってください。ア.2-12

ロールメディアをセットする

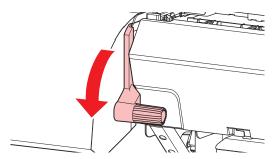
ロールメディアは、装置背面にあるロールメディアハン ガーにセットします。

1 装置背面にあるロールホルダーを、装置中央方向に移動する。

ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。



2 クランプレバーが下がっていることを確認する。



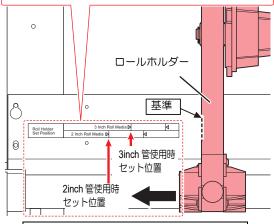
3 ロールホルダーをロールセット位置へ移動する。

本機ではメディアを右寄せまたは中央にセットすることができます。

メディアを右寄せにセットする場合

ロールストッパーアームと本体の間に、ロールストッパーが入り込んでいないことを確認してください。





ロールホルダー側(本体背面)

メディアを中央にセットする場合

・メディアのセット位置が本機の中央になるように、ロールホルダーの位置を移動してください。

4 ロールホルダー固定ネジを締める。

手順2~3を、再度確認してください。

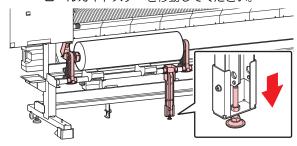
5 メディアをセットする位置に合わせて、ロー ルガイドステーを移動する。

- (1) ステー移動後、アジャス ターフットを接地させる
- (2) アジャスターフットのネジ を 1 周回す
 - ・床に確実に接地させてください



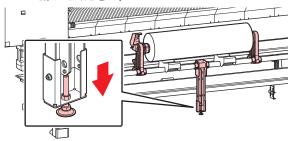
メディアを右寄せにセットする場合

・本体背面から見て右側のロールホルダーの左隣に ロールガイドステーを移動してください。



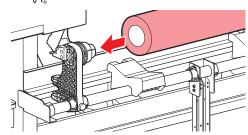
メディアを中央にセットする場合

ロールホルダーの中央にロールガイドステーを移動してください。

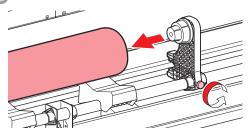


6 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込む。

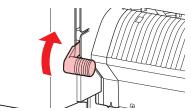
紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。



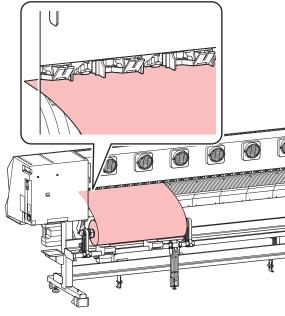
7 右側の繰出装置のネジを緩め、ホルダーを紙管に差し込む。



8 装置背面のクランプレバーを上げる。



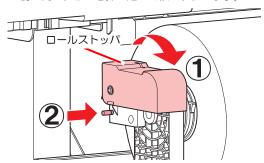
▲ 本機にロールメディアを差し込む。



- ・メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに差し込めます。
- (1) プラテンの先端まで届くくらい、メディアを引き出す
- (2) プラテンとピンチローラーの間にメディア を差し込む
 - 装置前面からメディアをつかめるくらい、メ ディアを送り出してください。



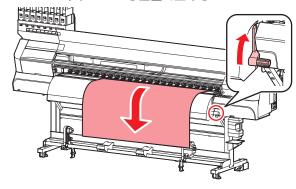
ロールメディアを中央にセットした場合、メディアが動いてしまわないようにロールストッパを手前に倒し、ピンを押し込んで仮ロックします。



(3) 装置背面からクランプレバーを下げる ・メディアが保持されます。

10 ロールメディアを引き出す。

- (1) フロントカバーを開ける
- (2) 装置前面からクランプレバーを上げる
- (3) ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックのかかる位置で止める

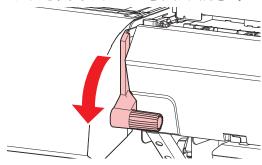




ロールメディアを中央にセットした場合、ロックはかかりません。

11 ロールメディアを均等にし、クランプレバーを下げる。

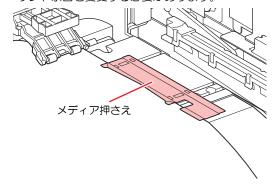
・メディアの数カ所を軽く引っ張り、ロールメディアの引き出し量がほぼ均等になっているのを確認してから、クランプレバーを下げてください。



12 メディア押さえでメディアを軽くはさむ。

- ・右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ 出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア 押えをメディアから外してプリントしてください。

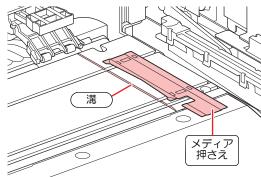
この場合、マシン設定メニューの"メディア検出"で"検出速度"を"標準"にして検出してください。また、メディア幅はメディア押さえの位置で検出されるため、設定メニューの"マージン"で、プリント余白を変更する必要があります。





- ・メディアをセットするときは、プラテン上の溝に メディア右端を合わせるようにしてセットしてく ださい。メディアを溝よりも右側にセットする と、メディアが斜行した場合、メディアが浮き上 がりヘッドを破損する原因となります。
- 本機はメディアの左右にセットしたメディア押さ えによって、メディアの幅を検出しています。 メディア押さえは確実にセットしてください。
- ・メディアが規定位置より左右に寄っていると、メディア検出後、エラーメッセージ"メディアイチミギスギマス"を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。
- メディア検出センサーの通るライン上のメディア にプリントされた結果が残っていると検出に失 敗、または幅が正しく検出できない場合があります。

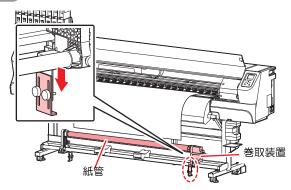
その場合はマシン設定メニューの"メディア検出"で"検出速度"を"標準"にして検出してください。



13

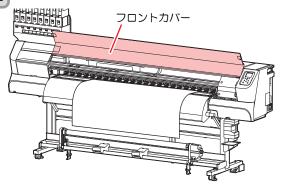
巻取装置に空の紙管をセットする。

・紙管セット後、巻き取り脚を接地させます。



14

フロントカバーを閉じる。



15

(▼) キーを押して、メディア幅を検出する。

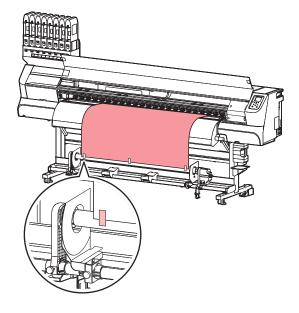
- メディア幅を検出します。
- マシン設定の「メディア残量表示」の設定が "ON" の場合 (公子 P.3-15)、メディア幅の検出後メディア残量入力画面が表示されます。(公子 P.2-8)

[16]

巻取装置にメディアを固定する。

((ZPP.2-8)

- (1) [▼] キーを押して、巻取装置の紙管に届くまでメディアをフィードする
- (2) 粘着テープでメディアの中央を固定する
- (3) 同様にしてメディアの左右を固定する
 - ・ロールメディアを左右均等に引っ張り、メ ディアにタルミ、シワが無いことを確認し、 テープを貼ってください。



端面ガイドについて

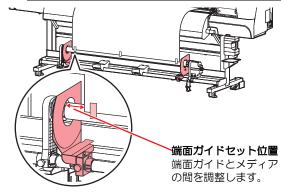
巻き取ったロールメディアの端面が、横方向へズレだすことがあります。 そのような場合は、 端面ガイドを使用することで、 横方向へのズレを防ぎます。



端面ガイドの位置を調整して固定します。

端面ガイドのセット位置は、プリント前のロールメディアの直径によって異なります。下記の表を 参考に調整してください。

ロールメディア直径	端面ガイドセット位置
~Ф 120mm	1mm
~Ф 160mm	3mm
~Ф 200mm	5mm



メディア残量入力について

マシン設定の「メディア残量表示」の設定を "ON" にしている場合 (公子 P.3-15)、メディア幅の検出が終了すると、メディア残量の入力画面が表示されます。

1

メディア残量入力画面を表示する。



2 ② を押して、メディア残量を入力する。

3 ENTER キーを押す。

メディア残量プリントについて

マシン設定の「メディア残量表示」の設定を "ON" にしている場合 (② P.3-16)、現在の日付とメディア残量を印刷したリストをプリントすることができます。

1 ローカルで、▲ ▼ ◆ ト を押す。
・ 原点設定モードになります。

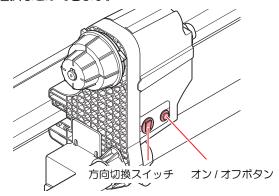
2 FUNC3 キーを押す。

• メディア残量プリントの確認画面が表示されます。

3 ENTER キーを押す。 ・メディア残量プリントを開始します。

巻取装置について

小幅巻取装置のスイッチを使って、メディアの巻き取り方 向の選択などができます。



	方向切換	上 (REVERSE)	プリント面を内側にして巻き取る	
巻	1	下 (FORWARD)	プリント面を外側にして巻き取る	
軍裝置		† フボタン	巻取動作のオン/オフを切り替える (ボタンを押して巻取装置を動作させると、再度ボタンを押すまで巻 取動作を継続します。*1)	

*1. オン / オフボタンを押している間だけ、巻取動作をするように設定できます。詳しくは、マシン設定の「巻取ユニットの設定」((ご) 巻取ユニットの設定) を参照してください。

トルクリミッターを調節する

巻取装置には、トルクリミッターが付いています。トルクリミッターを調整して、巻取の強さを変更することができます。トルクリミッターを調整するときは、付属のトルク調整ハンドルを使って、トルクリミッターを緩めたり、手で締めたりして調整します。

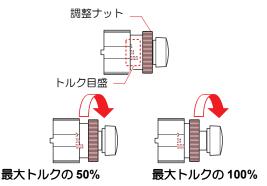
時計回り :手で調整します。テンションが強くなりま

す(ターポリン等の重量のある厚いメディ

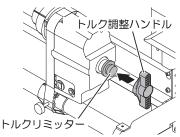
ア)。

反時計回り:トルク調整ハンドルで調整します。テン

ションが弱くなります(軽いメディア)。



1 トルク調整ハンドルを、トルクリミッターに取り付けて調整する。



トルク調整ハンドルで緩める: テンションが弱くなる



手で締める: テンションが強くなる





- トルクリミッターの調節でテンションが弱いと、 メディアを確実に巻き取ることができません。
- メディアを手動で巻き取らないでください。



- ・テンションを強めに設定した場合、メディアの種類によっては、巻き取られたロールメディアの端面が、横方向へズレだすことがあります。そのような場合は、端面ガイド((で) P.2-7) をご使用ください。
- トルク調整ハンドルを使用して強く締めすぎると、 巻取り装置を破損する場合があります。

原点を変更する場合は

プリント原点の位置を変更することができます。 変更したい位置へLEDポインタを移動させて決定します。

1

□ーカルで、▲ ▼ ◆ を押す。

・原点設定モードになります。



2 ② ▼ ▼ ▶ を押して、LED ポインタ の光点を変更したい位置へ合わせる。

[▲][▼][◀][▶]でキャリッジとメディアを移動させて選びます。

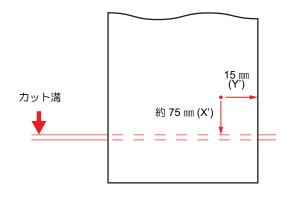
3 プリント原点を決定したら、(ENTER) キーを 押す。

・原点が変更されます。

原点設定位置の目安

プリント原点は、奥行方向 (X') はプラテン上にあるカット溝から奥側約 75 mm の位置になります。

横方向 (Y') の値は、メディア右端より 15 mm です。設定 メニューの「マージン」(②ア P.3-7) により変更できます。 また、ジョグキーを使って変更することもできます。



ヒーターの準備をする

ヒーターの温度設定を変更する

ヒーターの温度設定は、設定メニューの「ヒーター」で変更・保存できます。((②) P.3-6)

ここでは、設定モードで設定した温度の変更方法について 説明します。

お使いになるメディアに合わせて、ヒーター温度を設定してください。25 ℃環境のとき、各ヒーターの推奨温度は、以下になります。

ヒーター	温度
POST1	30 ℃
POST2	40 °C
OPT	40 °C

お買い上げ時、ヒーターの温度設定は "OFF" になっています.

プリント中も温度を調整することができます。

周囲の温度により、設定した温度に到達するまでに数分から数十分かかることがあります。

設定した温度の ±3 ℃に到達すると、プリントすることが できます。

1

ローカルで(SEL) キーを押し、(FUNC2) (HEATER) を押す。

• ヒーター温度調節画面を表示されます。

2

▲ ▼ ◆ ► を押して、各ヒーターの 温度を設定する。

ヒーターの選択:[◀][▶] で選ぶ **温度の設定**: [▲][▼] で設定

・ヒーターが加熱されます。ヒーターの温度が設定 値に到達すると、ディスプレイのヒーターのアイ コンが緑色に変わります。



 手順2で[FUNC3](OFF)を押すと、全 ヒーターが "OFF" になります。 また、[FUNC1]を押すと、POST1/ POST2 ヒーターが 10℃ ずつ上がります。

3

終了するとき、ENTER)キーを押す。

ローカルに戻ります。

使用環境における注意事項



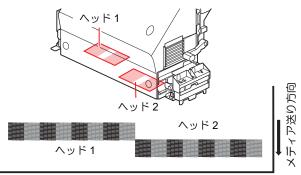
本機は、20~30°C の環境で使用してください。周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

テストプリントをする

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出 不良 (カスレや抜け)がないか確認します。

ヘッドの配列とテストパターンの関係

ヘッドの配列とプリントしたテストパターンのプリント 位置は、下図の通りです。



テストパターン

テストプリントに関する注意事項

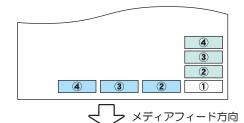


ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

<u>テストプ</u>リントを行う

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良(カスレや抜け)がないか確認します。

また、テストプリントを繰り返し実行するときのために、プリントするテストパターンの配置方向を次の2種類から選択することができます。使い方に合わせて選択してください。



: 配置方向が"フィード方向"のとき

]:配置方向が"スキャン方向"のとき

テストプリントの前に確認してください

- ・メディアをセットしているか ((22 P.2-4)
- 原点位置をセットしているか
- ヘッドの高さを調整しているか (②P.2-4)
- ・ノズルリカバリ機能を使う場合、必要な設定をしているか (全) P.4-13)

1 ローカルで、(FUNC2) (TEST PRINT/CLEANING)を押し、(ENTER) キーを押す。

・テストプリントの配置方向選択画面が表示されます。

2 全ずを押して、テストパターン(スキャン方向/フィード方向)の配置方向を選択する。

- ここで変更した配置方向は、次回プリント時にも 反映されます。
- 配置方向を"スキャン方向"から"フィード方向" に変更してテストプリントを実行すると、1 つめ のテストプリントの位置に改行されます。

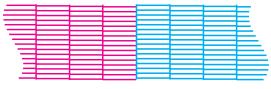
2 ENTER キーを押す。

- テストプリントを開始します。
- プリントが終わると、ローカルに戻ります。

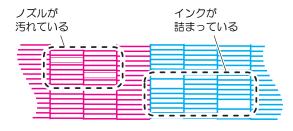
プリント結果を確認する。

- ・正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。(深) P.2-11)

正常なパターン



異常なパターン





4

テストプリントと同時に、プリンター名称、FW Ver、プリント日時、本機シリアルナンバー、イン クタイプが印刷されます。その他の表示は、サービス専用です。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合わせたクリーニングを行います。 次の3種類から選んでください。

ノーマル:線の抜けがある時

ソフト :ヘッドワイプのみ実行したい時(線の曲がりが

ある場合)

ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行して

も画質不良が改善しない時

テストプリントの結果に合わせてヘッ ドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、3 種類あります。 パターンプリントの結果によって使い分けてください。

□一力ルで、FUNC2) (TEST PRINT/CLEANING)

→ (▼)→ (ENTER) キーを押す。

• クリーニングメニューが表示されます。

2 上でを押して、クリーニングタイプを選択する。

・ノーマル:線の抜けがある時

• **ソフト** : ヘッドワイプのみ実行したい時 (線の

曲がりがある場合)

ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実

行してもプリント不良が改善しない時

3 クリーニングするヘッドを選択し、 ENTER)キーを押す。

4 再度テストプリントを実行し、プリント結果を確認する。

プリント結果が正常になるまで、クリーニングと テストプリントを繰り返してください。



ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改善 されない場合は以下を実施してください。

- ・ワイパーの清掃 ((ステ P.4-7)
- ・キャップの清掃 ((ステ P.4-8)
- ・ノズル洗浄 (CP P.4-9)
- ノズルリカバリ機能 ((冷) P.4-13)

フィード補正の設定

お使いになるメディアの種類に合わせて、メディアの送り 量を補正してください。

補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。



ロールメディアをご使用の場合、フィード補正を終了すると、プリント原点位置までメディアが戻り、本機背面のロールメディアにたるみが生じます。

プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。 画質不良の原因になります。

巻取装置を使用してのプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でフィード補正を行ってください。

フィード補正の設定

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。

すべてのプリント条件にこの設定が適用されます。



- ・補正パターンでは2本の帯をプリントします。
- 2 本の帯の境が均等の濃さになるように調整して ください。



✓ メディアをセットする。

• P.2-5「ロールメディアをセットする」

2 ローカルで(SEL) キーを押し、(FUNC1) (ADJUST) を押す。

調整メニューが表示されます。

2 ENTER キーを押す。

4 「プリント条件補正」がOFF になっていることを確認し、(ENTER) キーを押す。

ONになっているときは、FUNC1を押してOFFに します。

補正パターンを確認し、補正値を入力する。

- ・補正値の入力画面が表示されます。
- •"+"に入力すると:

2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。

・"-"に入力すると:

2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。

補正値を"30" 変更するごとに、約 0.1 mm 帯が移動します。

フィード補正の設定 (プリント条件別)



1Pass,2Pass は、プリント条件でフィード補正値 を設定することができます。

メディアをセットする。

• P.2-5「ロールメディアをセットする」

ローカルで(SEL)キーを押し、(FUNC1) (ADJUST) を押す。

調整メニューが表示されます。

(ENTER)キーを押す。



「プリント条件補正」が ON になっていること を確認し、ENTER)キーを押す。

• OFFになっているときは、(FUNC1)を押してONに



▼ を押して使用するプリント条件を選択 し、(ENTER) キーを押す。

下記プリント条件を選択できます。



下記条件以外はプリント条件別設定が OFF の場 合の補正値が反映されます。

4色インクセット

6,7,8 色インクセット

- 1. 480×600 1Pass
- 2. 480×600 2Pass
- 3.600×600 1Pass 4 600×600 2Pass
- 1. 480×600 2Pass 2. 600×600 2Pass

6

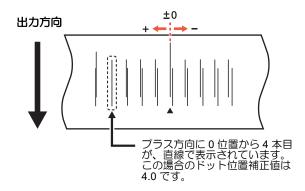
補正パターンを確認し、補正値を入力する。

- ・補正値の入力画面が表示されます。
- ・" + "に入力すると:
- 2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
- ・"-"に入力すると:
- 2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
- 補正値を "30" 変更するごとに、約 0.1 mm 帯が移 動します。

ドットの位置がずれたら

プリント時の条件 (メディアの厚み/インクの種類など) が変わったときは、次の操作をして双方向 (Bi) プリント 時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得 られるようにしてください。

パターンプリント例



- ローカルで(SEL)キーを押し、(FUNC1) (ADJUST) を押す。
 - 調整メニューが表示されます。
- ▼ を押し、(ENTER) キーを押す。 2
 - "ドット位置補正"が選択されます。

ENTER キーを押す。

- ドット位置補正のパターンプリントを開始しま す。
- ・複数のテストパターンをプリントします。(プリ ント順にパターン 1,2,3... と呼ぶ)

(▲)(▼)を押してパターン1の補正値を入力 し、(ENTER) キーを押す。

- 補正値:-40 ~ 40
- ・テストパターンを確認し、往路と復路が1本の直 線になっている位置が補正値となります。
- 補正値が -40 ~ 40 の間にない場合は、ヘッドの 高さを調整後、手順2から操作をし直してくだい。
- 手順4と同様にして、パターン2~の補正値を 5 入力し、(ENTER)キーを押す。
- 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。 6

データをプリントする

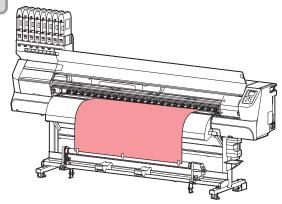
プリントを開始する



ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

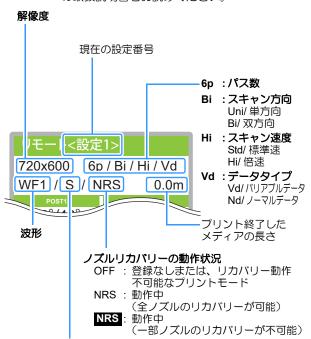
1

メディアをセットする((´/ʔḡ P.2-5)。



2 コンピュータからプリントするデータを送信する。

- ・ 状態表示ランプが点滅し、プリント条件が表示されます。
- ・データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。



MAPS4 設定

S:AUTO(標準) Q:AUTO(高品位) M:MANUAL

W : WANU

3

プリント開始。

解像度によっては同じデータをプリントしても、 セットしたメディアの幅やプリント原点の位置に よってプリント速度が変化する場合があります。

プリントを中止する

プリントを途中で中止する場合、次の操作をしてくださ い.

1

プリント中に、(FUNC3) (LOCAL) を押す。

- プリント動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、 コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- ・再度 [REMOTE] キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

受信したデータを消去する(データクリア)

プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去し てください。

1 ローカルで(SEL) キーを押し、(FUNC3) (DATA CLEAR) を押す。

2

・受信データを消去し、ローカルに戻ります。

メディアをカットする

(ENTER) キーを押す。

操作パネル上のキーを使い、任意の位置でメディアをカットします。

1

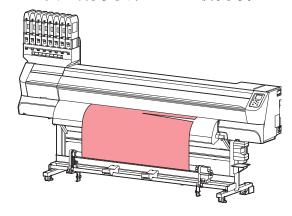
- 原点設定モードになります。
- 「▼」 を押して、カットする位置までメディアを フィードします。



2

(FUNC2) (ENTER) キーを押す

- •メディアをカットします。
- カットが終了すると、ローカルに戻ります。



第3章 セットアップ



この章では ...

本機の各種設定方法について説明しています。

	ーカル設定メニューについて	3-2	時刻の設定	3-16
	設定メニュー一覧表	3-2	単位(温度/長さ)の設定	3-16
	使い方に合わせた最適なプリント条件	を登録す	キーブザーの設定	
	る	3-4	確認フィードの設定	3-17
	フィード補正の設定	3-4	プリント間の余白の設定	3-17
	ドットの位置がずれたら	3-5	余白フィード方式の設定	3-17
	ヒーターの設定	3-6	ネットワークの設定	3-18
	ロジカルシークの設定	3-6	イベントメール機能の設定	3-18
	重ね塗りの設定	3-7	自動リモート	3-22
	乾燥時間の設定		照明	3-22
	マージン(左/右)の設定	3-7	カット前フィード	3-22
	プリント中リフレッシュ	3-8	設定した内容を初期状態に戻す	3-23
	吸着ファンの設定	3-8	ノズルチェックメニューについて	3-24
	フィード速度の設定	3-8	ノズルチェックメニュー一覧表	3-24
	オートクリーニングの設定	3-9	印刷中チェックの流れ	3-25
	外部ヒーターの設定	3-9	「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発	生時の
	MAPS4 の設定	3-9	印刷動作	3-25
	パス間濃度補正	3-10	印刷中チェックの設定	3-26
	プリフィードの設定	3-10	自動ノズルリカバリの設定	3-26
	設定タイプ名称の変更	3-11	判定条件の設定	3-26
マ	シン設定メニューについて	3-12	情報メニューについて	3-27
	マシン設定メニュー一覧表	3-12	情報メニューー覧表	
	オートパワーオフの設定	3-15	情報を表示させる	3-28
	巻取ユニットの設定	3-15	メンテナンス状態を表示する(ローカル	_ノ ガイタ
	トップブロワの設定	3-15	ンス)	3-28
	メディア残量表示の設定			
	メディア検出の設定	3-16		
	言語の設定			

ローカル設定メニューについて

設定メニューでは、普段使用するメディアに合わせてプリント条件を設定することができます。



FUNC1: 設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替

えるときに押す

FUNC3: 次の画面に切り替えるときに押す

○○: 設定項目を選択するときに押す

ENTER: 設定を確定するときなどに押す

◆ 設定メニュー一覧



設定メニュー一覧表



- 次の各設定項目については、接続しているホスト PC でお使いの RIP ソフトウェアからプリント時に指定した設定値に 従って動作するように設定できます。
- 設定項目: ロジカルシーク/ 重ね塗り/ 乾燥時間/マージン(左右) 吸着ファン/フィード速度
- 各項目を"ホスト"に設定すれば、RIPの設定内容に従って動作します。本機での設定を優先させたいときは、"ホスト" 以外に設定してください。
- ・RIP ソフトウェアでの指定方法については、RIP ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

機能名称		設定値	RIP から指 示がない場 合 *1	
フィード補正		-9999 ∼ <u>0</u> ∼ 9999		メディアの送り量を補正するためのパターンをプ リントし、補正します。
(@P P.3-4)	プリント条件別	ON/OFF		異なるフィード条件を持つプリントモード毎に
	フィード補正 (② P.3-5)	-255 ∼ <u>0</u> ∼ 255		フィード補正を実施し、補正値を適用することができます。
ドット位置補]	E (@P P.3-5)	-40.0 ~ <u>0</u> ~ 40.0		往復プリントにおける、着弾位置の調整を行いま す。
	POST1	$20{\sim}50{^\circ\!\mathrm{C}}$ / OFF		各ヒーターの温度を設定します。
ヒーター	POST2	$20{\sim}60{^\circ\!\mathrm{C}}$ / OFF		日に一ターの価度を設定しより。
(Æ P.3-6)	OFF 時間	無し/0~90分		プリントが終了してから、ヒーターを OFF にするまでの時間を設定します。
ロジカルシーク	7 (Œ P.3-6)	ホスト/ON / OFF	OFF	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。

機能名称		設定値	RIP から指 示がない場 合 *1	概要	
重ね塗り (畑 P.3-7)		<u>ホスト</u> /1~9回	1 🗆	インク重ね塗りの回数を設定します。	
乾燥時間	スキャ		<u>ホスト</u> /0.0~9.9 sec	0 sec	 インクの乾燥時間を設定します。
(② P.3-7) プリントエンド		<u>ホスト</u> /0~120 min	0 min	「フラの私味時間を設定しより。	
マージン/左(0	₽ P.3-	7)	ホスト /-10 ~ 85mm	0 mm	 左右のプリント余白を設定します。
マージン/右(0	æ P.3-	7)	<u>///X /-10 00</u> 111111	0 mm	
プリント中リフ	7レッシ:	ם	弱 / 標準 / 強		プリント中のリフレッシュレベルを設定します。
吸着ファン (公	P.3-8)		<u>ホスト</u> / 弱 / 標準 / 強	弱	メディアの吸着する力を設定します。
フィード速度 ^{*2}	² (ﷺ F	.3-8)	<u>ホスト</u> /10~200%	100 %	プリント中などにメディア送りをする速度を変更します。
	OFF、 距離、	ファイル、 時間			
	フ	アイル 間隔	1 ~ 1000		
		タイプ	ノーマル / ソフト / ハード		プリント前またはプリント中に行う、ヘッドの自
オート クリーニング	距	離間隔	0.1 ∼ 100.0m		動クリーニング動作を設定します。
(選 P.3-9)		タイプ	ノーマル / ソフト / ハード		
	時	間 間隔	10 ∼ 120min		
		タイプ	ノーマル / ソフト / ハード		
	クリー: チェッ	ニング後 ク	ON/ OFF		オートクリーニング後にノズルチェックを実行する/しないを設定します。
外部ヒーター((ÆF P.3	·9)	ON/OFF	i	外部ヒーターのオン / オフ を設定します。
	AUTO	MAPS MODE	画質優先 / 速度優先		
MAPS4		速度	50 ∼ <u>95</u> %		 パス間の縞を軽減します。
(ੴ P.3-9)	MANUAL	- スムージング レベル	0 ~ <u>25</u> ~ 100%		
パス間濃度補正 (② P.3-10)		.3-10)	OFF/弱/中/強		パス間に周期的な濃淡差が目立つ場合、本設定の 変更で軽減させることができます。
プリフィード (公配 P.3-10)		<u>OFF</u> / 100 ∼ 500mm		メディアの貼り付きやシワを防止のため、プリント前にメディアを前後にフィードする長さを設定します。	
設定リセット(② P.3⋅	4)	設定 $1\sim4$ で設定した内容を、	個別にリセ	ットできます。

^{*1.} 本機で"ホスト"を設定しているのに、RIP ソフトウェア (ホスト)側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合の、プ ・ イスト これたしているのに、バックフェライン(バスト)間では大きには、女童間のなどには、女童間のなどにとなっていまった。 100% 以上に設定した場合、プリント完了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られずに画質に影響する場合があります。

使い方に合わせた最適なプリント条件 を登録する

本機では、あらかじめ、お使いになるメディアに合わせて 個別にプリント条件 (設定 1 \sim 4)を登録しておくことが できます。

例えば、違う種類のメディアにプリントをした後に、いつも使っているメディアに戻した場合など、登録済みの設定 (1~4)を選ぶだけで最適の作図条件を設定できます。



本機であらかじめ登録できるプリント条件は、"設定 1" ~ "設定 4" の 4 種類です。

設定 (1 ~ 4) にプリント条件を登録する

- **1** ローカルで、(FUNC1)(MENU) **→**(ENTER) キーを押す。
- - 選択している項目には●、それ以外には○が表示されます。
 - 設定メニューが表示されます。
- **3** 項目を選び、設定する。
 - ・詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した 参照ページをご覧ください。

登録した内容をリセットする

設定1~4に登録した内容をリセットします。

- **1** ローカルで、FUNC1 (MENU) → ENTER キー を押す
- **2** を押してリセットする設定 (1 ~ 4) を選び、(ENTER) キーを押す
 - 設定メニューが表示されます。
- **3** FUNC1 (<<) を押す
- 4 ◆ ▼ を押して "設定リセット"を選び、 ENTER キーを押す
 - ・ 設定リセットの確認画面が表示されます。
- 名 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

フィード補正の設定

お使いになるメディアの種類に合わせて、メディアの送り 量を補正してください。

補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。



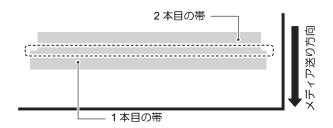
- ロールメディアをご使用の場合、フィード補正を 終了すると、プリント原点位置までメディアが戻 り、本機背面のロールメディアにたるみが生じま す。
 - プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
- 巻取装置を使用してのプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でフィード補正を行ってください。

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。

すべてのプリント条件にこの設定が適用されます。



- ・補正パターンでは2本の帯をプリントします。
- ・2本の帯の境が均等の濃さになるように調整して ください。



- **1** メディアをセットする (公子 P.2-4)。
- **2** ローカルで、(FUNC1)(MENU)→(ENTER) キーを 押す。
- **3** ▼ を押して設定 1 ~ 4 を選び、 ENTER キーを押す。
 - 設定メニューが表示されます。
- 4 **全** を押して"フィード補正"を選び、 ENTER キーを押す。
- **5** (ENTER) キーを 2 回押して、補正パターンを プリントする。
- **6** 補正パターンを確認し、補正値を入力する。
 - ・補正値の入力画面が表示されます。
 - •"+"に入力すると:
 - 2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
 - ・" "に入力すると:
 - 2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
 - 補正値を "30" 変更するごとに、約 0.1mm 帯が移動します。
- **7** ENTER キーを押す。
 - 再度、補正パターンをプリントして確認します。
 - ・補正の必要がある場合は、手順7の操作をして補 正してください。
- **8** 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

プリント中にメディア送りを補正したいと き

リモートモードや画像データのプリント中でもメディア 送り量の補正ができます。

リモートモードで、(FUNC1) (ADJUST) ◆ (ENTER) キーを押す。

(▲)(▼)を押して、補正量を入力する。

- 補正量:-9999~9999
- ここで入力した値は、すぐに補正量に反映されま す。
- (ENTER) キーを 2 回押す。
 - ・変更した値が登録されます。
 - [ENTER] キーの代わりに [END] キーを押すと、こ こで補正した内容は一時、有効となります。(再度 メディア検出を行うか電源を OFF すると、補正値 はクリアされます)

プリント条件別フィード補正

プリントモードによりフィード速度などの条件が異なり ます。

それぞれのモードに応じた補正値をもたせることで、同設 定内で異なるプリントモードを出力させる場合に、補正値 の変更作業を軽減させることができます。

メディアをセットする ((APP.2-4)。

ローカルで、(FUNC1)(MENU) → (ENTER) キー を押す。

▲)(▼)を押して設定1~4を選び、 (ENTER)キーを押す。

設定メニューが表示されます。

▲)(▼) を押して"フィード補正"を選び、 ENTER)キーを押す。

"プリント開始"待ち画面で、(FUNC1) (MENU)を 押して、ON/OFF を切り替えます。

• ON の場合:

条件別に補正し、補正値を入力することができま

プリント条件に応じ、それぞれの補正値が適用さ

- (1) 480x600 1、2pass (1pass は 4 色セットの み)
- (2) 600x600 1、2pass (1pass は 4 色セットの み)
- (3) その他

(1)、(2) を除くプリントモードは 720x600、 600x1200 全パス

- OFF の場合:
 - 1つの補正値が全モードに適用されます。
- [FUNC3]を押すことで全ての補正値を確認するこ とができます。

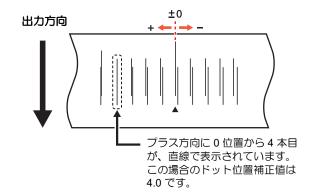


・詳細設定を "ON" にした場合、使用する すべてのモードで調整を実施してくださ

ドットの位置がずれたら

プリント時の条件(メディアの厚み/インクの種類など) が変わったときは、次の操作をして双方向(Bi)プリント 時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得 られるようにしてください。

パターンプリント例



- メディアをセットする ((冷) P.2-4)。
 - パターンプリントをするには、幅 500mm 以上の 大きさのメディアが必要です。
- ローカルで、(FUNC1)(MENU) → (ENTER) キー 2 を押す。
- ▲ ▼ を押して設定1~4を選び、 (ENTER) キーを押す。
 - 設定メニューが表示されます。
- ▲ ▼ を押して"ドット位置補正"を選び、 4 (ENTER)キーを押す。
- (ENTER) キーを押す。
 - ドット位置補正のパターンプリントを開始しま
 - ・複数のテストパターンをプリントします。(プリ ント順にパターン 1,2,3... と呼ぶ)

- - 補正値:-40 ~ 40
 - ・テストパターンを確認し、往路と復路が1本の直線になっている位置が補正値となります。
 - 補正値が -40 \sim 40 の間にない場合は、ヘッドの 高さを調整後、手順 $_2$ から操作をし直してくださ い。
- **7** 手順4と同様にして、パターン2~のドット位置を補正し、(ENTER) キーを押す。
- 名とき、(END/POWER) キーを数回押す。

ヒーターの設定

アフターヒーターには、POST ヒーター $1 \cdot POST$ ヒーター 2 が内蔵されています。

ヒーターの種類	働き
POST1	メディアの急激な温度上昇を防ぐための予 熱ヒーターです。
POST2	プリントしたインクを乾燥させるヒーター です。

ここでは、各ヒーターの温度設定の他に、プリントが終了 してからヒーターを OFF にするまでの時間も設定できます。

- **1** ローカルで、Func1 (MENU) → ENTER キーを押す。
- **2** ▼ を押して設定 1 ~ 4 を選び、 ENTER キーを押す。
 - 設定メニューが表示されます。
- 3 ◆ ▼ を押して "ヒーター " を選び、 ENTER) キーを押す。
- 4 ② を押して、各ヒーター温度を 設定する。
 - **ヒーターの選択** : [▲][▼] で選び [ENTER] キーを

押す

・温度の設定 : [▲][▼] で設定

・各ヒーターの設定温度 POST1:20~50°C POST2:20~60°C

- 6 ◆ ▼ を押してプリント終了後に ヒーターを OFF するまでの時間を設定し、 ENTER キーを押す。
 - ・設定値:無し/0~90分

7 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。



・使用環境によっては POST1 側の画面表示上の温度が下がる場合があります。

ロジカルシークの設定

ロジカルシークの設定により、下図のようにヘッドの動作が変わります。

ロジカルシーク OFF 時のヘッドの動き

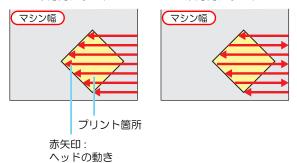
単方向プリント 双方向プリント マシン幅 マシン幅 プリント箇所 赤矢印:

小大印:ヘッドの動き

ロジカルシーク ON 時のヘッドの動き

単方向プリント

双方向プリント



- **1** ローカルで、(FUNC1) (MENU) **→** ENTER キー を押す。
- **2** ▼ を押して設定 1 ~ 4 を選び、 ENTER + 一を押す。
 - 設定メニューが表示されます。
- 3 ◆ ▼ を押して"ロジカルシーク"を選び、 (ENTER) キーを押す。
- **4** ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。
 - 設定値: ホスト /ON/OFF
- 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

重ね塗りの設定

重ね塗りをするときの、回数を設定します。

- **1** ローカルで、FUNC1 (MENU) **→** ENTER キー を押す。
- **2** ▼ を押して設定 1 ~ 4 を選び、 ENTER キーを押す。
 - 設定メニューが表示されます。
- **3** FUNC3 (>>) を押す。
- 4 ▼ を押して " 重ね塗り " を選び、 ENTER キーを押す。
- - 設定値: ホスト/1~9回
- **6** 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。

乾燥時間の設定

乾燥時間の設定では、インクの乾燥時間に関する次の各項目の設定をします。

・スキャン : スキャン毎のインク乾燥時間を設定(双方

向プリントの場合は、往路 / 復路のスキャン毎に設定した時間だけ一時停止する)

• プリントエンド: プリント終了後のインク乾燥時間を設定

- RasterLink 側の設定を優先させたいときは、設定値を"ホスト"にしてください。
- ・RasterLink では、本機で設定する"スキャン"は "スキャン毎の乾燥時間"と表示しています。
- "スキャン毎の乾燥時間"と表示しています。・プリントエンドの設定については、RasterLink 側での指定ができません。本機の設定で"ホスト"に設定した場合は、プリント時"プリントエンド=0分"の状態でプリントされます。
- **1** ローカルで、(FUNC1)(MENU) **→** ENTER キー を押す。
- - 設定メニューが表示されます。
- **3** (>>) を押す。
- **4 ▼** を押して " 乾燥時間 " を選び、 ENTER キーを押す。
- **5** ENTER キーを押す。

- - スキャン時とプリント終了後の乾燥時間を設定します。お使いの RIP で指定している乾燥時間を有効にする場合は"ホスト"を選択してください。
 - ・スキャンの設定値 : ホストまたは $0.0\sim9.9$ 秒
 - ・プリントエンドの設定値 : ホストまたは 0 \sim 120 分
 - ・項目の選択: [▲][▼] で選ぶ ・時間の設定: [◀][▶] で設定
- を
 するとき、

 END/POWER

 キーを数回押す。

 では

 The property in the p

マージン(左/右)の設定

メディアの左右のマージン (余白)を設定します。 ここでは、標準マージン 15mm に対するオフセット値を 設定します。



- RIP ソフトウェア側の設定を優先させたいとき は、設定値を"ホスト"にしてください。
- 付属の RIP ソフトウェア (RasterLink) では、マージンの指定ができません。RasterLink をお使いの場合に本機の設定で"ホスト"にすると、プリント時には左右のマージンのオフセット値="0mm"の状態でプリントされます。
- マージンの設定は、メディア幅の検出時に反映されます。
- **1** ローカルで、(FUNC1)(MENU) → (ENTER) キーを押す。
- - 設定メニューが表示されます。
- **3** FUNC3 (>>) を押す。
- **4** ▼ を押して"マージン/左"または"マージン/右"を選び、(ENTER)キーを押す。
- 5 ▲ ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。
 - ・設定値:ホスト /-10 ~ 85mm
- 6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。



メディア押さえを使ってプリントする場合、左右のマージンを-5mm以下に設定すると、メディア押さえの上からプリントを開始することがあるのでお気をつけください。

プリント中リフレッシュ

プリント中のリフレッシュレベルを変更することができ ます。



- インク量の少ないデータの場合、リフレッシュレベル"弱"ではノズル抜けが発生する可能性が高まります。
- **1** ローカルで、FUNC1 (MENU) **→** ENTER キー を押す。
- - 設定メニューが表示されます。
- **3** (>>) を押す。
- 4 ◆ ▼ を押して " プリント中リフレッシュ " を選び、 (ENTER) キーを押す。
- 5 更し、ENTER)キーを押す。
 - 設定値:弱/標準/強

吸着ファンの設定

メディアを吸着する強さを設定します。 メディアに合わせた吸着力を設定することにより、メディアの浮きによるプリントミスを防止できます。

- **1** ローカルで、(FUNC1)(MENU) **→**(ENTER) キーを押す。
- - 設定メニューが表示されます。
- **3** FUNC3 (>>) を押す。
- **4** ▼ を押して " 吸着ファン " を選び、 (ENTER) キーを押す。
- **5** ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。
 - 設定値: ホスト/弱/標準/強
- **6** 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

吸着ファン常時動作

吸着ファンをオフで放置すると、メディアに歪みや浮きが発生し、次のキャップオフ動作時にメディアジャムとなってしまいます。

プリントやジョグの動作終了後に吸着ファンをオンにしたままにすることで、メディアに歪みや浮きが発生するのを防ぐことができます。

- **1** ローカルで、(FUNC2) (TEST PRINT/CLEANING)を押し、(ENTER) キーを押す。
 - ・"メンテナンス"画面が表示されます。
- **2** 承文 を押して、"吸着ファン常時動作"を 選択する。
- ENTER キー押して ON/OFF を選ぶ。
 - ・設定値:ON/OFF
 - ON: 設定直後から吸着ファンが動作します。 キャップOFF動作(プリントやステーショ ンメンテ、ジョグ動作等)を終了後も吸着 ファンが動作したままとなります。 メディアを吸着する強さはユーザー設定 (MENU > 設定 > 吸着ファン)に従います。
 - OFF: 吸着ファンの動作を停止します。
- 4 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

フィード速度の設定

プリント中などにメディア送りをする速度を変更します。

- **1** ローカルで、(FUNC1)(MENU) **→**(ENTER) キーを押す。
- **2** ▼ を押して設定 1 ~ 4 を選び、 ENTER キーを押す。
 - 設定メニューが表示されます。
- **3** (>>) を2回押す。
- 4 **●** を押して"フィード速度"を選び、 ENTER キーを押す。
- **5** ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。
 - 設定値:ホスト/10~200%
- **6** 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。



- プリント条件によっては、速度が変わら ない設定値があります。
- ・プリント中のメディア送り速度は、本設定と「フィード品質の設定」の設定値で決まります。

オートクリーニングの設定

プリント終了後に今までプリントしたファイル数または 長さまたは時間をカウントし、クリーニングが必要な場合 は自動的にクリーニングを行うよう設定できます。

オートクリーニングの設定は、次の3種類から選択できます。

•ファイル : プリントファイル数でクリーニング間隔

を設定する

・距離: プリントした長さでクリーニング間隔を

設定する

時間: プリントした時間でクリーニング間隔を

設定する

その他にも、オートクリーニング後に自動的にノズルチェックを実施するように設定できます。(クリーニング後チェック機能)

ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した出力結果を持続することができます。

- **1** ローカルで、「FUNC1 (MENU) → ENTER キーを押す。
- **2** ▼ を押して設定 1 ~ 4 を選び、 ENTER キーを押す。
 - 設定メニューが表示されます。
- **3** (FUNC3) (>>) を 2 回押す。
- 4 ▼ を押して"オートクリーニング"を 選び、ENTER キーを押す。
- 5 (ENTER) キーを押し、 ▲ ▼ でオートク リーニングの種類を選ぶ
 - オートクリーニングの種類には

"ファイル"、"距離"と"時間"があります。

ファイル: 設定した回数のプリントが終了したら、

自動的にヘッドクリーニングを行う

距離: 設定した長さを経過したら、自動的に

ヘッドのクリーニングを行う

時間: 設定した時間を通過したら、自動的に

ヘッドのクリーニングを行う

• オートクリーニングの設定をしない場合は、 "OFF" を選んでから手順 10 へ進んでください。

- 6 ENTER キーを押し、▲ ▼ でクリーニ ング間隔を設定する。
 - 手順 5 で選択したオートクリーニングの種類によって、設定値は異なります。

ファイルの場合: 1 ~ 1000 ファイル

距離の場合: 0.1~100.0m (0.1m単位で設定) **時間の場合**: 10~120min (10min単位で設定)

- **7** ENTER キーを押し、▲▼ でクリーニ ングタイプを設定する。
 - ・設定値: ノーマル/ソフト/ハード
- **8** (ENTER) キーを押し、 ▲ ▼ で"クリーニング後チェック"を選ぶ。
- **9** ENTER キーを押し、▲▼で設定値を 選ぶ
 - ・設定値:ON/OFF
- **10** ENTER キーを押す。

11

終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。



ヘッド等の状態によっては、本機能を実 行してもプリント不良が復旧しない場合 があります。この場合は、販売店または 弊社営業所、コールセンターにお問い合 わせください。

外部ヒーターの設定

外部ヒーターのオン/オフを設定します。

- **1** ローカルで、(FUNC1)(MENU)→
 (ENTER) キーを押す。
- - 設定メニューが表示されます。
- **3** (FUNC1) (<<) を押す。
- 4 ◆ ▼ を押して "外部ヒーター "を選び、 ENTER キーを押す。
- **5** ▲ ▼ を押して、設定値を選択する。
 ・設定値: ON/OFF
- **6** ENTER キーを押す。
- **7** 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

MAPS4 の設定

MAPS(Mimaki Advanced PassSystem) 機能とは、パスの境界を分散させることにより、パス間の送り縞が目立ちにくくさせる機能です。



- MAPS4 の設定を変更すると、色味の変化がみられる場合があります。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。
- ・プリントする画像によっては MAPS 機能の効果が得られない場合があります。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。

● MAPS 機能が無効になる条件

以下の条件では、MAPS 機能が無効になることがあります。また、プリントする画像によっては MAPS の効果が得られない場合があります。

4 色インクセット時

解像度	パス	MAPS MODE
480 x 600	1 pass	速度優先
600 x 600	1 pass	还反废兀

6 色 /7 色 /8 色インクセット時

解像度	パス	MAPS MODE		
480 x 600	2 pass	_		
600 x 600	2 pass	_		

MAPS4 機能 (AUTO) を設定する

- **1** ローカルで、(FUNC1) (MENU)→ ENTER) キーを押す。
- **2** ▼ を押して設定 1 ~ 4 を選び、 ENTER キーを押す。
 - 設定メニューが表示されます。
- **3** (>>) を 2 回押す。
- - 設定値を"MANUAL"にする場合はP.3-10「MAPS4 機能(MANUAL)を設定する」を参照してください。
 - "AUTO" 設定を推奨します。
- 6 ◆ ◆ を押して、1パスプリント時のプリントモード(速度優先/画質優先)を選び、 ENTER キーを押す。



- •1 パスでないプリントには必要ありません。
- ・速度優先:1パスプリントを速度優先で行います。・画質優先:1パスプリントを画質優先で行います。
- **7** 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。

MAPS4 機能 (MANUAL) を設定する

- **1** ローカルで、(FUNC1)(MENU)

 ◆(ENTER) キーを押す。
- - ・設定メニューが表示されます。
- **3** (>>) を2回押す。
- 4 Nemter キーを押す。
- **5** ▼ を押して "MANUAL" を選び、 ENTER キーを押す。
 - 設定値を "AUTO" にする場合は P.3-10「MAPS4 機能 (AUTO) を設定する」を参照してください。
- **6** ▲ ▼ を押して"速度"(50~95%)を選び、 ENTER キーを押す。
 - プリントするときの速度を選びます。標準画質の プリントを基準として、プリント速度を遅くした いときはー(マイナス)に、速くしたいときは+(プラス)に設定してください。



 速度を変更した場合、ノズルリカバリ (②P.3-26)の効果が出ないことがあります。あらかじめ確認をしてから、 使用してください。

- **7** ② ▼ を押して"スムージングレベル"を 選び、 ENTER)キーを押す。
- **8** ▼ を押してスムージングレベルを変更し、 ENTER キーを押す。



- 2 パスプリントは "MANUAL" 設定に関わらずスムージングレベル 100%となります。
- ・設定値:0~100%(5%単位で設定)
- ・設定値を上げると、MAPS4の効果が強くなり、設 定値を下げると MAPS4の効果が弱くなります。
- **9** 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。

パス間濃度補正

パス間に周期的な濃淡差が目立つ場合、本設定の変更で軽減させることができます。



- 初期状態で濃淡差が見られる場合に変更してください。
- **1** ローカルで、FUNC1 (MENU) **→** ENTER キー を押す。
- - 設定メニューが表示されます。
- **3** (>>)を2回押す。
- **4** (▼)を押して"パス間濃度補正"を選び、 (ENTER)キーを押す。
- **5** ▲▼を押して補正値を変更し、 ENTER キーを押す。
 - 設定値: OFF/弱/中/強
- 6 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。

プリフィードの設定

プリント前にメディアを前後にフィードすることにより 次のような効果が期待できます。

- メディアが本機の各種ローラーやプラテンなどに貼り付くの を予防します。
- メディアにシワが寄っている場合、シワの軽減が期待できます。
- **1** ローカルで、(FUNC1)(MENU) **→**(ENTER) キーを押す。
- - 設定メニューが表示されます。
- **3** (>>) を3回押す。

- **4** ▼ を押して " プリフィード " を選び、 ENTER キーを押す。
- **5** 長さを設定する。
 - 設定値:OFF, 100 \sim 500 mm
 - [OFF] にすると、プリフィードを行いません。
- **6** ENTER キーを押す。
- **7** 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

設定タイプ名称の変更

設定タイプの名称を変更できます。



- 使用できる文字は英数字および記号です。
- **1** ローカルで、(FUNC1)(MENU) **→** (ENTER) キーを押す。
- **2** ▼ を押して設定 1 ~ 4 を選び、 FUNC2) (Name) キーを押す。
- 3 設定タイプ名を変更する。
- 4 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。

マシン設定メニューについて

本機を快適に使用するための各種設定です。マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。



FUNC1: マシン設定メニューを選ぶとき、または、1 つ前の画面に

切り替えるときに押す

FUNC3 : 次の画面に切り替えるときに押す△◇ : 設定項目を選択するときに押すENTER : 設定を確定するときなどに押す

◆マシン設定メニュー一覧



マシン設定メニュー一覧表

機能名称		設定値	内 容
オートパワーオフ (Œ P.3-15)	しない/10~30~600min	設定した時間操作がない場合、自動で電源を"OFF" にします。
₩ m¬ – L	小巻取ユニット	ON / OFF	小巻取ユニットを使用する / しないを設定します。
巻取ユニット (②P.3-15)	小巻取スイッチ	<u>継続</u> /一時	小巻取装置のオン/オフボタンを押したときの動作 方法を設定します。
トップブロワ	ON	AUTO/強い/弱い	プロスル カのし プブロロの手がたち込むし キオ
(@P P.3-15)	OFF		ブリント中のトップブロワの動作を設定します。
メディア残量 (公子	P.3-15)	ON / OFF	メディアの残量を管理することができます。
メディア検出 ((ステ P.3-16)	起動時検出	ON / OFF	装置起動時にメディアを検出する / しないを設定します。
(Kg F.3-10)	検出速度	<u>高速</u> /標準	メディア検出速度を設定します。
LANGUAGE(CF P	2.3-16)	日本語 / <u>English</u> / 中文 /Turkce	表示言語を変更します。
時刻設定 (從 P.3-16)		+4h ~ -20h(日本時間)	現在の日付と時刻を設定します。
単位 / 温度 (泛 P.3-16)		<u>°C</u> (摂氏)/°F(華氏)	温度の表示単位を設定します。
単位 / 長さ (紀 P.3-16)		mm / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。
キーブザー (🎾 P.	3-17)	ON / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。

	機能名称	設力		内 容	
確認フィード (②デ P.3-17)		ON / OFF		テストプリントなどのプリント結果を確認するため	
·				にメディアのフィードを行うか設定します。	
ページ間余白 (深 P.3-17)		無 <u>し</u> /10~500mm		プリント間の余白を設定します。	
余白フィード方式 (公) P.3-17)		<u>間欠</u> / 連続		画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変 更します。	
	ネットワークの設定をします	1	0		
	IP アドレス確認			レスが表示されます。	
	MAC アドレス確認	現在、本機が係	使用中の MAC ア	⁷ ドレスが表示されます。 	
	DHCP	ON / OFF		オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。	
ネットワーク ((ご) P.3-18)	AutoIP	ON / OFF		オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の 場合は DHCP を優先します。	
	IP アドレス*1	本機が使用する	3 IP アドレスを	設定します。	
	デフォルトゲートウェイ *1	本機が使用する	3デフォルトゲ-	ートウェイを設定します。	
	DNS アドレス *1	本機が使用する	る DNS サーバー	のアドレスを設定します。	
	サブネットマスク *1	本機が使用する	るサブネットマス	スクの桁数を設定します。	
	メール送信 (CP P.3-18)	ON / OFF		設定したイベントが起こった際に、メールを送信する機能を設定します。	
		プリント開始	ON / OFF	プリント開始時にメールを送信する / しないを設定 します。	
		プリント終了	ON / OFF	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定 します。	
	送信イベント選択 ((公) P.3-19)	プロット開始	ON / OFF	プロット開始時にメールを送信する / しないを設定 します。	
		プロット終了	ON / OFF	プロット終了時にメールを送信する / しないを設定 します。	
		エラー	ON / OFF	エラー発生時にメールを送信する / しないを設定します。	
		ワーニング	ON / OFF	ワーニング発生時にメールを送信する / しないを設 定します。	
		その他	ON / OFF	上記以外のイベント発生時にメールを送信する/しないを設定します。	
イベントメール	メールアドレス ((定) P.3-19)	イベントメールを送信する メールアドレスを設定しま す。		英数字、記号 (96 文字)	
	件名 (頌 P.3-19)	イベントメールの件名に記載 する文字を設定します。		英数字、記号 (8 文字)	
		SMTP アドレス		SMTP サーバーを設定します。	
		SMTP ポート No.		SMTP のポート番号を設定します。	
		送信元メールアドレス		メールの送信元として使用するメールアドレスを設 定します。	
			OFF		
	サーバー設定 (CGF P.3-19)	認証方式	POP before SMTP	SMTP サーバーの認証方式を設定します。	
			SMTP 認証	_	
		ユーザー名 *2	•	認証に使用するユーザー名を設定します。	
		パスワード *2		認証に使用するパスワードを設定します。	
		POP3 アドレス *3		POP サーバーを設定します。	
		APOP *3		APOP のオン / オフを設定します。	
	テストメール送信 (頌 P.3-20)	テストメールの	D送信を実行しる	 ます 。	
自動リモート ((ご) P.3-22)		ON / OFF		ローカルでデータを受信すると自動的にリモート モードへ移行し、プリントを開始する / しないを設 定します。	

i	機能名称	設定値	内 容
	点灯方式	自動/手動	プリント動作やメンテナンス作業時(カバーオープン等)の、点灯 / 消灯方法を設定します。
照明 ((全) P.3-22)	点灯延長	無し/1~ <u>5</u> ~10min	"自動"を選んだ場合、プリント動作後点灯などを 継続する時間を設定します。
	起動時点灯	ON / OFF	装置起動時に点灯する/しないを設定します。
カット前フィード (②P P.3-22)		ON / OFF	メディアカット実行時のメディアフィード動作を無 効化することができます。
リセット (@P P.3-23)			すべての設定項目を初期値に戻します。

^{*1. [}DHCP]、[AutoIP] が両方オフの場合のみ設定可能
*2. [ニンショウホウシキ] がオフでない場合のみ設定可能
*3. [ニンショウホウシキ] が POP before SMTP の場合のみ設定可能

オートパワーオフの設定

設定した時間操作がない場合、自動で電源を "OFF" にします。

- **1** ローカルで、FUNC1 (MENU) ◆▼ (2 回)◆ ENTER キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- **2** ② を押して"オートパワーオフ"を選び、(ENTER) キーを押す。
- 3 ▲ ▼ を押して設定。値を選び、 ENTER)キーを押す
 - 設定値: しない, 10 ~ 600 min
- 4 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

巻取ユニットの設定

巻取ユニットの設定では、次の項目を設定します。

- ・小巻取装置を使用する / しない
- ・ 小巻取装置のオン / オフボタンを押したときの動作
- **1** ローカルで、FUNC1 (MENU) → ▼ (2 回)→ ENTER キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- 3 ENTER キーを押す。
- **4** ENTER キーを押す。
 - " 小巻取ユニット " が選択されます。
- **5** ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。
 - ・設定値: ON/ OFF
- **6** ▼ を押し、ENTER キーを押す。
 - " 小巻取スイッチ " が選択されます。
- **7** ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。
 - ・継続: スイッチを押すごとに、巻取動作のオン / オフを切り替えます。(動作中の巻取装置は、再度オン/オフスイッチを押すまで止まりません。)
 - 一時:スイッチを押している間だけ、巻取動作を 行います。(スイッチを放すと、巻取動作 は止まります。)
- 8 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

トップブロワの設定

プリント中のトップブロワの動作を設定します。 トップブロワの設定を "ON" にすると、ブロワの強さを設 定できます。

- **1** ローカルで、FUNC1 (MENU) **→** ▼ (2 回)**→** ENTER キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- **3** ▲ ▼ を押して "ON" を選び、 ENTER キーを押す。

ON:プロワの強さを選べるようになります。 OFF:プリント中にトップブロアは動作しません。

手順6へ進んでください。

- **4** ▼ を押して " 強さ " を選び、 ENTER キーを押す。
- **5** を押して設定値(AUTO/強い/弱い)を選び、(ENTER) キーを押す。

• 設定値: ON/ OFF

6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

メディア残量表示の設定

メディア残量表示の設定をします。

メディア残量表示を	リモートでメディア残量が表示されま
ON にすると	す。
メディア残量表示を	リモートでメディア残量は表示されま
OFF にすると	せん。



- プリント、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。
- メディア長 (残量初期値)はロールメディア検出 時に入力します。(公) P.2-8)
- ここで行う設定は、設定終了後にメディア検出を 行わないと有効になりません。
- 1 □ーカルで、FUNC1 (MENU) → ▼ (2 回)→
 ENTER キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- **2** ▼ を押して "メディア残量 "を選び、 ENTER キーを押す。
- **3** ▲▼ を押して、ON/OFF を選ぶ。
- **4** ENTER キーを押す。
- **5** 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。



メディア残量表示の設定を "ON" にすると、現在のメディア残量と日付をリストにしてプリントできます。(全) P.2-8)

メディア検出の設定

メディア検出の設定では、以下の項目の設定をします。

起動時検出	"ON" にした場合、本機起動時に自動的にメディアの検出を行います。
検出速度	検出方式を変更します。 "高速"の場合、検出センサーの通過するメディア上にプリントデータがある場合など、検出に失敗する場合があります。 メディア検出に失敗する場合や、メディア押さえの自動検出を行いたくない場合など"標準"に設定します。

起動時検出

1 □ーカルで、(FUNC1) (MENU) **→** ▼ (2 回)**→** (ENTER) キーを押す。

マシン設定メニューが表示されます。

う FUNC3 (>>) を押す。

3 ▲ ▼ を押して "メディア検出 "を選び、 ENTER キーを押す。

5 ● ▼ を押して、"ON/OFF" を選び、 ENTER キーを押す。

設定値:ON/OFFON:起動時検出ありOFF:起動時検出なし

6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

検出速度の設定

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ (2 回)→ (ENTER) キーを押す。

• マシン設定メニューが表示されます。

2 FUNC3 (>>) を押す。

3 ▲ ▼ を押して "メディア検出 "を選び、 (ENTER) キーを押す。

4 ● ▼ を押して " 検出速度 " を選び、 ENTER)キーを押す。

5 ● ▼ を押して、" 高速 / 標準 " を選び、 ENTER キーを押す。

設定値:高速/標準

高速:メディア押さえ自動検出有り 標準:メディア押さえ自動検出無し



"高速"を選んだ場合、検出センサーの 通過するメディア上にプリントデータが ある場合など、検出に失敗する場合があ ります。

メディア検出に失敗する場合や、メディア押さえの自動検出を行いたくない場合は"標準"を選んでください。

6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

言語の設定

表示言語を変更します。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) **→** ▼ (2 回)**→** ENTER キーを押す。

マシン設定メニューが表示されます。

2 FUNC3 (>>) を押す。

3 ● ▼ を押して "LANGUAGE" を選び、 ENTER)キーを押す。

4 ▼ を押して言語を選び、 ENTER キーを押す。

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

時刻の設定

お使いの国に合わせた時刻(時差)に設定することができます。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) → ▼ (2回)→ ENTER キーを押す。

マシン設定メニューが表示されます。

2 FUNC3 (>>) を押す。

3 ◆ ▼ を押して " 時刻 " を選び、 ENTER キーを押す。

4 ▼ ◆ ▶ を押して時刻を入力し、 ENTER キーを押す。

・時分の選択: [◀][▶] で選ぶ・時分の入力: [▲][▼] で入力

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。



• -20 ~ +4 時間の間で、設定できます。

単位(温度/長さ)の設定

本機で使用する単位を設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ◆ ▼ (2 回) ◆ ENTER キーを押す。

マシン設定メニューが表示されます。

2 ^(FUNC3) (>>) を押す。

3 (▼) を押して"単位/温度"または "単位/長さ"を選び、(ENTER) キーを押す。 **4** ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。

温度の設定値: °C/°F長さの設定値: mm/inch

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

キーブザーの設定

キーを押したときのブザー音を消すことができます。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ◆ ▼ (2 回)◆ ENTER キーを押す。

マシン設定メニューが表示されます。

う (>>)を2回押す。

3 ▲ ▼ を押して " キーブザー " を選び、 ENTER) キーを押す。

4 ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。

・設定値: ON/ OFF

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。



 設定を "OFF" にしても、エラー/警告/ 動作完了等のブザー音を消すことはできません。

確認フィードの設定

テストプリントなどのプリント結果を確認するためにメ ディアのフィードを行うか設定します。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ◆▼ (2回)◆ ENTER キーを押す。

マシン設定メニューが表示されます。

2 (FUNC3) (>>) を 2 回押す。

4 ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。

・設定値:ON/ OFF

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

プリント間の余白の設定

プリント間の余白を設定します。

1 □ーカルで、(FUNC1) (MENU) **→** ▼ (2 回) **→** (ENTER) キーを押す。

マシン設定メニューが表示されます。

2 FUNC3 (>>) を押す。

3 ● ▼ を押して "ページ間余白 "を選び、 ENTER キーを押す。

▲ ▼ を押して、余白量をを選び、 ENTER キーを押す。

・設定値:無し/10~500mm

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。



- ・余白量を詰める方向へ設定した場合、プリント終了時にバックフィード動作を行います。その場合、以下の点に注意してください。
- バックフィードにより次のプリントを行う際のメディアテンションが変動し、プリントする画像の前端部だけメディアの送り量が変わる場合があります。このようなときは、手動でメディアを巻き戻してください。
- プリントするデータに既に余白がついている場合、本機能を使うと、「データについている余白 + 本機で設定した余白量」が余白として出力されます。

余白フィード方式の設定

画像データに含まれる余白部分(プリントするデータの無い部分)のフィード方式を変更します。余白部分の多いデータをプリントする場合、"連続"に設定することで、プリント時間を短縮することができます。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) → ▼ (2 回)→ ENTER キーを押す。

マシン設定メニューが表示されます。

2 FUNC3 (>>) を 2 回押す。

3 ② を押して " 余白フィード方式 " を選び、 (ENTER) キーを押す。

4 ▼を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。

> **間欠**:パス分割単位での間欠フィード動作を行う **連続**:データがない部分を一度にフィードする

条了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。

ネットワークの設定

- **1** ローカルで、(FUNC1) (MENU) ◆▼ (2 回)◆ ENTER キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- **7** (>>) を2回押す。
- 3 ▲ ▼ を押して " ネットワーク " を選び、 ENTER) キーを押す。
- 4 ENTER キーを押す。
 - "IP アドレス確認" が選択されます。
 - ・現在、本機で使用中のIPアドレスが表示されます。
 - ・確認が終わったら [ENTER] キーを押してください。



- ネットワークに接続後、IP アドレスが 確定するまで時間がかかります。IP ア ドレス未確定の場合、「0.0.0.0」と表示 します。
- ▼ を押し、ENTER)キーを押す。
 - "MAC アドレス確認"が選択されます。
 - 現在、本機で使用中の MAC アドレスが表示されます。
 - ・確認が終わったら [ENTER] キーを押してください。
- 6 ▼ を押し、ENTER キーを押す。
 - ・ "DHCP" が選択されます。
- - ・設定値: ON/ OFF
 - ON の場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。
- 8 ▼ を押し、ENTER キーを押す。
- "AutoIP" が選択されます。本 を押して設定値を選び、
- 9 ENTER キーを押す。
 - ・設定値:ON/ OFF
 - オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の 場合は DHCP を優先します。
- 10 **▼** を押し、ENTER キーを押す。
 - ・"IP アドレス " が選択されます。
- **11** ▲ ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。
 - 設定値: ON/ OFF
 - DHCP、AutoIPが両方オフの場合、IPアドレスの 設定ができます。それ以外の場合、手順 14 へ進 みます。

- 12 FUNC3 キーを押す。
 - デフォルトゲートウェイ/DNS アドレス/サブネットマスクの設定項目が表示されます。
 - DHCP、AutoIP が両方オフの場合、デフォルト ゲートウェイ /DNS アドレス / サブネットマスク の設定ができます。それ以外の場合、手順 14 へ 進みます。
- 13 を数回押して設定項目を選択し、 ENTER キーを押す。
- **14** ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。
- 15 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。



ネットワークの設定を反映するには、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。

イベントメール機能の設定

プリントの開始 / 終了や、エラーによる中断などのイベントが発生した際に、設定したメールアドレスにメールを送信する機能を設定します。

- 免責事項
- メール通知その他、インターネットの通信が発生した場合 の通信費用は、お客様負担となります。
- イベントメール機能による通知は、インターネット環境や機器の故障、電源の故障などの要因により、不達となることがありえます。不達や遅延があった場合などおいて発生した損害について、当社では責任を負いかねます。
- 0
- イベントメール機能は本機をLAN接続することによって使用できます。あらかじめLANケーブルの接続をしておいてください。
- SSL 通信には対応していません。

イベントメール機能を有効にする

- **1** ローカルで、「FUNC1)(MENU) ◆ ▼ (2 回) ◆ (ENTER) キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- **2** FUNC1) (<<) を押す。
- 3 ▼ を押して"イベントメール"を選び、 ENTER キーを押す。
- 4 ENTER キーを押す。
 - "メール送信"が選択されます。
- 6 終了するとき、END/POWER キーを数回押す。

イベントメールを送るイベントを設定する

- ローカルで、FUNC1 (MENU) → ▼ (2 回)→ (ENTER)キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- (FUNC1) (<<) を押す。 2
- ▲)(▼)を押して"イベントメール"を選び、 (ENTER) キーを押す。
- ▼ を押し、(ENTER) キーを押す。 4
 - "送信イベント選択"が選択されます。
- (▼) を押してイベントを選択し、 (FUNC2) (✔) を押す。
 - イベント選択後に [FUNC2] を押して、チェック ボックスにチェックを入れてください。 チェックが入っているイベントが起こったとき に、メール送信を行います。
 - ・複数のイベントを選択したい場合は、[▲][▼]を押 して選択したいイベントにカーソルを合わせ、 [FUNC2] を押してチェックを入れてください。

イベント名	概要
プリント開始	プリント開始時にメールを送信する/しないを設定します。
プリント終了	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定します。
プロット開始	プロット開始時にメールを送信する / しないを設定します。
プロット終了	プロット終了時にメールを送信する / しないを設定します。
エラー	エラー発生によるプリント中断時に メールを送信する / しないを設定し ます。
ワーニング	プリント中のワーニング発生時に メールを送信する / しないを設定し ます。
その他	上記以外のイベント発生時にメール を送信する/しないを設定します。

終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。 6

メールアドレスを設定する

- ローカルで、(FUNC1) (MENU) **→**(▼) (2 回)→ 1 (ENTER) キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- (<<) を押す。
- (▲)(▼)を押して"イベントメール"を 選び、(ENTER)キーを押す。
- ▼ を2回押し、ENTER キーを押す。 4 • "メールアドレス"が選択されます。

- ▲ ▼ ◆ ▶ を押してアドレスを設定 し、(ENTER)キーを押す。
 - イベントメールを送信するメールアドレスを設定 します。
 - ・英数字、記号、96 文字以内で設定します。
- 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。 6

件名を設定する

- ローカルで、FUNC1 (MENU) **→** ▼ (2 回)**→** (ENTER) キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- (FUNC1) (<<) を押す。 2
- ▲ ▼ を押して"イベントメール"を選び、 ENTER)キーを押す。
- ▼ を3回押し、(ENTER) キーを押す。 4
 - " 件名 " が選択されます。
- ▲ (▼)(▼)(▼) を押して件名を設定し、 (ENTER) キーを押す。
 - イベントメールの件名に記載する文字を設定しま
 - ・英数字、記号、8文字以内で設定します。
- 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。 6

サーバーを設定する

- ローカルで、(FUNC1) (MENU) **→**(▼) (2 回)**→** (ENTER) キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- (FUNC1) (<<) を押す。 2
- ▲ ▼ を押して"イベントメール"を選び、 (ENTER)キーを押す。
- ▼ を4回押し、(ENTER) キーを押す。 ・"サーバー設定"が選択されます。
- (ENTER) キーを押す。
- 5 • "SMTP アドレス" が選択されます。
- ▲ ▼ (4) ▶ を押してSMTPアドレス 6 を設定し、(ENTER)キーを押す。
 - [▲][▼][◀][▶] を押して、SMTP アドレスを設定し
 - ・SMTP アドレス名を入力してください。
- ▼ を押し、(ENTER)キーを押す。 • "SMTP ポート No." が選択されます。

- ▲ **(▼)** を押して SMTP ポート No. を設定 8 し、(ENTER)キーを押す。
 - SMTP のポート番号を設定します。
- ▼ を押し、ENTER キーを押す。
 - "送信元メールアドレス"が選択されます。
- ▲ (▼)(◀)(▶) を押して送信元メールア 10 ドレスを設定し、ENTER キーを押す。
 - [▲][▼][◀][▶] を押して、送信元メールアドレスと して使用するアドレスを設定します。
 - ・英数字、記号、64 文字以内で設定します。



- 使用するサーバーによっては、アカウン トに対応したメールアドレスを設定しな いとメールを送信できない場合がありま
- ▼ を押し、(ENTER)キーを押す。 11
 - "認証方式"が選択されます。
- (▲)(▼)を押して認証方式を設定し、 (ENTER) キーを押す。
 - SMTP サーバーの認証方式を設定します。
 - •[オフ]を選択した場合、手順20に進みます。
- ▼ を押し、(ENTER) キーを押す。 ・"ユーザー名"が選択されます。
- ▲ ▼ () を押してユーザー名を設 定し、ENTER)キーを押す。
 - [▲][▼][◀][▶] を押して、認証に使用するユーザー 名を設定します。
 - ・英数字、記号、30 文字以内で設定します。
- ▼ を押し、(ENTER)キーを押す。
 - "パスワード"が選択されます。
- ▲ ▼ を押してパスワードを設 16 定し、ENTER キーを押す。
 - [▲][▼][◀][▶] を押して、認証に使用するパスワー ドを設定します。
 - 英数字、記号、15 文字以内で設定します。



- ・パスワードの設定画面では、現在入力中 の値のみ確認が可能です。
- 手順 11 で [POP before SMTP] を選択した場合、 手順 16~19 を設定します。
- ▼ を押し、(ENTER) キーを押す。
 - ・"POP3 アドレス"が選択されます。
- を設定し、ENTER)キーを押す。
 - [▲][▼][◀][▶] を押して、POP サーバーを設定し
 - POP サーバー名を入力してください。
- ▼ を押し、ENTER キーを押す。 19 "APOP" が選択されます。
 - ▲ ▼ を押して ON/OFF を設定し、 (ENTER) キーを押す。
- 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

テストメールを送信する

- ローカルで、(FUNC1) (MENU) **→**(▼) (2 回)**→** (ENTER) キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- (FUNC1) (<<) を押す。 2
- ▲ ▼ を押して"イベントメール"を選び、 (ENTER) キーを押す。
- (FUNC3) (>>) → ENTER キーを押す。 4
 - " テストメール送信 " が選択されます。
- (ENTER) キーを押す。
 - ・送信結果が表示されます。
 - テストメールの送信に失敗した場合、エラーコー ドが表示されます。

次ページを参照し、対処してください。



終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。 6



- ・テストメールの送信結果は、本機がメールサーバーに対して行ったメール送信処理の結果です。
- メールが宛先に届いたことを示すものではありません。 ・メールを受信する端末側で迷惑メールフィルタなどを設定している場合、「ソウシンカンリョウ」となってもメールが届 かない場合があります。
- ・テストメールの送信に失敗した場合、以下のエラーコードが表示されます。
- ・エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してみてください。
- ・サーバーの設定等については、ネットワーク管理者またはプロバイダにご相談ください。

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワーク接続エラー	 装置がネットワークに接続されていることを確認してください。 装置の IP アドレスが正しいことを確認してください。 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません	正しいメールアドレスを入力してください。
11003 11004	POP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできま せん	POP サーバーのアドレスを確認してください。装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
11021	POP サーバーに接続できません	POP サーバー設定を確認してください。ファイアーウォールの設定を確認してください。
12010	POP サーバーからエラーが返答されました	• POP サーバーの設定を確認してください。
13000	POP 認証に失敗しました	ユーザー名とパスワードを確認してください。APOP の設定を確認してください。認証方式を確認してください。
10013 10014	SMTP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできま せん。	SMTP サーバーのアドレスを確認してください。装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
10021	SMTP サーバーに接続できません	SMTP サーバー設定を確認してください。SMTP ポート番号を確認してください。ファイアーウォールの設定を確認してください。
10*** 11*** 20*** 21***	SMTP サーバーからエラーが返答されま した または応答がありません	 SMTP サーバーの設定を確認してください。 SSL 通信が必須のサーバーとは通信できません。 プロトコルフィルターの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです	ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
13***	メールの宛先が見つかりません または、無効なメールアドレスです	 ・メールアドレスを確認してください。 ・メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。 ・ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
22000 22008	SMTP 認証エラー	・認証方式を確認してください。
23*** 24*** 25***	SMTP 認証に失敗しました	ユーザー名とパスワードを確認してください。

[&]quot;***" はメールサーバーから返答されたエラーコード

自動リモート

ローカルでデータを受信すると自動的にリモートモード へ移行し、プリントを開始する機能です。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ◆▼ (2回)◆ ENTER キーを押す。

• マシン設定メニューが表示されます。

2 FUNC3 (>>) を押す。

3 ▲ ▼ を押して "自動リモート"を選び、 ENTER キーを押す。

4 を押して、ON/OFF を選び、 ENTER キーを押す。

> •ON: ローカルでデータを受信すると自動的に REMOTE へ移行しプリントを開始しま

> • OFF: REMOTE キー押下でリモート移行しプリント開始します。

くなっているとき、(END/POWER) キーを数回押す。

照明

機内 LED 照明は、天井部とメンテナンススペースの2箇所に設置されています。

照明の設定

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ◆ ▼ (2 回) ◆ (ENTER) キーを押す。

マシン設定メニューが表示されます。

2 FUNC3 (>>) を押す。

3 ● ▼ を押して " 照明 " を選び、 ENTER) キーを押す。

4 ● ▼ を押して " 点灯方式 " を選び、 ENTER キーを押す。

5 ● ▼ を押して設定値を選び、 **ENTER** キーを押す。

•自動: プリント動作やメンテナンス作業時(カバーオープンなど)に伴い、自動的に点灯・ 消灯します。

• 手動: 任意に点灯・消灯したい場合に使用します。手動を選んだ場合は、手順 6 に進んでください。

6 でからです。 を選び、 (ENTER) キーを押す。

7 ● ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。

・設定値:無し/0 ~ 10min

8 **▼** を押して " 起動時点灯 " を選び、 ENTER キーを押す。

・ON:本機起動時に点灯させたい場合・OFF:本機起動時に点灯させたくない場合

10 終了するとき、 **END/POWER** キーを数回押す。

機内照明の点灯切り替え

1 ローカルで SEL キーを押し、(FUNC1) (ADJUST) を押す。

調整メニューが表示されます。

2 を押して、"機内照明点灯切替"を選び、 ENTER キーを押す。

> ENTER キーを押すたびに、機内照明の点灯 / 消灯が切り替わります。

カット前フィード

メディアカット(©〒P.2-13「メディアをカットする」)の 実行時、プリント結果を任意の場所でカットすることができます。



• 自動フィードをオフにすると、プリント結果の 後端を切り落としてしまう可能性があります。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ◆ ▼ (2 回) ◆ ENTER キーを押す。

マシン設定メニューが表示されます。

2 FUNC3 (>>) を押す。

3 ▼ を押して"カット前フィード"を選び、ENTER キーを押す。

4 ◆ ▼ を押して、ON/OFF を選び、 ENTER キーを押す。

> • ON : カット動作前に自動的にフィード動作を 行います。

> OFF:自動フィードせず、ENTER キーを押した位置でメディアカットが実行されます。



• RasterLink6 などでオートカットを指定 した場合は除きます。

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

設定した内容を初期状態に戻す

「設定」「メンテナンス」「マシン設定」で設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

- **1** □ーカルで、FUNC1)(MENU) ◆▼ (2 回)◆ ENTER キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- **7** (<<) を押す。
- 3 ◆ ▼ を押して"リセット"を選び、 ENTER キーを押す。
- **4** ENTER キーを押す。
 ・設定を初期化します。
- **5** 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

ノズルチェックメニューについて

ノズル抜け検出機能に関するオペレーションを設定します。



(FUNC1): 情報メニューを選ぶときに押す (FUNC3): 次の画面に切り替えるときに押す ○○ : 設定項目を選択するときに押す (ENTER): 設定を確定するときなどに押す

◆ ノズルチェックメニュー一覧











ノズルチェックメニュー -覧表

機能名称		設定値	初期値	概 要	
印刷中ノズルチェック ((②) P.3-26)		ON/OFF	OFF	オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、設定します。	
(ON)	チェック	距離	$\rm 0.1 \sim 100.0m$	30.0m	設定した距離毎にノズルチェックを行います。 ^{*1}
	間隔	ファイル	1~100ファイル	30 ファイル	設定したファイル数毎にノズルチェックを行います。
	復旧動作	クリーニング	ソフト/ノーマル /ハード	ソフト	復旧動作時に行うクリーニングの種類を設定します。
		リトライ回数	0~3 🗆	0 🗆	設定回数分、リトライ動作を繰り返します。
自動ノズルリカバリ (② P.3-26)		ON/OFF	OFF	自動でノズルリカバリしたい場合に設定します。	
判定条件 (公子 P.3-26)		1~200 ノズル	1 ノズル	色ごとに何本のノズル抜けを検出したら「ノズル抜け」と判定するか設定します。(1 ノズル列最大 16 本)*2	

- *1. プリントの途中で設定した距離に達した場合は、次のプリント開始時にノズルチェックを行います。 *2. プリント条件により、ノズルリカバリが適用されない場合があります。

印刷中チェックの流れ

プリント開始時に以下の流れでノズルチェックを行います。



- •「印刷中チェック」の設定を "ON" にすると、有効になります。
- ・リトライ、自動ノズルリカバリの設定は、設定が有効な場合のみ行います。

ノズルチェック → 判定

ノズル抜けを検出します。

復旧動作 → ノズルチェック

ノズルチェック後「判定条件」以上のノズル抜け があった場合、クリーニングを行ってから再度ノ ズルチェックを行います。

<u>リトライ → 判定</u>

復旧動作後「判定条件」以上のノズル抜けがあっ た場合、再度復旧動作を行います。

•「リトライ回数」の設定を1回以上にすると、有効になり ます。

自動ノズルリカバリ → 判定

ノズルチェックならびに復旧動作後、自動でノズ ルリカバリを行います。

•「自動ノズルリカバリ」の設定を "ON" にすると、有効にな ります。

/ズル抜け判定

最終的に「判定条件」以上のノズル抜けがあった 場合は、プリント継続不可能と判定して、プリン トを停止します。

「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作

- ●「ノズル抜け」と判定された場合
- → プリントを停止します。
- ノズルチェック実施中にエラーが発生した場合 → 印刷を停止し、自動的に「印刷中ノズルチェック」を "OFF" に設定します。エラーから復旧後は、再度「印刷中ノズル チェック」の設定を行ってください。

印刷中チェックの設定

オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、 ONに設定します。

1 □ーカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ (3 回)
→ ENTER キーを押す。

ノズルチェックメニューが表示されます。

2 ENTER キーを押す。

・"印刷中チェック"が選択されます。

3 ◆ ▼ を押してONを選び、ENTER キー を押す。

• "チェック間隔"の設定画面が表示されます。

"OFF" を選ぶと、ノズルチェックは設定されません。手順 11 へ進んでください。

4 ENTER キーを押す。

ノズルチェックの間隔を"設定"または"間隔"から選びます。

設定: プリントした距離が設定した長さに達すると、ノズルチェックを行います。 プリントの途中で設定した距離に達した 場合は、次のプリント開始時にノズルチェックを行います。

間隔: プリントしたファイル数が設定した数に 達すると、ノズルチェックを行います。

手順5で選んだ設定項目により、設定値は異なります。

設定: 0.1 ~ 100.0m 間隔: 1 ~ 100 ファイル

7 ENTER キーを 2 回押す。

・"復旧動作"の設定画面が表示されます。

R ENTER キーを押す。

・" クリーニング種別"が選択されます。

9 ▲ ▼ を押してクリーニングタイプを 選び、(ENTER) キーを押す。

設定値: OFF/ ソフト / ノーマル / ハード

10 A P を押してリトライ回数を選び、 ENTER キーを押す。

設定値: 0 ~ 3 □

11 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

自動ノズルリカバリの設定

ノズル抜け判定された場合に自動でノズルリカバリした い場合に設定します。

1 □ 一力ルで、(FUNC1) (MENU) ◆ ▼ (3 回) ◆ ENTER キーを押す。

ノズルチェックメニューが表示されます。

2 を押し、ENTER キーを押す。
・"自動ノズルリカバリ"が選択されます。

(▲)(▼)を押して ON/OFF を選び、

3 (ENTER) キーを押す。

終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

判定条件の設定

ノズル抜けの判定条件を設定します。

1 □ 一力ルで、FUNC1 (MENU) ◆ ▼ (3 回) ◆ ENTER キーを押す。

• ノズルチェックメニューが表示されます。

2 を 2 回押し、 ENTER キーを押す。
・" 判定条件" が選択されます。

3 ◆ ▼ を押して色を選び、(ENTER) キーを押す。

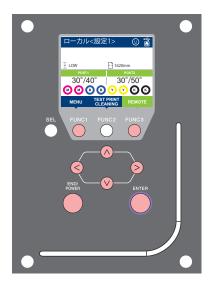
・インクセットにより、色の種類は変わり ます。

4 ▼ を押して判定ノズル数を設定し、 ENTER キーを押す。

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

情報メニューについて

本機の装置情報を確認できます。確認できる装置情報は、次の項目です。



FUNC1: 情報メニューを選ぶときに押す
FUNC3: 次の画面に切り替えるときに押す
(^(): 設定項目を選択するときに押す

(ENTER): 設定を確定するときなどに押す

◆情報メニュー一覧









情報メニュー一覧表

項目		内 容		
	ワイピング情報	ワイピングした回数が表示されます。		
	廃インクタンク情報	廃インクタンクに溜まっている廃インクが何%になっているか、目安が表示されます。		
使用状況	プリント長情報	今までプリントした長さが表示されます。		
	プリント面積情報	今までプリントした面積が表示されます。		
	使用時間	今までの使用時間が表示されます。		
	スパウトゴム	スパウトゴムの使用時間が表示されます。		
バージョン		装置のバージョン情報が表示されます。		
エラー履歴		現在までに発生したエラー、ワーニング履歴が表示されます。 [▲][▼] を押して、発生順に発生日時(年月日時分)とエラー、ワーニング情報を切り 替えて表示します。		
リスト		装置の設定内容をプリントします。		

情報を表示させる

- 1 □ ーカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ (4 回)
 → ENTER キーを押す。
 - 情報メニューが表示されます。
- 2 ◆▼ を押して情報を選ぶ。
 - •「情報メニュー一覧表」を参照して、表示する情報 を選びます。
- **3** ENTER キーを押す。
 - ・手順2で[リスト]を選んだ場合、装置の設定内容がプリントされます。
- 4 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。



- ワイパーの使用カウントをリセットしたい場合、ディスプレイに"クリアしますか?"を表示中に[FUNC2] キーを押します。[ENTER] キーを押すと、ワイピング回数をリセットします。
- 使用状況の"ワイピング情報"、"廃インクタンク情報"、"スパウトゴム"を表示中にファンクションキーを押すと、使用カウントをリセットすることができます。

ワイピング情報をリセットする場合: [FUNC2] を押す

廃インクタンク情報をリセットする場

合: [FUNC1] を押す

スパウトゴムをリセットする場合: [FUNC3] を押す

メンテナンス状態を表示する(ローカル ガイダンス)

◀ ローカルで(ENTER)キーを押す。

メンテナンス状態が表示されます。







第4章 お手入れ



この章では...

日常行っていただくお手入れ方法やインクカートリッジのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ4-2	るか設定する 4-15
お手入れ上のご注意4-2	オートメンテナンス機能4-15
メンテナンス洗浄液について	リフレッシュ間隔を設定する4-15
外装のお手入れ4-2	クリーニング間隔とタイプを設定する 4-16
プラテンの清掃4-2	消耗品の交換4-16
メディアセンサーの清掃4-3	ワイパーを交換する4-16
メディア押さえの清掃4-3	ワイパークリーナーを交換する4-17
吹付フィルターの洗浄 4-4	キャップを交換する4-18
インクパックのメンテナンス 4-4	キャップ吸収材を交換する4-18
メンテナンスニューについて4-5	メディア押さえを交換する4-19
メンテナンスメニュー一覧表4-6	ピンチローラーを交換する4-20
キャッピングステーションのメンテナンス4-7	スパウトゴムを交換する4-21
ワイパーの清掃4-7	キャリッジフィルターを交換する4-22
キャップの清掃4-8	MBIS オスコネクタ吸収材を交換する 4-23
キャップ吸収材の清掃4-8	吹付ファンフィルターを交換する4-23
ノズル洗浄 4-9	カッター刃を交換する4-24
インク排出路の洗浄4-10	端面ガイドフィルムを交換する4-24
長期間使用しない場合 4-10	廃インクタンクの管理4-25
ヘッド周辺の清掃4-12	廃インク量の補正4-25
ノズルリカバリ機能4-13	タンク容量の変更4-25
設定値をリセットする4-14	廃インクタンク確認メッセージが表示されたら
リカバリできない条件を確認する 4-14	4-25
テストプリント時にノズルリカバリを有効にす	廃インクタンクを交換する4-25

日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使 用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本機のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。



メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



本機を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。

また、お手入れは電源スイッチをオフにし、電源 ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事 故が発生する原因となります。



本機の内部に水気が入らないようにしてください。 内部が濡れると、感電および破損する原因になり ます。



- 本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用(出力)されないときには、定期的に 微量のインクを吐出(フラッシング)させる必要 があります。
- 長時間使用されないときには、前面の電源スイッチのみを OFF とし、右側面の主電源スイッチは ON(| の状態) およびコンセントは挿入した状態 にしておいてください。



- ヘッドのノズル面やワイパー、キャップ等を水、 アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰 まりや故障の原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用 しないでください。カバーの表面が変質・変形す る恐れがあります。
- 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。 故障する恐れがあります。
- メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着 しないように注意してください。カバーの表面が 変質、変形します。

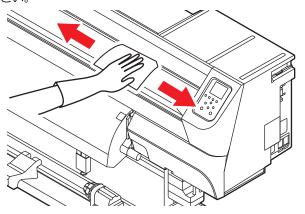
メンテナンス洗浄液について

メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス洗浄液
昇華転写インク:Sb610	洗浄液 03 メンテナンスキット (ML003-Z-K1) [別売]

外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で 薄めた中性洗剤を含ませ、固く絞ってから拭き取ってくだ さい。





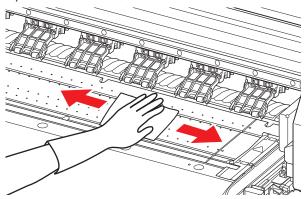
本機の内部に水気が入らないようにしてください。 内部が濡れると、感電および破損する原因になり ます。

プラテンの清掃



主電源を切り、電源ケーブルを抜いてからメンテ ナンスをしてください。

汚れたまま使用を続けると、メディアが正しくフィードできなくなったり、ヘッドノズル面にごみや固まったインクをこすり付けて、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因となります。





・本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。
- プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。

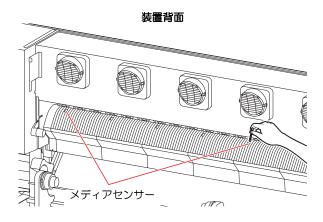


メディア押さえをスライドする溝やメディアカットする溝は、特にごみがたまりやすい場所です。 丁寧にごみを取り除いてください。

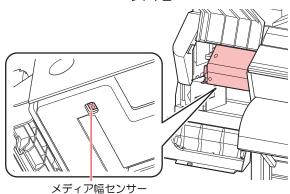
メディアセンサーの清掃

メディアセンサーは、背面側のリアカバーとキャリッジ底面にあります。センサーにホコリ等がたまると、メディアの誤検出の原因となります。

綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いて ください。



ヘッド下面





- メディアセンサー付近にあるカッターには触らないでください。刃先が鋭利になっているため、怪我の原因となります。
- キャリッジ底面のセンサーを清掃するときは
- **1** ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動] を選択して、 [ENTER] キー を押す。
 - キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。
- 4 メディアセンサーを清掃する。
- **5** メンテナンスカバーを閉めて、[ENTER] キーを押す。

メディア押さえの清掃



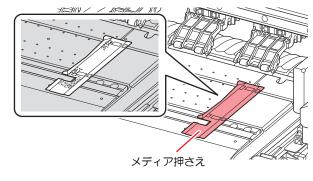
- 主電源を切り、電源ケーブルを抜いてからメンテ ナンスをしてください。
- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



・本機の内部に水気が入らないようにしてください。 内部が濡れると、感電および破損する原因になり ます。

メディア押さえにカットくずやホコリ等がたまると、プリント時のメディアの搬送が正常に行えなくなったり、ホコリ等がノズルに付着して正常なプリントができなくなることがあります。

メディア押さえは、定期的に清掃してください。





- インクがメディアの端面に付着して汚してしまう 場合は、必ず清掃してください。
- ・インクが頻繁に付着する場合は、吸着ファンを"弱"または"標準"に設定することをお勧めします。

吹付フィルターの洗浄

吹付ファンフィルターが汚れた場合、またはディスプレイにワーニングメッセージ"吹付ファンフィルターを洗浄(水洗)してください"が表示されたら、洗浄(水洗い)してください。

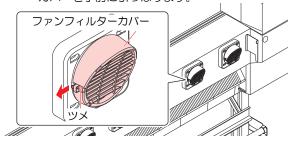
● 吹付ファンフィルターお手入れの目安

2週間毎	汚れた場合、洗浄(水洗い)してください。
3か月毎	交換してください。

1

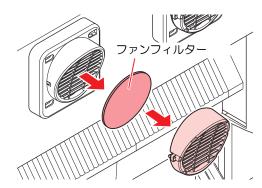
ファンフィルターカバーを外す。

ファンフィルタカバーのツメを外側に押し広げ、 カバーを手前に引っぱります。



2

吹付ファンフィルターを取り外す。



3

吹付ファンフィルターを洗浄(水洗い)する。

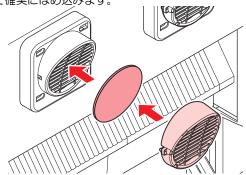


・吹付ファンフィルターを洗浄したあとは、必ずファンフィルターが乾いてから本機に取り付けてください。

4

洗浄後、ファンフィルターを取り付け、ファンフィルターカバーを元に戻す。

ファンフィルターカバーは、カチッと音がするまで確実にはめ込みます。



インクパックのメンテナンス



メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



- ・インクは定期的に振ってご使用ください。インクを定期的に振らないとインクが沈降しプリント品質が低下するおそれがあります。
 - インクカートリッジは、弊社推奨のものをご使用 ください。



・水性昇華転写インクは、1週間に1回程度振ってください。

(本体画面に1週間に1回実行を促す画面が表示されます。)



2L インクパックを 20 回以上、ゆっくりと左右に振る。

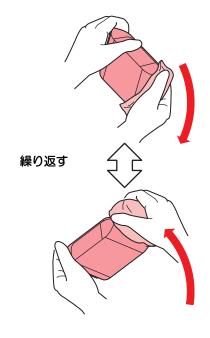
・使いかけのインクパックをご使用される場合は、 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、 紙タオル等でインクパックのコネクタ部をおさえ た状態で、ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。



MBIS(オプション)の脱着回数は計10 回以内としてください。



- 強く振りすぎるとインク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、インクパックが縦になるまで傾けてください。



メンテナンスニューについて

本機のメンテナンスをするための各種設定です。メンテナンス設定で設定できる内容は、次の項目です。



FUNC1 : マシン設定メニューを選ぶとき、または、1 つ前の画面に

切り替えるときに押す

FUNC2 : メンテナンス機能を使用するときに押す

FUNC3 : 次の画面に切り替えるときに押す○○ : 設定項目を選択するときに押すENTER : 設定を確定するときなどに押す

◆メンテナンスメニュー一覧





◆ (FUNC2)キーを押したときの画面遷移





メンテナンスメニュー一覧表

項 目		設定値	内 容	
	キャリッジやステーション周辺のメンテナンスを行います。			
	キャリッジアウト	プラテン右端ま で移動 ((全) P.4-7)		キャップ周辺やワイパー等の清掃を行います。
	(ੴ P.4-7)	メンテスペース まで移動 ((ご) P.4-12)		プリントヘッド周辺を清掃します。
ステーション メンテ	ノズル洗浄 (CO P.4-9)		1 \sim 99min	ノズル面をメンテナンス洗浄液で浸し、ノズル抜け や曲がり等の復旧を行います。
	ポンプチューブ洗浄 ((②P.4-10)			吸引ポンプチューブの洗浄を行います。
	保管洗净 ((② P.4-10)		1 ∼ 99min	本機を長期間使わないときに行います。あらかじめ ノズル洗浄と排路洗浄を行い、本機を快適な状態に 保ちます。
	ワイパー交換 (② P.4-16)			ワイパーの交換をするときに使用します。ワイパー 交換を行うと、本機で管理されていたワイパー使用 回数がリセットされます。
ノズル洗浄等をしてもノズル抜け等が復旧しない場合、他のノズルを使用してプリントします。			ノズルを使用してプリントします。	
	プリント			パターンをプリントし、ノズル詰まりを起こしてい るノズルを確認します。
, -,	登録			" プリント " で確認した不良ノズルを登録します。
ノズルリカバリ (② P.4-13)	リセット			登録した不良ノズルをリセットします。
	チェック			登録された不良ノズルがリカバリ可能かチェックし ます。
	テストプリント		ON/OFF	テストプリント時にノズルリカバリ機能の設定を行 うか選びます。
	各種メンテナンス機能を自動的に行います。各々のメンテナンス実行間隔を設定してください。			ンス実行間隔を設定してください。
	リフレッシュ	種によって、設		リフレッシュ動作の間隔を設定します。
オートメンテ ナンス ((海 P.4-15)	クリーニング間隔			ヘッドクリーニングの動作間隔を設定します。
	タイプ		ソフト/ノーマル /ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイ プを設定します。
	廃インクタンク量リセ	ット ((②F P.4-25)		廃インクタンクの使用カウントをリセットします。
廃インクタンク ((全) P.4-25)	廃インク量補正 ((22) P.4-25)			廃インクタンクのカウント値と実量の誤差を修正し ます。
	タンク容量 (CP P.4-2	5)		廃インクタンクの容量を設定します。

キャッピングステーショ ンのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパー等のメンテナンスをします。(ステーションメンテンナンス)



ノズル状態を正常に保つため、ワイパーの清掃は こまめに実施してください。

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きを しています。

ワイパー: ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る

インクキャップ: ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりす

るのを防止する

本機を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。

ヘッドクリーニングを実行 ((全) P.2-11) しても、ノズル抜けが解消されない場合は、洗浄液 03 メンテナンスキットとクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具

- ・洗浄液 03 メンテナンスキット (品番:ML003-Z-K1)
- ・ヘッド周辺用クリーンスティック (品番:SPC-0527)
- 千代

・ 保護メガネ



キャッピングステーションのメンテナンスを行う ときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して 作業を行ってください。インクが目に入る場合が あります。



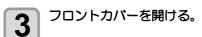
 キャリッジを手でキャッピングステーションから 出さないでください。キャリッジを移動させたい ときは、[FUNC1] キーを押し、キャリッジアウト を実行してください。(公子 P.4-7 手順 1 ~ 2)

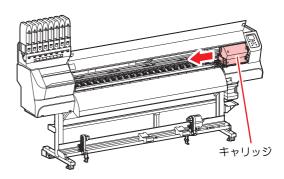
ワイパーの清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。



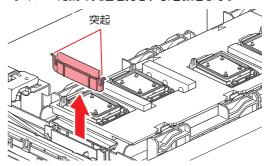
- ・ワイパーの汚れ、曲がりがひどい場合は、新しい ワイパーと交換してください。(公子 P.4-16)
- ・交換メッセージが表示された場合、またはクリーニングしてもノズル抜けや飛行曲がりが治らない場合は、新しいワイパーと交換してください。
- 清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER] キーを 押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。





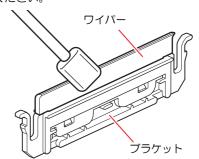
4 ワイパーを取り出す。

• ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



ワイパーとブラケットを清掃する。

- ・メンテナンス用洗浄液を含ませたクリーンス ティックで、ワイパーとブラケットに付着したインクを拭き取ります。
- メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。

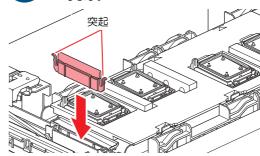


6 ワイパーを元の位置に戻す。

• ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。



・必ず奥まで差し込んでください。ワイパーが外れて本機が破損する場合があります。

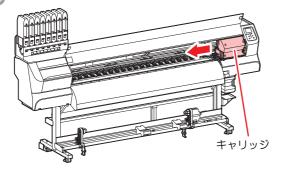


- **7** 清掃が終了したあとに、[ENTER] キーを押す。
- 正面力バーを閉めて、[ENTER] キーを押す。
 - ・初期動作後、手順1の表示に戻ります。

キャップの清掃

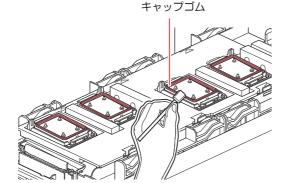
画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃される ことをお勧めします。

- 0
- ・キャップの汚れがひどい場合は、新しいキャップ と交換してください。((ごア P.4-18)
- ・清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。
- 1 ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 【ステーションメンテ]>[キャリッジアウト]「プラテン右端まで移動]を選択して、 [ENTER] キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- **3** フロントカバーを開ける。



4 キャップゴムを清掃する。

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス 洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取り ます。
- メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



5 清掃が終了したあとに、[ENTER] キーを押す。

6

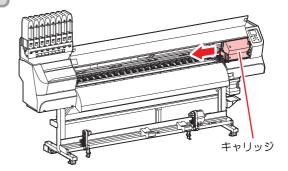
正面カバーを閉めて、[ENTER] キーを押す。

・初期動作後、手順1の表示に戻ります。

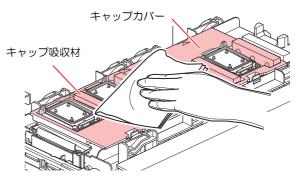
キャップ吸収材の清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃される ことをお勧めします。

- 0
- キャップ吸収材の汚れがひどい場合は、新しい キャップ吸収材と交換してください。(受 P.4-18)
- 1 ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ]>[キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、 [ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- フロントカバーを開ける。



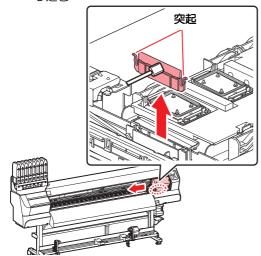
- キャップ吸収材を清掃する。
 - キャップ吸収材に付着したインクを、ペーパータ オルなどで押さえるように拭き取ります。
 - キャップカバーが汚れている場合は、清掃してく ださい。



- 清掃が終了したあとに、[ENTER] キーを押す。
- 正面カバーを閉めて、[ENTER] キーを押す。・初期動作後、手順1の表示に戻ります。

ノズル洗浄

- 1 ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナ ンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [ノズル洗浄] を押し、 洗浄するヘッドを選択して、[ENTER] キーを 押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- **3** ディスプレイに"ワイパークリーニング"の表示が出たら、フロントカバーを開ける。
- 4 ワイパーを清掃し、[ENTER] キーを押す。
 - (1) ワイパー両端の突起を持って引き抜く
 - **(2)** クリーンスティックにメンテナンス洗浄液 を含ませて清掃する
 - ・メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
 - (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



- 5 キャップゴムの清掃が完了したら、フロント カバーを閉め、[ENTER] キーを押す。
 - キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス 洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取り ます。
 - ・メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取っ てください。
 - このとき、自動的に排路が洗浄されます。
- **6** メンテナンス洗浄液が、キャップ一杯に満たされる。
 - 洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的に洗浄液をキャップに満たします。
 - 洗浄液がキャップー杯になると、ディスプレイに 洗浄液確認の指示が表示されます。



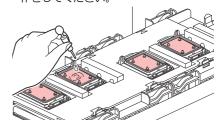
フロントカバーが閉まっていないと、 自動的に洗浄液が満たされません。フロントカバーが開いている場合は、必 す閉めてください。



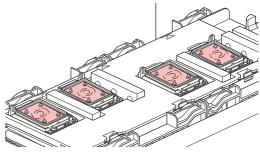
洗浄液カートリッジが有効でない場合は、自動的に洗浄液がキャップに満たされません。

フロントカバーを開け、スポイトを使ってメンテナンス洗浄液をキャップー杯に満たしてください。

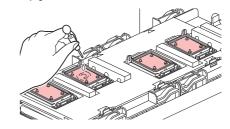
洗浄液を満たしたら、手順7からの操作をしてください。



7 メッセージが表示されたら、フロントカバー を開け、キャップに満たされている洗浄液の 量を確認する。



洗浄液がキャップー杯になっていない場合は、スポイトを使ってメンテナンス洗浄液をキャップー杯に満たしてください。



- **8** フロントカバーを閉め、[ENTER] キーを押す。
- 9 洗浄液の放置時間を設定し、[ENTER] キーを 押す。
 - 設定値: 1~99分(1分単位)
 - キャップに満たした洗浄液を吸引します。
 - ・設定した時間が経過するまで、ディスプレイには "しばらくお待ちください"が表示されます。



・ノズルリカバリ (公子 P.4-13) やこの洗 浄を何回か実行してもノズル抜けが解消 されない場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせくだ さい。



 定期的なお手入れをする場合は、洗浄 液の放置時間を "60min" に設定してく ださい。

インク排出路の洗浄

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを 防止するため、定期的にインク排出路の洗浄をしてくださ い。



インク排出路の洗浄を行う前に、必ず洗浄カート リッジがセットされていることを確認してください。洗浄カートリッジがセットされていない場合 は、手動で洗浄液を満たす必要があります。



ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。

メンテナンスメニューが表示されます。



[ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄] を押し、洗浄するヘッドを選択して [ENTER] キーを押す。

キャリッジがプラテン上に移動します。



メンテナンス洗浄液が、キャップ一杯に満たされる。

洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的に洗浄液をキャップに満たします。



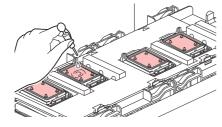
・フロントカバーが閉まっていないと、自動的に洗浄液が満たされません。フロントカバーが開いている場合は、必ず閉めてください。



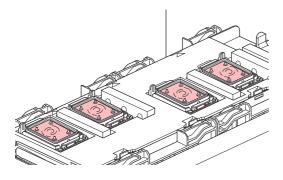
洗浄液カートリッジが有効でない場合は、自動的に洗浄液がキャップに満たされません。

フロントカバーを開け、スポイトを使ってメンテナンス洗浄液をキャップー杯に満たしてください。

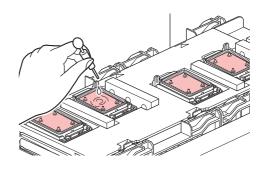
洗浄液を満たしたら、手順7からの操作をしてください。



4 終了メッセージが表示されたら、フロントカ バーを開け、キャップに満たされている洗浄 液の量を確認する。



洗浄液がキャップー杯になっていない場合は、スポイトを使ってメンテナンス洗浄液をキャップー杯に満たしてください。



[5]

フロントカバーを閉め、[ENTER] キーを押す。

長期間使用しない場合

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本機を保管してください。



- ・主電源は、常時「オン」でお使い下さい。ヘッド のノズル保護のため、ノズル詰まりを防ぐ機能が 自動的に働きます。
- ・主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置する と、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

事前に確認してください

[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか?

- 洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。 このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。
- インクエンド等、未検出のインク IC チップに交換してく ださい。

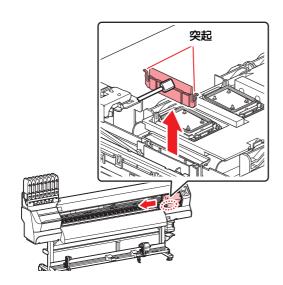


- ワーニングメッセージ "廃インクタンク確認"が表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて25ページの「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。
- 1 ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- **2** [ステーションメンテ] > [保管洗浄] を押し、 [ENTER] キーを 押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- **3** ディスプレイに"ワイパークリーニング"の表示が出たら、フロントカバーを開ける。



ワイパーを清掃する。

- (1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



5

[ENTER] キーを押す。



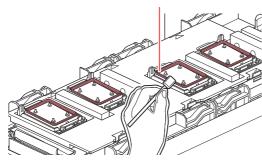
キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには"終了"が表示されます。手順3の作業が完了してから[ENTER] キーを押してください。クリーニングが終了する前に[ENTER] キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

6

キャップゴムを清掃する。

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス 洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取り ます。
- メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- ・このとき、自動的に排路が洗浄されます。

キャップゴム



7

フロントカバーを閉め、[ENTER] キーを押す。

- ・洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的に洗浄液がキャップー杯に満たされます。
- ・洗浄液がキャップー杯になると、ディスプレイに 洗浄液確認の指示が表示されます。



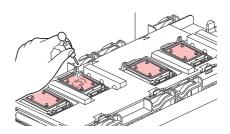
フロントカバーが閉まっていないと、自動的に洗浄液が満たされません。フロントカバーが開いている場合は、必ず閉めてください。



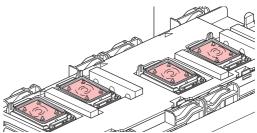
洗浄液カートリッジが有効でない場合 は、自動的に洗浄液がキャップに満たされません。

フロントカバーを開け、スポイトを使っ てメンテナンス洗浄液をキャップー杯に 満たしてください。

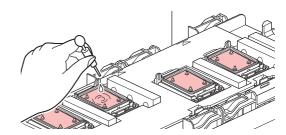
洗浄液を満たしたら、手順9からの操作をしてください。



8 メッセージが表示されたら、フロントカバー を開け、キャップに満たされている洗浄液の量を確認する。



洗浄液がキャップー杯になっていない場合は、スポイトを使ってメンテナンス洗浄液をキャップー杯に満たしてください。



フロントカバーを閉め、[ENTER] キーを押す。

10

洗浄液の放置時間を設定する。

• 設定値:1~99分(1分単位)

11

[ENTER] キーを押す。

- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがメンテナンス位置に移動します。
- 12 2

| メンテナンス洗浄液が、キャップー杯に満た | される。

洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的に洗浄液をキャップに満たします。



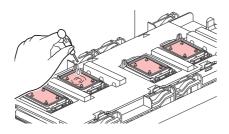
フロントカバーが閉まっていないと、自動的に洗浄液が満たされません。フロントカバーが開いている場合は、必ず閉めてください。



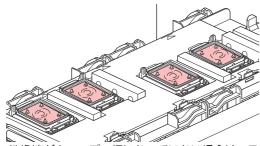
洗浄液カートリッジが有効でない場合は、自動的に洗浄液がキャップに満たされません。

フロントカバーを開け、スポイトを使ってメンテナンス洗浄液をキャップー杯に満たしてください。

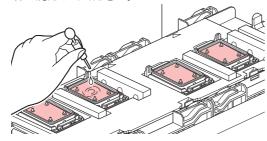
洗浄液を満たしたら、手順 14 からの操作をしてください。



13 終了メッセージが表示されたら、フロントカバーを開け、キャップに満たされている洗浄液の量を確認する。



洗浄液がキャップー杯になっていない場合は、スポイトを使ってメンテナンス洗浄液をキャップー杯に満たしてください。



14

フロントカバーを閉じ、[ENTER] キーを押す。

・初期動作後、手順1の表示に戻ります。

ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具

- ・ヘッド周辺用クリーンスティック(品番:SPC-0527)
- 保護メガネ

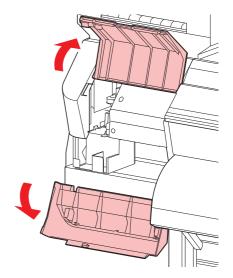
• 手袋



- 清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に 入る場合があります。
- インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に 入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してくだ さい。
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択し、[ENTER] キーを 押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。

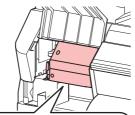


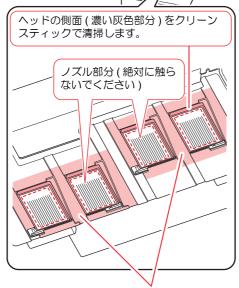
メンテナンスカバーを開ける。



4 ヘッドの側面などに付着したインクをクリーンスティックで拭き取る。

ノズル部分は、絶対にこすらないでください。





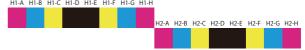
クリーンスティックで清掃します。

- 5 清掃が終了したら、[ENTER] キーを押す。
- 6 メンテナンスカバーを閉じ、[ENTER] キーを 押す。
 - ・初期動作後、ローカルに戻ります。

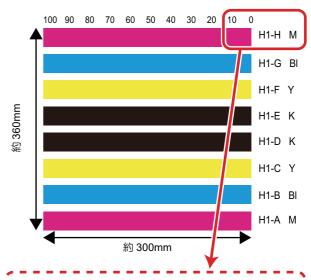
ノズルリカバリ機能

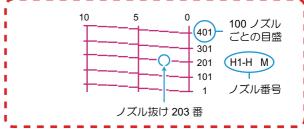
特定ノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルをかわりに使用(ノズルリカバリ)してプリントすることができます。

- **1** テストプリントでノズルの状態を確認します。
 - ・テストプリントを行う (公子 P.2-10)
 - ・ヘッド/ノズル列の対応は以下となります。1ヘッド内のノズル列は8列あり、A~Hで示します。



- **2** ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナ ンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- **3** [ノズルリカバリ]>[プリント]を選び、 [ENTER] キーを 押す。
- **4** プリントしたい HEAD を選択し、[プリント開始] > [ENTER] キーを押す。
 - ・選択したヘッド内のノズル列AからHまでのすべてのパターンがプリントされます。
- **「大**」ノズル抜けの位置を特定する。
 - ・右側の目盛りと上の目盛りでノズル抜けの位置を 特定します。
 - "登録"を選択すると、プリントをしないで、ノズ ル列選択手順(手順6)に移ります。





6 ノズルリカバリをするノズル列を選び、 [ENTER] キーを押す。



- 7 リカバリが必要なノズル番号を登録し、 [ENTER] キーを押す。
 - **(1)** [▲][▼] を押して登録番号 (1~10) を選択し、 [ENTER] キーを押します。
 - (2) [▲][▼] を押してリカバリするノズル番号を 登録し [ENTER] キーを押します。



登録番号: 1~10

終了するとき、[END/POWER] キーを押す。



8

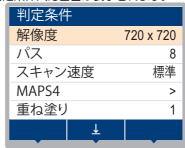
- 1 ノズル列あたり 10 個までノズルを登録できます。
- 本機能を使用しても、プリント時間は変わりません。
- 最低パスでプリントをした場合は、ノズ ルリカバリが反映されません。

設定値をリセットする

- **1** ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ノズルリカバリ]>[リセット]を選択し、リセットするノズル列を選び、[ENTER] キーを押す。
 - リセット確認のメッセージが表示されます。
- **3** [ENTER] キーを押す。
- **4** 終了するとき、[END/POWER] キーを数回押 す。

リカバリできない条件を確認する

- ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- **2** [ノズルリカバリ] > [チェック] > を選択して、 [ENTER] キーを 押す。
 - ・ 判定条件入力画面が表示されます。

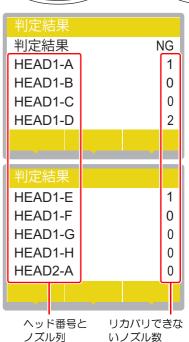


- 3 判定条件の各項目を、現在お使いの状態に合わせる。
 - (1) [▲][▼] を押して変更する項目を選び、[ENTER] キーを押す
 - **(2)** [▲][▼] を押して設定値を変更し、 [ENTER] キーを押す
 - (3) (1)(2) を繰り返し、全ての項目を設定する
- 4 [FUNC2] キーを押す。
 - 設定したプリント条件でノズルリカバリできるか、チェックを始めます。
 - チェックが終わると、画面に判定結果が表示されます。

ノズルリカバリ 可能な場合



ノズルリカバリ 不可能な場合



5 終了するとき、[END/POWER] キーを数回押す。

テストプリント時にノズルリカバリを 有効にするか設定する

以下の設定を "ON" にし、かつ P.4-13「ノズルリカバリ機能」でリカバリするノズル番号を登録しておけば、テストプリントをする(②P P.2-10)ときにノズルリカバリ機能が有効になります。

- 1 ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナ ンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- **2** [ノズルリカバリ] > [テストプリント] >選択して、[ENTER] キーを押す。
- **3** ON/OFF を選択して、[ENTER] キーを押す。
- **4** 終了するとき、[END/POWER] キーを数回押 す。

オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナン スを行うように設定できます。

ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。

定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。

(オートメンテナンス機能)

オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。



・手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。

機能名	説 明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設 定します。
クリーニング間隔	クリーニングを実行するまでの間隔を設 定します。
タイプ	クリーニングタイプを設定します。



- ワーニングメッセージ " 廃インクタンク交換 " が表示されている場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。必要に応じてP.4-25 の操作をしてください。
- 装置前面の電源スイッチをオフにする場合は、廃 インクタンクの確認をしてください。

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出 する間隔を設定します。

- **1** ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [オートメンテナンス]>[リフレッシュ]選択して、[ENTER]キーを押す。
- **3** リフレッシュ間隔を設定し、[ENTER] キーを 押す。
 - **設定値**: お使いのインク種によって、設定値が異なります。
- **4** 終了するとき、[END/POWER] キーを数回押 す。

クリーニング間隔とタイプを設定する

クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1 ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナ ンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。

メンテナンスメニューが表示されます。

2 "クリーニング間隔"または"タイプ"を選択し、[ENTER] キーを押す。

3 設定値を選び、[ENTER] キーを押す。キーを 押す。

・設定値 : お使いのインク種によって、設

定値が異なります。

・タイプの設定値:ノーマル/ハード

4 終了するとき、[END/POWER] キーを数回押 す。

消耗品の交換

部品の汚れがひどい場合や、破損、変形した場合は、サプライ品をご利用ください。

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い 求めください。

消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧になれます。

https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。ディスプレイにワーニングメッセージ " ワイパー交換 " が表示されたら、速やかにワイパーを確認・交換してください。

ヘッドの高さによって、使用するワイパーが異なります。

レンジ	ワイパー
Low	ワイパー(品番:SPC-0843)
Mid	ライバー (m留: 3FC-0043)
Hi	HiGap 用ワイパー(品番:SPC-0850)



SPC-0843

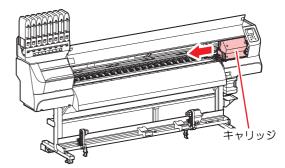
SPC-0850



- ・必ずヘッドの高さに合わせたワイパーをご使用く ださい。ノズル抜けや混色などの吐出不良の原因 となります。
- ワイパーを変更した場合、ワイパー使用回数はリセットされます。



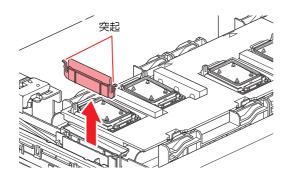
- クリーニングしてもノズル抜けや飛行曲がりが発生しない場合は、そのまま使用できます。ただし、ワイパー先端部にキズや毛羽立ちがある場合は必ず交換してください。
- ・ワイパーは別売品です。お近くの販売店、または 弊社営業所でお求めください。
- **1** ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ]>[ワイパー交換]>[キャリッジアウト]>[プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。



3

ワイパーを取り出す。

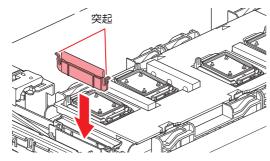
• ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



4

新しいワイパーを差し込む。

• ワイパー両端の突起を持ち、しっかりと奥まで差 し込んでください。



フロントカバーを閉じ、[ENTER] キーを押す。

・初期動作後、ローカルに戻ります。

ワイパークリーナーを交換する

ワイパークリーナー(品番: SPA-0243)は消耗品です。 1年に1回程度交換してください。



・ワイパークリーナーは別売品です。お近くの販売 店、または弊社営業所でお求めください。

ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナ ンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

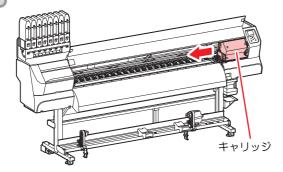
メンテナンスメニューが表示されます。

[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER] キーを 押す。

キャリッジがプラテン上に移動します。

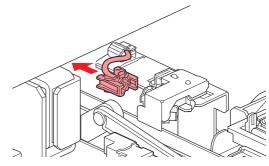
3

フロントカバーを開ける。



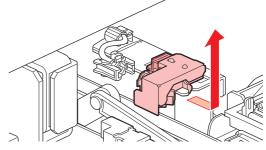
フィッティングを外す。

フィッティングの突起を持ち、引き抜きます。



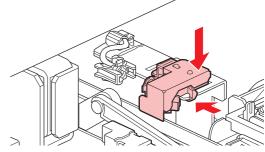
ワイパークリーナーを外す。 5

• 手前に引いて取り外します。

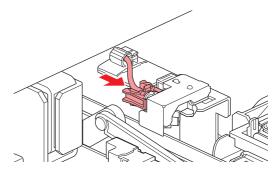


新しいワイパークリーナーを取り付ける。 6

奥にスライドさせて取り付けます。



フィッティングを取り付ける。



交換が終了したら、[ENTER] キーを押す。 8

フロントカバーを閉め、[ENTER]キーを押す。

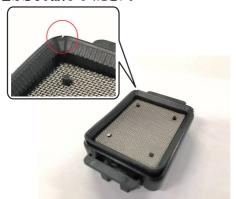
・初期動作後、手順1の表示に戻ります。

キャップを交換する

キャップ(品番: SPC-0842)は消耗品です。汚れや傷、またはクリーニングしてもノズル抜けが変化しない場合(吸引不良)は、交換してください。

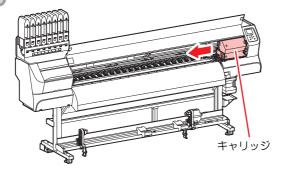


下記のようにキャップのフチに傷、破損がある場合は必ず交換してください。





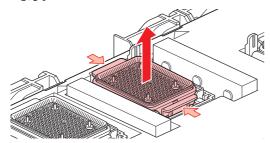
- キャップは別売品です。お近くの販売店、または 弊社営業所でお求めください。
- 1 ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナ ンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動] を選択して、[ENTER] キーを 押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 フロントカバーを開ける。



4

キャップを外す。

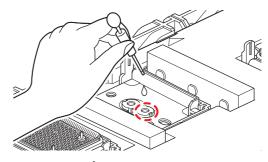
キャップの突起を押し込みながら、上に引き抜きます。





メンテナンス用洗浄液を塗布する。

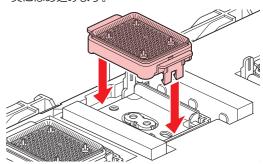
• スポイトを使って、**手前の穴にのみ**メンテナンス 用洗浄液を 1、2 滴塗布してください。



6 計

新しいキャップを取り付ける。

切り欠きを手前にして、カチッと音がするまで確実にはめ込みます。



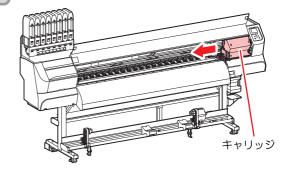
- **7** 交換が終了したら、[ENTER] キーを押す。
- **8** フロントカバーを閉め、[ENTER]キーを押す。 ・初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

キャップ吸収材を交換する

キャップ吸収材(品番: SPC-0845) は消耗品です。汚れがひどい場合やキャリッジからインクがボタ落ちする場合は、交換してください。



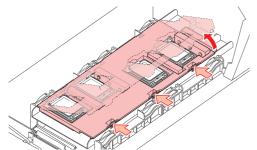
- キャップ吸収材は別売品です。お近くの販売店、 または弊社営業所でお求めください。
- **1** ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER] キーを 押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 フロントカバーを開ける。



4

キャップ吸収材を外す。

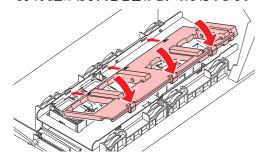
・手前にあるツメ(3箇所)を外し、引き抜きます。



5

新しいキャップ吸収材を取り付ける。

・奥の突起に切り欠きを合わせ、取り付けます。



6

交換が終了したら、[ENTER] キーを押す。

7

フロントカバーを閉め、[ENTER] キーを押す。

・初期動作後、手順1の表示に戻ります。

メディア押さえを交換する

メディア押さえ(品番: SPC-0789)が変形して、ヘッドにこするような場合は、交換してください。



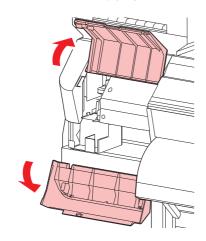
- メディア押さえは別売品です。お近くの販売店、 または弊社営業所でお求めください。
- ・メディア押さえから外したスライダーは紛失しないように注意してください。



- ・装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある [END/POWER] キーを長押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。
- ・装置側面にある主電源スイッチを切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

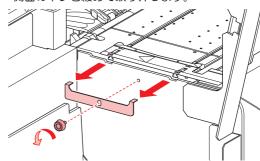
1

メンテナンスカバーを開く。



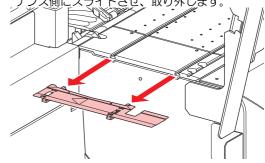
メディア押さえストッパーを取り外す。

・側面のネジを緩めて取り外します。

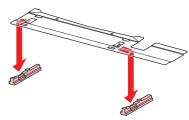


3 メディア押さえを取り外す。

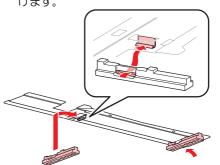
・フロントカバーを開け、メディア押さえをメンテナンス側にスライドさせ、取り外します。



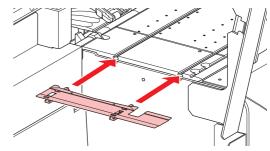
4 スライダーを取り外す。



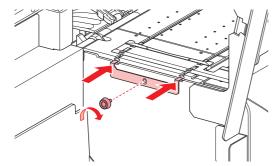
- **5** 新しいメディア押さえに、スライダーを取り付ける。
 - スライダーの穴をメディア押さえの突起に引っ掛けます。



6 メディア押さえを取り付ける。



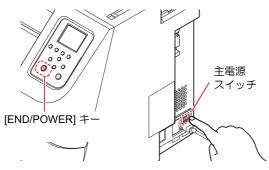
7 メディア押さえストッパーを取り付ける。



8 メンテナンスカバーを閉じる。

9 電源スイッチを入れる。

- (1) 装置側面にある主電源スイッチを「I」側に 倒す。
 - 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示し、初期動作を実行します。
- (2) [END/POWER] キーを押して電源を入れる。



ピンチローラーを交換する

ピンチローラー(品番: SPA-0247)の摩耗や汚れが気になるとき、またはディスプレイにワーニングメッセージ "ピンチローラーの汚れを確認して下さい"が表示されたら、速やかにピンチローラーを確認・交換してください。

● ピンチローラー交換の目安

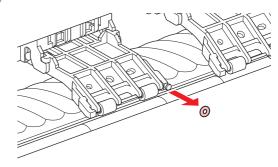
1日12時間稼働の場合	1 か月毎に交換
1日24時間稼働の場合	2 週間毎に交換



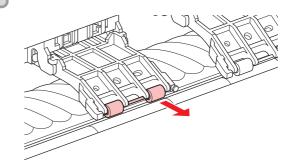
- ・ピンチローラーは別売品です。お近くの販売店、 または弊社営業所でお求めください。
- それぞれの部品が小さいため、装置のすき間に落下させないよう、注意してください。
- ·装i
- ・装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある [END/POWER] キーを長押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。
 - ・装置側面にある主電源スイッチを切って電源ケー ブルを抜いてから交換してください。

1 フロントカバーを開ける。

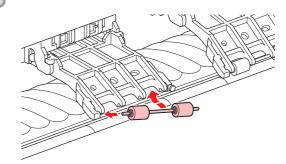
- **2** クランプレバーを上げ、ピンチローラを上げ た状態にする。
- 3 ピンチローラを固定している O リングを取り 外す。



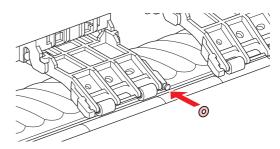
4 ピンチローラーを取り外す。



5 新しいピンチローラーを取り付ける。



6 0 リングを取り付ける。



- 7 フロントカバーを閉める。
- 電源スイッチを入れる。
 - (1) 装置側面にある主電源スイッチを「I」側に 倒す。
 - 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示し、初期動作を実行します。
 - (2) [END/POWER] キーを押して電源を入れる。

スパウトゴムを交換する

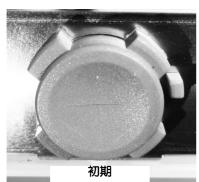
エコケースには、2L インクパックからのインク漏れ低減のために、スパウトゴムが実装されています。スパウトゴムはサプライ品です。(品番: SPA-0317)交換時期(半年)をワーニングでお知らせします。ワーニングが表示されたら、スパウトゴムを交換してください。

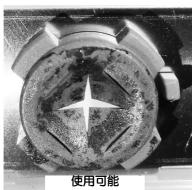


・2L インクパックを交換するときは、必ず付属の 保護メガネと手袋を着用してください。誤って、 インクが目に入る可能性があります。



- スパウトゴムは、8 セットすべて同時に交換してください。
- 使用環境や使用条件により、スパウトゴムが半年 以内に劣化する場合があります。写真のように中 央のすき間が広がった場合、ワーニングメッセー ジにかかわらず交換してください。







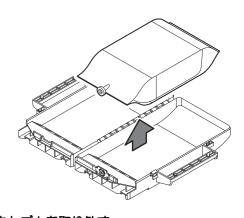


- ワーニング表示以外で交換する場合、下記の手順 でカウンタをリセットしてください。
- (1) ローカルモード画面で、[MENU] > [情報] を 選択し、[ENTER] キーを押す
- (2) [使用状況]を選び、[ENTER] キーを押す
- (3) [FUNC3] キーを押す
- (4) 下記が表示されたら、[ENTER] キーを押して、カウンタをリセットする

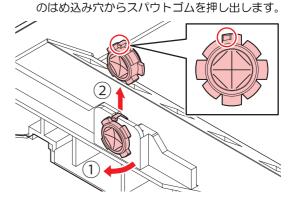
エコケース/スパ゜ウトコ゛ム コウカン クリア シマスカ? [ENT]

1 2L エコケースを開ける。

2L インクパックを取り出す。



3 スパウトゴムを取り外す。
・ペーパータオル等でおさえながら、2L エコケース





新品のスパウトゴムをエコケースの外側から 取り付ける

- スパウトゴムの位置決め突起をエコケースの凹み 位置に合わせて挿し込んでください。
- ・取り付けるとき、ゴムの向きに注意してください。
- スパウトゴムが均等に納まるまでゴム全体を溝に 押し込んでください。



スパウトゴム全体をたわませると、ケースの外側 から挿し込みやすくなります。







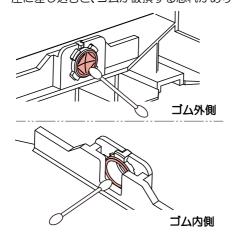


リブが納まっていない状態。 リブが溝に正しくはまって いないと、スパウトゴムの 破損につながります。



スパウトゴム表面をメンテナンス液で十分に 湿らせる。

- メンテナンス液はインク種にあったものを使用してください。
- ・スパウトゴムを湿らさずにインクパックと本機台 座に差し込むと、ゴムが破損する恐れがあります。



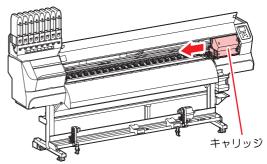
キャリッジフィルターを交換する

キャリッジフィルター(品番: SPC-0844)は、汚れたら 交換してください。

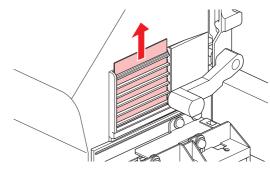


- ・キャリッジフィルターは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。
- 0
- ・装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある [END/POWER] キーを長押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。
- ・装置側面にある主電源スイッチを切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

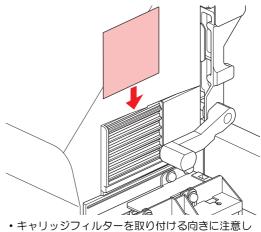
1 フロントカバーを開ける。



2 キャリッジフィルターを取り外す。



新しいキャリッジフィルターを取り付ける。





・キャリッソフィルターを取り付ける向さに注意し てください。





正

4

フロントカバーを閉る。



電源スイッチを入れる。

- (1) 装置側面にある主電源スイッチを「I」側に 倒す。
 - 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示し、初期動作を実行します。
- **(2)** [END/POWER] キーを押して電源を入れる。

MBIS オスコネクタ吸収材を交換する

2L インクパック交換時、定期的(5 ~ 10 回)にオスコネクタ吸収材(付属品)を交換することで、台座内の汚れを防止することができます。



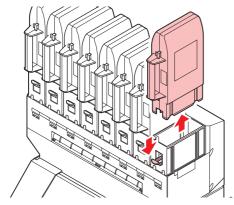
オスコネクタ吸収材交換時は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



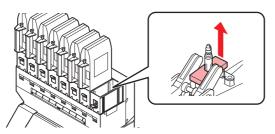


付属品が終了したら、お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。
 品番:SPA-0625

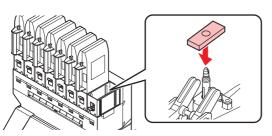
 台座についているレバーを押し下げ、2L エコ ケースを取り外す。

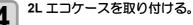


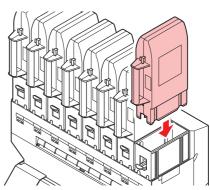
2 オスコネクタ吸収材を取り外す。



3 新しいオスコネクタ吸収材を取り付ける。







吹付ファンフィルターを交換する

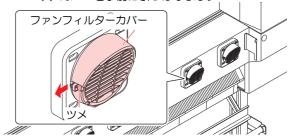
吹付ファンフィルター(品番: SPC-0856)が汚れた場合、またはディスプレイにワーニングメッセージ"吹付ファンフィルターを交換してください"が表示されたら、速やかに吹付ファンフィルターを確認・交換してください。

● 交換の目安は、3か月に1回程度です。

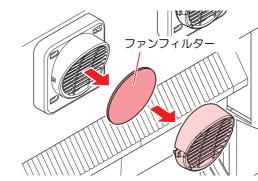


ファンフィルタカバーを外す。

ファンフィルターカバーのツメを外側に押し広げ、カバーを手前に引っぱります。

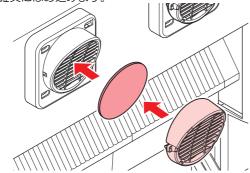


2 吹付ファンフィルターを取り外す。



新しいファンフィルターを取り付け、ファンフィルターカバーを元に戻す。

ファンフィルタカバーは、カチッと音がするまで 確実にはめ込みます。



カッター刃を交換する

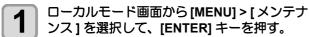
カッター刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら、新 しいカッター刃(品番: SPA-0107)に交換してください。



- カッター羽は、子供の手の届かないところに保管 してください。また、使用済みのカッター羽は、 地域の条例に従い廃棄してください。



カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。

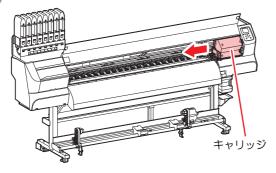


メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER] キーを押す。

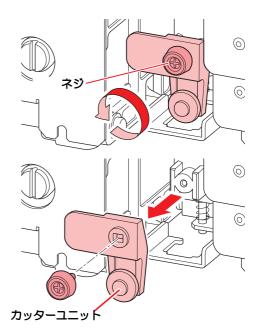
• キャリッジがプラテン上に移動します。

フロントカバーを開ける。



4 キャリッジ横のカッターユニットを交換する。

- (1) カッターユニットのネジを緩める
- (2) カッターユニットを取り外す
- (3) 新しいカッターユニットを取り付ける
- (4) カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定する



5 フロントカバーを閉じる。

6 [ENTER] キーを押す。

端面ガイドフィルムを交換する

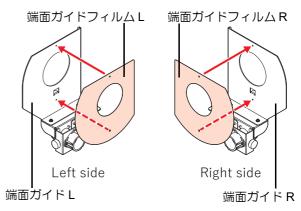
端面ガイドフィルムが折れてしまったり、摩耗していると きは交換してください。

巻き取りユニットからメディアを外す。

つ 端面ガイドから、端面ガイドフィルムを外す。

• • •

- 両面テープが残らないように外してください。
- **3** 端面ガイドフィルムの両面テープを外して、 端面ガイドに貼り付ける。
 - 端面ガイドのネジ穴(x2)に、フィルムの穴(x2)を合わせて貼り付けてください。



廃インクタンクの管理

廃インク量の補正

廃インクタンクのカウント値と実量に誤差が生じた場合は、誤差補正を行ってください。

- **1** ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] を選び、キーを押す。 [ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- **2** [廃インクタンク] を選び、[ENTER] キーを押す。
 - 廃インクタンク情報が表示されます。
- **3** [廃インク量補正] を押し、設定値を選び [ENTER] キーを押す。
 - 設定値: 2 ~ 10L

タンク容量の変更

廃液拡張キット(SPA-0311)を使用して廃インクタンク (2L ~ 10L タンク)を設置した場合は、設置した廃イン クタンクの容量に合わせてタンク容量を変更してください。

- 廃液拡張キットを使用して廃インクタンクを設置 している場合は、80%で "廃インクタンク確認 " メッセージが表示され、90%で "廃インクタンク 交換 "メッセージを表示して、動作制限を行います。
- 1 ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナ ンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- **2** [廃インクタンク] を選び、[ENTER] キーを押す。
 - 廃インクタンク情報が表示されます。
- **3** [タンク容量]を押し、設定値を選び[ENTER] キーを押す。

廃インクタンク確認メッセージが表示 されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機の右下にある廃インクタンクにたまります。本機では、インクの排出量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すメッセージが表示されます。(廃インクタンク交換の目安としてお使いください。)

標準の 2L タンクは 80% (1.6L) で "廃インクタ ンク確認 "メッセージが表示されます。

ローカルでの確認メッセージ

1 ディスプレイにワーニングメッセージ " 廃イ ンクタンク確認 " が表示される。

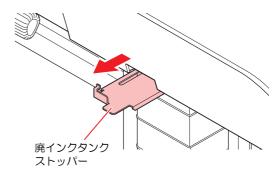
- **2** 廃インクタンクを確認する。
 - ・実際の量と誤差がある場合は、手順3以降の操作をしてください。
 - 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換 (廃棄処分)する場合は、「廃インクタンクを交換 する」の手順を実行してください。((②) P.4-25)
- **3** ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナ ンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 4 [廃インクタンク]を選び、[ENTER] キーを押す。
 - 廃インクタンク情報が表示されます。
- **5** 廃インク量の調整が必要な場合、[廃インク量 補正] を選び、[ENTER] キーを押す。
- 6 レベルを調整し、[ENTER] キーを押す。

廃インクタンクを交換する

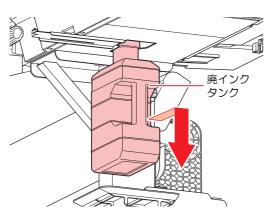
廃インクタンクがいっぱいになった場合は、次の作業をして廃インクタンクを交換し、メンテナンスメニューで廃インク情報を0%に設定してください。

廃インクタンク確認メッセージが表示される前(2L タンクの 80%(1.6L)に達する前)に廃インクタンクを交換する場合も、同様の作業をして廃インクタンクを交換してください。

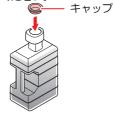
- **1** ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- **2** [廃インクタンク量リセット]を選び、[ENTER] キーを押す。
 - 廃インクタンク情報が表示されます。
- **3** 画面に表示される手順に従って廃インクを交換する。
- **4** [ENTER] キーを押す。
 - 本機で管理している廃インクタンク量がリセット されます。
- **5** 廃インクタンクストッパーを手前に引く。



6 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引いて取り出す。

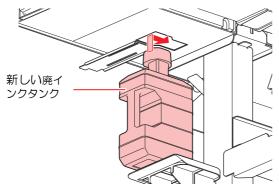


取り出した廃インクタンクにキャップを はめてください。



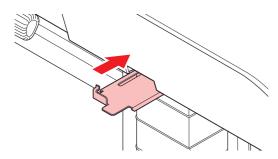
廃インクタンクを交換する。

- **(1)** 新しい廃インクタンク(品番: SPA-0246) を用意する。
- (2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、差し込む



・廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理 を依頼してください。

8 廃インクタンクストッパーを閉じる。



9 [ENTER] キーを押す。

・木欅で管理しているイン

本機で管理しているインク排出量のリセットを行い、メッセージを解除します。

第5章 困ったときは



この章では ...

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明を しています。

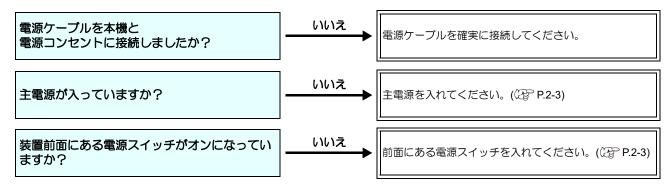
故障かな?と思う前に	5-2
電源が入らない	
プリントできない	
メディア詰まり / メディアが汚れる	5-2
ヒーターの温度が設定値まで上昇しない	5-3
画質不良が発生したときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
インクの状態に異常が発生したら	5-3
インク漏れが発生したら	5-4
メッセージを表示するトラブル	5-5
ワーニングメッセージ	5-5
エラーメッセージ	5-11

故障かな?と思う前に

故障?と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

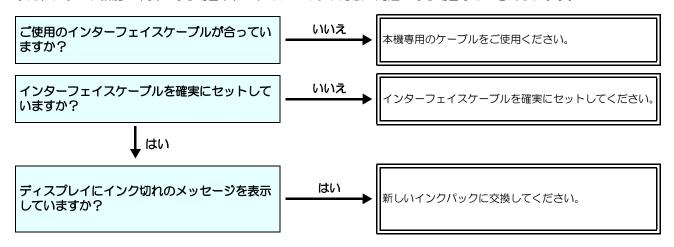
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。



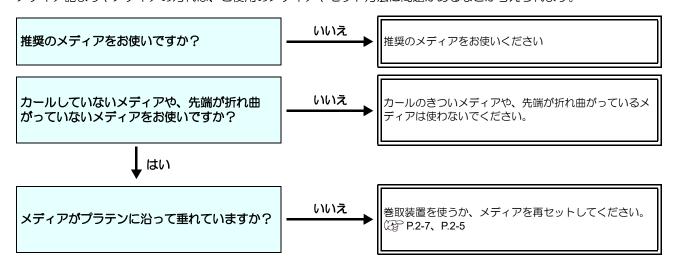
プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本機に送られていない場合があります。 また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



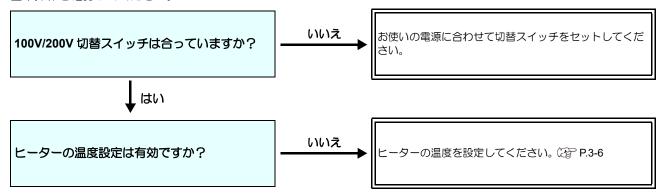
メディア詰まり/メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。



ヒーターの温度が設定値まで上昇しない

基本操作を確認してください。



画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現 象	対処方法	
白スジ/カスレ/色の濃いスジが 発生する(ヘッド移動方向)	(1) ヘッドクリーニングを行ってください。(公子 P.2-11) (2) ステーション内部のメンテナンスをしてください。(公子 P.4-7) (3)「フィード補正」機能を実行してください。(公子 P.3-4) (4) メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。	
文字が用紙送り方向に2重、3重にブレる	(1)「フィード補正」機能を実行してください。(②F P.3-4)	
往復印字でズレが発生する	(1)「ドット位置補正」機能を実行してください。(②P.3-5)	
(1) ワイパーを清掃してください。(公子 P.4-7) (2) インクキャップのクリーニングをしてください。(公子 P.4-7) (3) ヘッドの周辺を清掃してください。(公子 P.4-12) (4) ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。(公子 P.4-12)		

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-11 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の項目を確認してください。

- ノズルの洗浄をしてください。(② P.4-9)
- ノズル面の清掃をしてください。(② P.4-12)
- ワイパーの交換をしてください。(② P.4-16)
- ノズルリカバリをしてください。(②P.4-13)

インクの状態に異常が発生したら

インクの状態に異常が発生したら、LED「赤」が点灯し、ワーニングメッセージが表示されます。 プリント、クリーニングなど、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。 速やかに新しいインクパックに交換してください。



インクの異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。 ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

インクの状態の詳細を表示する

次の操作をしてインク状態の異常の内容を確認できます。



ローカルモードで、ENTER キーを押す。

2

(ENTER) キーを押す。

インク漏れが発生したら

ー インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。 メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

情報を表示するエラー

イラスト	表示	対処方法
	カートリッジをセット インク IC をセット	 インクエンドとなったため、パックとインクICチップを交換してください。 インクICチップを正常なものに交換してください。
	<交互表示 1 > エコケースの記載の説明にしたがってスパウトゴムを全て交換してください <交互表示 2 > スパウトゴムが劣化するとインクパックからインクが漏れやすくなります	・エコケースのスパウトゴムを交換してくだ さい。
	インクパックを振ってください [ENT]	インクパックを振ってインクを撹拌してく ださい。
	メディア押さえの位置を確認してくださ い [ENT]	 ・メディア押さえを正しい位置にセットしてください。 ・メディア検出センサーが通る位置にプリント結果が無いよう、メディアをフィードさせてください。 ・MENU>マシン設定>メディア検出>検出速度="標準"に変更してください。

イラスト	表示	対処方法
	<交互表示 1 > 洗浄液カートリッジを交換してください < 交互表示 2 > 洗浄液がないとクリーニングを失敗しや すくなります	・メンテナンス洗浄液カートリッジを交換してください。・メンテナンス洗浄液カートリッジをセットしてください。
	ワイパー交換	・ワイパー交換(メンテナンス>ステーション メンテ>ワイパー交換)を実行してくださ い。
	10kg インクタンクのインクを撹拌して ください [ENT]	• 10kg インクタンク内のインクを撹拌してく ださい。
	延長ヒーターが外されました 接続を確認してください	・延長ヒーターの接続状態を確認してください。
	延長ヒーターが温度上昇不可 電源を確認してください	延長ヒーターの電源ケーブルの接続を確認 してください。延長ヒーターの電源スイッチを確認してく ださい。

イラスト	表示	対処方法
	延長ヒーターを正しい位置にセットして ください	・延長ヒーターの位置を確認してください。 (上下位置、中途半端な位置にセットされていないか)
	吹付ファンフィルターを洗浄(水洗)し てください [ENT]	ファンフィルタカバーを外し、吹付ファンフィルターを洗浄(水洗い)してください。 必ずファンフィルターが乾いてから本機に 取り付けてください。
	吹付ファンフィルターを交換してくださ い [ENT]	・ファンフィルタカバーを外し、吹付ファン フィルターを交換してください。

操作を実行したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
実行できません ! カバーオープン	カバーが開いているため機能が実行できない。	カバーを閉めてから、機能を実行してください。
実行できません !メディア未検出	メディア未検出のため、機能が実行できない。	・メディア検出後に機能を実行してください。
実行できません ! メディア ガ アリマセン	メディアがセットされていないため、機 能が実行できない。	
実行できません ! プリントデータあり	データを受信しているため機能が実行できない。	・データクリアを実行後、機能を実行してください。
実行できません 廃インクタンク交換	廃インクタンクのカウントが規定量 (90%)を超えた。	・廃インクタンクのインク量を確認してください。・誤差補正、または廃インクタンクの交換後に、カウントリセットを実行してください。
実行できません ! インクエラーあり	インクエラーが発生しているため機能が 実行できない。	・インカパックまたけ 10kg インクタンクとイ
インク ニア エンド 1	インクニアエンドが発生しているため、 機能が実行できない。 (UISS 有りの経路は両方ともインクニア エンドとなった場合に表示される。)	インクパックまたは 10kg インクタンクとインク IC チップを交換後、機能を実行してください。
実行できません !10kg 供給ユニット接続	10kg 供給ユニットが接続されていない ため、機能を実行できない。	・装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせくださ い。

表示	原因	対処方法
実行できません 巻取 リミット ケンシュツ	巻取りテンションバー位置の上限を検出 しているため、機能が実行できない。	・巻取りテンションバーを下げてから機能を 実行してください。
実行できません 繰出 リミット ケンシュツ	繰出しテンションバー位置の上限を検出 しているため、機能が実行できない。	・繰出しテンションバーを下げてから機能を 実行してください。
実行できません 巻取 動作異常	巻取りテンションバーが下限位置から動 いていないため、機能が実行できない。	・ジョグキーで巻取りユニットが正常に動作することを確認後、機能を実行してください。
実行できません 繰出 動作異常	繰出しテンションバーが下限位置から動いていないため、機能が実行できない。	・ジョグキーで繰出しユニットが正常に動作することを確認後、機能を実行してください。
実行できません 巻取 カバー OPEN	巻取りユニットのカバーが開いているため、機能が実行できない。	巻取りユニットのカバーを閉めてから、機能 を実行してください。
実行できません 繰出 カバー OPEN	繰出しユニットのカバーが開いているため、機能が実行できない。	繰出しユニットのカバーを閉めてから、機能 を実行してください。
実行できません 巻取ユニット 接続	巻取と繰出の接続が逆になっているため、機能が実行できない。	
実行できません 繰出ユニット 接続	巻取と繰出の接続が逆になっているため、機能が実行できない。	・装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。
実行できません 巻取ユニット ナシ	巻取りユニットが接続されていないた め、機能が実行できない。	
実行できません 繰出ユニット ナシ	繰出しユニットが接続されていないた め、機能が実行できない。	
実行できません 巻取緊急停止スイッチ ON	巻取りユニットの緊急停止スイッチが押し込まれているため、機能が実行できない。	・巻取りユニットの緊急停止スイッチを解除 してから、機能を実行してください。
実行できません 繰出緊急停止スイッチ ON	繰出しユニットの緊急停止スイッチが押し込まれているため、機能が実行できない。	・繰出しユニットの緊急停止スイッチを解除 してから、機能を実行してください。
実行できません 巻取ユニット電源	巻取りユニットのインバータの正常状態 が確認できないため、機能が実行できな い。	・装置を再起動し、巻取りユニットのインバー タ電源が正常状態であることを確認してか ら、機能を実行してください。
実行できません 繰出ユニット電源	繰出しユニットのインバータの正常状態 が確認できないため、機能が実行できな い。	・装置を再起動し、繰出しユニットのインバー タ電源が正常状態であることを確認してか ら、機能を実行してください。
実行できません 巻取リレー溶着	巻取りユニットのリレーが故障している 可能性があるため、機能が実施できない。	・装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業
実行できません 繰出リレー溶着	繰出しユニットのリレーが故障している 可能性があるため、機能が実施できない。	所、コールセンターにお問い合わせくださ い。
実行できません ワイパー動作不良	ワイパーが正常に動作しないため、機能 が実行できない。	・ワイパー周辺を清掃し、装置を再起動後、機能を実行してください。

ローカルで表示されるメッセージ

表示	原因	対処方法
クランプ レバー下げてください	クランプレバーが上がっている。	クランプレバーを下げてください。
メディアセットしてください	メディアがセットされていない。	・メディアをセットしてください。
プリントー時中断	プリントを中断している状態。	リモートキーを押下してプリントを再開または、データクリアを実行し、中止してください。
廃インクタンク確認	廃インクタンクのカウントが規定量 (80%)を超えている。	・廃インクタンクのインク量を確認してください。・誤差補正、または廃インクタンクの交換後に、カウントリセットを実行してください。

表示	原因	対処方法
	廃インクタンクのカウントが規定量	・廃インクタンクのインク量を確認してください。
廃インクタンク交換	(90%) を超えた。	・誤差補正、または廃インクタンクの交換後 に、カウントリセットを実行してください。
!プリント不可 / インク IC	インク IC チップが使用できないため、プ リント不可状態。	・インクパックまたは 10kg インクタンクとインク IC チップを交換してください。
インク期限注意 M	インクが有効期限切れになった(期限切れから 2ヶ月未満)。	・インクパックまたは 10kg インクタンクとインク IC チップを交換してください。
インク期限オーバー M 	インクが有効期限切れになった(期限切れから 2ヶ月以上経過)。	・インクパックまたは 10kg インクタンクとインク IC チップを交換してください。
エコケースのスパウトゴムを交 換して下さい	エコケースのスパウトゴムが交換時期に なった。	・エコケースのスパウトゴムを交換してくだ さい。
インク残量確認	タンク残量が残りわずかとなったため、 確認が必要。(タンク内のインク残量が 25%を下回った。)	・必要に応じてインク残量補正を実行してください。
!洗浄液カートリッジ無し	メンテナンス洗浄液カートリッジがセッ トされていない。	・メンテナンス洗浄液カートリッジをセット してください。
!洗浄液エンド	メンテナンス洗浄液カートリッジの残量 がない。	新しいメンテナンス洗浄液カートリッジに 交換してください。
!装置温度 / 高 ** ° C	環境温度が装置使用可能な温度より高い。	・インクの吐出に悪影響を及ぼし、正常なプリント結果が得られない可能性があるため、室
!装置温度 / 低 ** ° C	環境温度が装置使用可能な温度より低い。	温を装置使用可能な温度 (20 ℃~ 30 ℃) に 調整してください。
!10kg 供給ユニット接続	10kg 供給ユニットが接続されていない。	・装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせくださ い。
巻取 リミット ケンシュツ	巻取りテンションバー位置の上限を検出 している。	・巻取りテンションバーを下げてください。
繰出 リミット ケンシュツ	繰出しテンションバー位置の上限を検出 している。	・繰出しテンションバーを下げてください。
巻取 動作異常	巻取りテンションバーが下限位置から動 いていない。	ジョグキーで巻取りユニットが正常に動作することを確認してください。
繰出 動作異常	繰出しテンションバーが下限位置から動 いていない。	・ジョグキーで繰出しユニットが正常に動作 することを確認してください。
巻取 カバー OPEN	巻取りユニットのカバーが開いている。	巻取りユニットのカバーを閉めてください。
繰出 カバー OPEN	繰出しユニットのカバーが開いている。	・繰出しユニットのカバーを閉めてください。
巻取ユニット 接続	巻取と繰出の接続が逆になっている。	
実行できません 繰出ユニット 接続	巻取と繰出の接続が逆になっている。	装置を再起動してください。再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
巻取ユニット ナシ	巻取りユニットが接続されていない。	
繰出ユニット ナシ	繰出しユニットが接続されていない。	
巻取緊急停止スイッチ ON	巻取りユニットの緊急停止スイッチが押 し込まれている。	・巻取りユニットの緊急停止スイッチを解除 してください。
繰出緊急停止スイッチ ON	繰出しユニットの緊急停止スイッチが押 し込まれている。	・繰出しユニットの緊急停止スイッチを解除 してください。
巻取ユニット電源	巻取りユニットのインバータの正常状態 が確認できない。	・装置を再起動し、巻取りユニットのインバー タ電源が正常状態であることを確認してく ださい。
繰出ユニット電源	繰出しユニットのインバータの正常状態 が確認できない。	装置を再起動し、繰出しユニットのインバータ電源が正常状態であることを確認してください。

表示	原因	対処方法
巻取リレー溶着	巻取りユニットのリレーが故障している 可能性がある。	・装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせくださ い。
繰出リレー溶着	繰出しユニットのリレーが故障している 可能性がある。	
ワイパー交換	ワイパー使用カウントが規定量を超えた。	・メンテナンス・ステーションメンテ・ワイ パー交換を実行し、ワイパーを交換してくだ さい。
ワイパー動作不良	ワイパーが正常に動作しない。	・ワイパー周辺を清掃し、装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
!NCU 接続異常	NCU が接続されていない。 NCU のセンサーチェックで正常値を検 出できない。	・装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせくださ い。
!NCU 交換	NCU のセンサー感度が低い。 (*NCU 使用不可)	NCU の交換が必要です。販売店または弊社営業所、コールセンターに お問い合わせください。
NCU カンドチョウセイエラー H	NCU の感度調整に失敗した。 (*NCU 使用不可)	
NCU カンドチョウセイエラー L	NCU の感度調整に失敗した。 (*NCU 使用不可)	
!NCU インク吸収材交換	NCU の吐出カウントが規定量を超えている。 (*NCU 使用可能)	• NCU のインク吸収材交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターに お問い合わせください。
!NCU センサー感度低下	NCU のセンサー感度が低下してきている。 (*NCU 使用可能)	• NCU の交換をお勧めします。 販売店または弊社営業所、コールセンターに お問い合わせください。
ピンチローラーの汚れを確認し て下さい [ENT]	ピンチローラーの交換目安時期になった。	ピンチローラーの摩耗や汚れを確認し、気に なるときは交換してください。

インクエラー

インクエラーは、ローカルガイダンスでも表示されます。((②P.3-28)

表示	原因	対処方法
648 インク IC 無し	インクICチップがスロットに挿入されて いない。	 ワーニングが発生しているスロットにインクIC チップを挿入して下さい。 インクIC チップが正しく挿入されているか確認してください。 インクIC チップがスロットに挿入されていてもワーニングが発生している場合、装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
635/636 インク IC 異常	インク IC チップが正常に読み込めない。	ワーニングが発生しているインク IC チップ を再挿入してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。
640 インク使用量超過	パック交換と一緒にインクICチップの交換を実施していないため インクICチップの使用量が規定量を超えた。	ワーニングが発生しているスロットのイン クパックまたは 10kg インクタンクとインク IC チップを交換してください。
674 インク種類	インクICチップのインク種類が充填して あるインクと異なる。	ワーニングが発生しているスロットのイン ク種類を確認してください。

表示	原因	対処方法			
631 インクカラー	インクICチップのインクカラーが充填し てあるインクと異なる。	ワーニングが発生しているスロットのイン クカラーを確認してください。			
63D インクニアエンド	インクパックまたは 10kg インクタンク のインクが残りわずかになっている。	・間もなくインクがなくなります。 ご注意くだ さい。			
63E インクエンド	インクパックまたは 10kg インクタンク のインクがなくなった。	ワーニングが発生しているスロットのイン クパックまたは 10kg インクタンクとインク IC チップを交換してください。			
641/642 期限まで ** 日	インクが有効期限切れになった(期限切れから 2ヶ月未満)。				
643 期限オーバー	インクが有効期限切れになった(期限切れから 2ヶ月以上経過)。				
617 サブタンクセンサ	サブタンクセンサー値を正常に検出できない。	装置を再起動してください。			
618 タンク残量 H	インクを使用してもサブタンク内のイン クが減っていない。	再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせくださ			
63F タンク残量 L	インク吸引不良が発生している。多量のノズル詰まりが発生している。	() _o			
61B インク供給	10kg インク供給(セミオート / マニュアル)を実施しても規定量のインクを供給できなかった。	 ・10kg インクタンク内に十分なインクがあることを確認してください。 ・10kg インクタンクにインク供給パイプが正常にセットされていること確認してください。 ・10kg インク供給(セミオート/マニュアル)を実施してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 			
676 インク残量確認	タンク残量が残りわずかとなったため、 確認が必要。(タンク内のインク残量が 25%を下回った。)	・必要に応じてインク残量補正を実行してく ださい。			

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。 それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

No.	表示	原因	対処方法			
1	108 HD THERMIS[1234]	ヘッド温度制御に異常が発生した。				
2	108 HD CONNECT[1234]	ヘッドの接続に異常が発生した。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたっ			
3	122 CHECK:SDRAM	SDRAM に異常が発生した。	てから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営 業所、コールセンターにお問い合わせくだ			
4	128 HDC FIFO OVER	・ ヘッド制御基板に異常が発生した。	さい。			
5	128 HDC FIFO UNDER	ハッド制脚拳似に共市が先生した。				
6	129 バッテリ コウカン	内部時計の電池切れを検出した。	販売店または弊社営業所、コールセンター にお問い合わせください。			
7	12a HDC SPEED	(ロウェア) ス次取の思常を検出した	・一度、主電源をオフにして、しばらくたっ			
8	130 HD DATA SEQ	印字している波形の異常を検出した。 	│ てから再度オンにしてください。 │ 再度表示する場合は、販売店または弊社営 │ 業所、コールセンターにお問い合わせくだ			
9	146 E-LOG SEQ	イベントログのシーケンシャルナンバー 異常が発生した。	************************************			

No.	表示	原因	対処方法				
10	151 Main PCB V1R2						
11	152 Main PCB V2R5						
12	153 Main PCB V3R3						
13	154 Main PCB V05	メイン基板の電源系統に異常が発生し					
14	157 Main PCB VTT	た。					
15	16e Main PCB V3R3B						
16	15f HEAD DRIVE HOT						
17	171 NEW HEAD CONNECT						
18	18a Main PCB V_CORE	メイン基板の電源に異常が発生した。					
19	18c Main PCB V12	ア・イン 至成の電流に共同の元上のた。					
20	18e FLS NOT COMP		• 一度、主電源をオフにして、しばらくたっ				
21	18f OFFSET START	印字している波形の異常を検出した。	てから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営				
22	18f OFFSET END		業所、コールセンターにお問い合わせくだ さい。 				
23	1d9 Main PCB V48-1	メイン基板の電源に異常が発生した。					
24	b1b BaseIO PCB Vpow-s						
25	b1c BaseIO PCB V24	Base IO 基板の電源に異常が発生した。					
26	b1d BaseIO PCB V24-A						
27	b3f BaseIO Unconform	BaseIO 基板が認識できない、もしくは機能制限品 (LC 品) が取り付けられている。					
28	b21 SLIDER1 PCB V3R3						
29	b22 SLIDER1 PCB V2R5	スライダ M 基板の電源に異常が発生し					
30	b23 SLIDER1 PCB V1R8	た。					
31	b24 SLIDER1 PCB V1R2						
32	1e6 PRAM サイズフソク	メモリーサイズが不足している。					
33	201 コマンド エラー	プリントデータ以外のデータを受信した。 または送信したプリントデータに異常が 発生した。	インターフェイスケーブルを確実に接続してください。規格に適合したインターフェイスケーブル				
34	202 パラメータ エラー	送信したプリントデータに異常が発生し た。	を使用してください。				
35	206 プリント モード エラー	プリント不可能な条件のプリントデータを受信した。	 RIP ソフトのプリントデータ出力条件を確認してください。 プロファイルを確認してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 				

No.	表示	原因	対処方法				
36	304 USB INIT ERR	LICD の客信に用端が終生した					
37	305 USB TIME OUT	USBの通信に異常が発生した。					
38	307 MCFD ファイル IF エラー	印刷条件データへのアクセス中に異常が 発生した。	・一度、主電源をオフにして、しばらくたっ				
39	401 モーターアラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	てから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営 業所、コールセンターにお問い合わせくだ				
40	402 モーターアラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	さい。				
41	403 X オーバー カレント	X モーターの過電流エラーを検出した。					
42	404 Y オーバー カレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。					
43	44f マキトリ ロール センサ イ ジョウ	巻軸センサ異常 ・巻軸センサを正しく読めない	 マシン設定の巻取ユニットと巻取テンションバーの設定が"ON"になっていることを確認してください。(② P.3-15) メディアのセット状態を確認してください。 マニュアル SW で巻取装置が動作することを確認してください。 				
44	48a 巻取不良検出	巻取不良検出 ・小巻取ユニットがメディアを正しく巻き取りできていない	・メディアのセット状態を確認してください。・メディアが巻き取られていない場合は、正しく巻き取れる状態に再セットしてください。				
45	505 メディア ジャム	メディア詰まりが発生した。	・メディアを取り除き、再セットしてください。				
46	509 HDC POSCNT	位置制御に異常が発生した。	一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。				
47	50a Y ゲンテン ケンシュツ	Y 原点検出ができなかった。	てから再度オブにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営 業所、コールセンターにお問い合わせくだ				
48	50f L-SCALE BLACK	リニアスケール異常が発生した。	さい。				
49	50c メディアハバセンサー カ クニン	メディア幅を正しく読むことができな かった。	 ・メディアのセット位置を確認してください。(公子 P.2-4) ・メディアセンサーの清掃を行ってください。(公子 P.4-3) ・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 				
50	516 メディアイチ ミギ スギマス	メディアが範囲外にセットされている。	・メディアのセット位置を確認してくださ い。(② P.2-4)				
51	528 ポンプモーター センサ	ポンプセンサ検出エラー	・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。				
52	52f キャリッジ 原点 未設定	キャリッジの制御原点位置設定が行われていない。	・販売店または弊社営業所、コールセンター				
53	530 ステーション 原点 未設定	ステーションの制御原点位置設定が行われていない。	にお問い合わせください。				
54	536 ステーション ロック	ステーションの動作異常を検出した。	・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。				

No.	表示	原因	対処方法				
55	608 インク IC イジョウ	インクパックの IC チップが正常に読めない。	 インクICチップが正しく挿入されているか確認してください。 インク IC チップを挿入しなおしてください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 				
56	627 カートリッジ セット	ー定時間以上インクICチップが挿入され ていないスロットがある。	・インク IC チップをセットしてください。				
57	628 カートリッジ イジョウ	インクパックの IC チップの情報に異常が生じた。 使用量が規定値を超えている。	ノズル詰まりがないことを確認してください。				
58	63c インクザンリョウ ゼロ	カートリッジ残量 0 (インクエンド /4 色 インクセット時のみ)	・新しいインクに交換してください。				
59	64C NCU エラー	何らかの問題により、ノズルチェックが 中断された。	一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。				
60	650 NCU セツゾク イジョウ	NCU のユニットが接続されていない。	再度表示する場合は、販売店または弊社営 業所、コールセンターにお問い合わせくだ さい。				
61	651 NCU コウカン	NCU のセンサー感度が低く、正常にノズル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	NCU の交換が必要です。販売店または弊社営業所、コールセンター にお問い合わせください。				
62	652 NCU ケンシュツエラー (HW)	ノズル抜け、飛行曲りが多発していて、 NCU がインクの吐出を正常に認識でき					
63	653 NCU ケンシュツエラー(マーク)	ない。	ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲 りが多い場合はクリーニングを実施し回復 させてください。				
64	654 NCU センターイチケンシュツエ ラー	NCU への吐出位置の調整に失敗した。					
65	655 NCU トシュツイチケンシュツエ ラー	NCO 八の吐山位直の過程に大敗 0/2。					
66	656 NCU SN チョウセイエラー	センサーの感度調整に失敗した。	・ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲 りが多い場合はクリーニングを実施し回復 させてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営 業所、コールセンターにお問い合わせくだ さい。				
67	657 NCU インクキュウシュウザイ コウ カン	NCU のインク吸収剤が満杯になった。	販売店または弊社営業所、コールセンター にお問い合わせください。				
68	658 NCU センサー カンド テイカ	NCU のセンサー感度が低下してきている。					
69	65b NCU カンドチョウセイエ ラー H	センサーの感度を調整できない。	NCU の交換をお勧めします。販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。				
70	65c NCU カンドチョウセイエ ラー L	こ フ ソ いかい					
71	702 サーミスタ セツゾク	サーミスタ接続異常が発生している。	一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。				
72	710 ヒーター オンド イジョウ	ヒーターの温度異常を検知した。 本エラー発生後、温度異常が解消されない場合、強制的に装置電源をオフにします。	でから再度オブにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営 業所、コールセンターにお問い合わせくだ さい。				
73	901 ジッコウ デキマセン	何らかのエラーにより、機能が実行できません。	・ローカル画面に戻ってエラー状況を確認 し、対処してください。				
74	902 ミサクズ データ アリ	プリントデータが残っている。	・データクリアを実行してください。 (頌P.2-13)				

No.	表示	原因	対処方法
75	90d ヘッド センタク ナシ	搭載ヘッドに異常が発生した。	・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
76	90f プリント エリア フソク	プリントに必要なメディア幅またはメ ディア長さが足りません。	・メディア幅の広い、またはメディア長さが 十分なメディアに交換してください。・原点移動によりメディア幅が狭くなってい る場合、原点を右にずらして有効メディア 幅を広げてください。
77	91a ヘッド高さ 調整	マシンに保存されているヘッド高さ設定値と現在のヘッド高さに違いがある。	・ヘッド高さの設定を行ってください。 (紹子 P.2-4)
78	04 PARAM ROM	MAIN 基板 FROM に異常が発生した。	・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。
79	d09 HD MEMORY [1234]	ヘッド内蔵メモリーに異常を検出した。	再度表示する場合は、販売店または弊社営

SYSTEM HALT

表示	対処方法
SYSTEM HALT (*)	・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。
000 : メッセージ	再度表示する場合は番号を確認のうえ、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。("000" はエラー No.)

第6章 付録



この章では ...

本機の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載しています。

仕様	6-2
本体仕様	
インク仕様	
インク種によるセットの違いについて	
インクカートリッジのセット順	6-4
お問い合わせシート	

仕様

本体仕様

	項目		TS55-1800				
	方式		オンデマンドピエゾヘッド				
プリントヘッド部	仕様		へッドユニット(420 ノズル ×8 列)を2つ搭載				
プリントモード (スキ	·L	⁴)	360×360dpi/ 480×600dpi/540×360dpi/ 600×600dpi/720x600 ^{*1} / 720×720dpi/ 720×1080dpi				
使用可能インク			9色(Y, M, Bl, K, LBl, Lm, Lk, FP, FY)				
インク供給			インクパックからのチューブ供給 インクパック交換方式:2 パック /1 色によるトグル切換供給 (4 色 / 6 色時: M, BI 7 色時: M)				
	4 色		Y, M, BI, K: 2L インクパック各色 2 本				
ノンカ帝皇	6色		Y, K, LBI, Lm:2L インクパック各色 1 本 M, BI:2L インクパック各色 2 本				
インク容量	7色		Y, K, Bl, LBl, Lm, Lk: 2L インクパック各色 1 本 M: 2L インクパック 2 本				
	8色		Y, M, BI, K, LBI, Lm, FP, FY:2L インクパック各色 1 本				
	種類		転写紙				
	最大プリン	/ト範囲	1940mm				
	最大幅		1950mm				
	最小幅		210mm				
	厚さ		1.0mm 以下				
	プリント面		ロール外側面				
	繰り出し	ロール外径 ^{*2}	Ф250mm 以下				
		ロール重量 ^{*2,*3}	45kg 以下				
使用可能メディア		紙管内径	2 インチまたは 3 インチ				
医内 引服 ハブ・ドブ		ロール外径 ^{*2}	端面ガイド未使用時:Ф250mm 以下 端面ガイド使用時:Ф200mm ~ Ф120mm 以下 (端面ガイドの取り付け 位置によって変わります)				
	巻き取り	ロール重量 *2,*3	45kg 以下				
		紙管内径	2 インチまたは 3 インチ				
		巻終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着				
		巻きズレ	Φ120:±1 mmΦ170:±3 mmΦ200:±5 mm(端面ガイド使用時)				
プリントマージン	ロールメテ	ディア	左右 : 15.0 mm (デフォルト値) 前 :120 mm 後 : 150 mm				
DC 该化小主 cit	絶対精度		± 0.3 mm または指定距離の ± 0.3 % の大きい方				
距離精度	再現性		± 0.2 mm または指定距離の ± 0.1 % の大きい方				
直角度			± 0.5 mm / 1000 mm				
メディアスキュー			5 mm 以下 / 10 m				
ヘッド高さ調整			Low (2.8mm) / Mid (3.3mm) / High (3.8mm)				
メディア裁断			ヘッド部カッターによる Y 方向カット , 裁断精度 (段差) 0.5 mm 以下				
排紙			ロール巻取装置標準 (内巻き / 外巻き 切り替え可能)				
廃インクタンク			ボトル式 (2000 cc)				
A.D. 7. (7.	印刷データ 転送機能		USB 2.0 Hi-speed、Ethernet 1000BASE-T				
インターフェイス	メール機能		Ethernet 10 BASE-T / 100 BASE-TX / 1000BASE-T				
コマンド	•		MRL- V				
	待機時		58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)				
騒音	動作連続音		65 dB 以下				
	動作不連続		70 dB 以下				
	却下江海鸠日		I				

	項目	TS55-1800			
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, IEC62368-1 準拠 ETL、CE マーキング (EMC 指令、機械指令、RoHS 指令、低電圧指令), CB レポート , RoHS 対応 , Energy Star, RCM, EAC			
電源仕様		単相 AC100 ~ 120/ 200 ~ 240V 12A/8A 50/60Hz			
消費電力		1440W (AC100 - 120V),1920W (AC 200~240V 時) 以下			
	使用可能温度	20 ℃~ 30 ℃			
	相対湿度	35 ~ 65% Rh (結露なきこと)			
=0.92759.t±	精度保証温度	20 ℃~ 25 ℃			
設置環境	温度勾配	±10 ℃ / h 以下			
	粉塵	オフィス相当			
	最高動作高度	2000 m			
重量		202 kg			
	幅	3240mm			
外形寸法	奥行き	713mm			
	高さ	1857 mm			

- *1. 6、7、8 色インクセットは非対応
 *2. メディア巻き取り後の外形および重量
 *3. ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと。

インク仕様

項		昇華転写インク				
形態		2L インクパック				
色		ブラックインクパック (K) ライトブラックインクパック (Lk) ブルーインクパック (BI) 蛍光イエローインクパック (FY) マゼンタインクパック (Y) ライトブルーインクパック (LBI) ライトマゼンタインクパック (Lm)				
インク容量	インク容量 2L					
有効期限は、インクパックに記載されている通り。 ただし、開封後は有効期限内であっても1ヶ月以内。		-				
保存温度		10 ~ 35 °C (1 日の平均気温)				
	輸送時	0 ~ 40 ℃ • 0 ℃より低温になる場所、40 ℃より高温になる場所は避けること。				



- インクパックや 2L エコケースを分解したり、インクを詰め替えないでください。
- インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。
- ・水性インクをお使いの場合、インクが凍結すると変質して使用できなくなります。インクが凍結しない環境で保管して ください。

インク種によるセットの違いについて

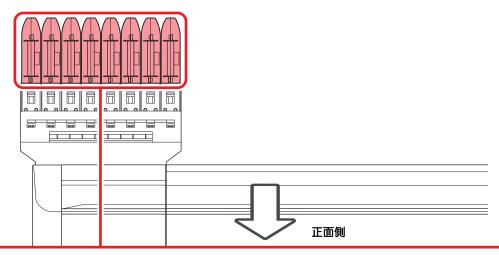
ご使用になるインク種によって、設定値やインクカートリッジのセット順が異なります。

インクカートリッジのセット順

お使いになるインクセットによって、インクステーションにセットするインクカートリッジの順番が異なります。



インクステーション下にあるカートリッジのラベルに合わせ、インクカートリッジをセットしてください。



4 色モデル	昇華転写インク	М	М	ВІ	ВІ	Y	Y	K	К
6 色モデル	昇華転写インク	М	М	ВІ	ВІ	Υ	Lm	К	Lbl
7 色モデル	昇華転写インク	М	М	ВІ	Lk	Υ	Lm	К	Lbl
8 色モデル	昇華転写インク	М	FP	BI	FY	Υ	Lm	К	Lbl

お問い合わせシート

プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。 下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの OS	
マシン情報 ^{*1}	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

^{*1. 「}第3章 便利な使い方」の、「情報を表示させる」をご覧いただき、必要な情報をご記入ください。(\bigcirc P.3-28)

LICENSE Library

Mimaki printer Firmware

Copyright @2020 MIMAKI ENGINEERING CO.,LTD. All rights reserved.

This product contain open source software listed in the tables below.

Component	License
StarterWare for ARM® based TI Sitara Processors	BSD-TI

The following license terms and conditions shall apply to the open source software listed in the table above:

BSD-TI

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - http://www.ti.com/

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3. Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

E
END/POWER ‡- 2-3
IC チップ
L
LAN ケーブル
M
MAPS4 機能 (AUTO) を設定する 3-10 MAPS4 機能 (MANUAL) を設定する 3-10 MAPS4 の設定 3-9 MAPS4 機能 MAPS 機能が有効になる条件 3-9
U
USB2.0 インターフェイスケーブル 1-10 USB 2.0 インターフェイスについての注意事項 1- 10
あ
安全インターロック0-ix安全にお使いいただくために0-viiご注意とお願い0-viii使用上の警告と注意0-vii使用上のご注意0-vii設置上のご注意0-ix
<u> </u>
イベントメール機能
え
エラーメッセージ5-11 エラー履歴3-27
 お
オートクリーニングの設定

リフレッシュ間隔	
お手入れ上のご注意	
お問い合わせシート	
おねがい	. U-V
か	
	4.2
外表ののチベル 確認フィードの設定	
各部の名称とはたらきについて	
カッター刃とカット溝	
キャッピングステーション	
キャリッジ	
操作パネル	
装置前面	
装置背面 / 側面	. 1-5
ピンチローラーとフィードローラー	. 1-8
メディアセンサー	
重ね塗りの設定	
カッター刃の交換	4-24
カット前フィード	
乾燥時間の設定	. 3-7
 き	
+ ¬`++ o.=0.□	0.47
キーブザーの設定 キャッピングステーションのメンテナンス	3-17
インク排出路の洗浄	.4-/
キャップの清掃	
モックの清掃	
ノズル洗浄	
ワイパーの清掃	
吸着ファンの設定	
•	
ケーブルを接続する	
言語の設定	
原点設定位置の目安	
原点を変更する	
件名を設定する	3-19
 故障かな?と思う前に	5-2
インク IC 異常が発生したら	5-3
インク漏れが発生したら	
画質不良が発生したときは	
電源が入らない	
ノズル詰まりを解消したいとき	. 5-3
プリントできない	. 5-2
メディアが汚れる	
メディア詰まり	
ご注意	. 0-v
さ	
	2 40
ケーバーを設定する 作業の流れ	
1 「木マノ川し1 し	. 2-2

U	トッノノロワの設定3-15 取扱説明書について0-v
時刻の設定3-16	
日刻り設定3-16 自動リモート3-13	
受信障害	<u> </u>
主電源スイッチ	日常のお手入れ4-2
仕様6-2, 6-6	日日
インク仕様6-3	
本体仕様	ね
使用環境温度	 ネットワーク経由で印刷を行う1-9
使用状況	ネットワークの設定3-18
使用時间3-27 スパウトゴム3-27	1 1 2 2 3 3 3 3 3 2 7 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
スパット コム	
プリント長情報	<u> </u>
プリント面積情報3-27	 ノズルチェック
ワイピング情報3-27	ロ刷中チェックの設定3-26
情報メニュー	印刷中チェックの流れ3-25
情報メニュー一覧表	自動ノズルリカバリの設定3-26
情報を表示させる3-28	「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷
照明3-14 消耗品の交換4-16	動作3-25
初期状態に戻す	判定条件の設定3-26 ノズルチェックメニュー3-24
物類(八部に大 9 5-25	ノズルチェックスニュー3-24 ノズルチェックメニュー一覧表3-24
	- ノズルリカバリ機能4-13
t	ジェング・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック
設置場所について 1-2	テストプリント時にノズルリカバリを有効にする
設定メニュー	か設定する4-15, 4-25
設定メニューー覧表	リカバリできない条件を確認する4-14
以たハニュ 発収	
たた	
単位(温度/長さ)の設定3-16	バージョン
端面ガイドについて	パス間濃度補正
	パターンプリント2-12, 3-5
	ひ
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	ヒーターの温度設定を変更する2-9
3-4	ヒーターの温度設定を変更する2-9 ヒーターの設定3-6
	でする
7	
データクリア2-13	<u>,'Si</u>
データをプリントする2-12	フィード速度の設定3-8
テストプリント	フィード補正の設定2-11, 2-12, 3-4
テストプリントに関する注意事項 2-10 テストプリントの前に確認してください 2-10	プラテンの清掃4-2
ヘッドの配列とテストパターンの関係 2-10	プリフィードの設定3-10
テストプリントをする2-10	プリント結果2-10
テストメールを送信する3-20	プリント条件を登録する
電源ケーブル1-11	プリント中にメディア送りを補正したいとき .3-5
電源を入れる2-3	プリントを開始する2-13 プリントを中止する2-13
電源を切る2-3	ノソノド佐中止9つ2-13
電源を切るときのご注意	
電波障害自主規制0-v	^
	A F. 711 11. 7
	ヘッドクリーニング2-11 テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニ
**************************************	アストノリノトの結果に占りせてベットグリー ングを行う2-11
登録した内容をリセットする	ヘッドクリーニングについて2-11
ドットの位置がずれたら2-12, 3-5	

ヘッド周辺の清掃 4-12 ヘッド高さを調整する 2-4				
 ほ				
補正パターン 3-4 本機の移動 1-2				
ま				
マーク表示				
b				
メールアドレスを設定する3-19メッセージを表示するトラブル5-5メディア押えの清掃4-3メディア検出の設定3-16メディア残量入力2-8メディア残量プリントについて2-8メディア残量プリントについて1-16使用可能メディアセンサーの清掃4-3メディアについて1-16メディア取り扱い上の注意1-16メディアをカットする2-13メディアをセットする2-4メニューモードについて1-17ノットレディモード1-17リモートモード1-17リモートモード1-17メンテナンス洗浄液4-2メンテナンスメニュー4-5メンテナンスメニュー4-6				
余白フィード方式の設定3-17				
Ŋ				
リスト3-27				
3				
ロール置き台				
わ				
ワーニングメッセージ				

操作を実行したときに表示されるエラー	5-7
ローカルで表示されるメッセージ	5-8
ワイパーを交換する	4-16

TS55-1800 取扱説明書

2021年5月

株式会社ミマキエンジニアリング 株式会社ミマキエンジニアリング 〒 389-0512 発行者 発行所

長野県東御市滋野乙 2182-3

